

授 業 要 綱

2019 年度

昼間部 理学療法学科

1 学 年

基礎分野	頁数
臨床心理学	98
行動科学	99
人間発達学	100
医療情報学	101
バイオメカニクス	102
理学療法研究法	103
専門基礎分野	
解剖学Ⅰa	104
解剖学Ⅰb	105
解剖学Ⅱ	106-107
生理学Ⅰ	108
生理学Ⅱ	109-110
運動学Ⅰ	111-112
運動学Ⅱ	113
病理学概論	114
精神医学	115
リハビリテーション概論	116
専門分野	
理学療法概論Ⅰ	117
理学療法評価学Ⅰ	118
運動療法学概論	119-120
発達障害理学療法学Ⅰ	121
物理療法学Ⅰ	122
社会福祉学	123

2 学 年

専門基礎分野	
神経内科学	124-125
整形外科学	126
臨床医学（内科学 小児科学 老年医学）	127-129
運動学演習	130
専門分野	
臨床運動学	131
理学療法評価学Ⅱ	132
理学療法評価学演習（小島・和島）	133
運動器障害理学療法学Ⅰ	134
運動器障害理学療法学Ⅱ	135
脳血管障害理学療法学Ⅰ	136
発達障害理学療法学Ⅱ	137
理学療法演習Ⅰ	138
物理療法学Ⅱ	139
日常生活活動論	140
義肢装具学	141
義肢装具学演習	142
臨床実習Ⅰ	143
臨床実習Ⅱ	144

3 学 年

基礎分野	頁数
統計学	145
専門基礎分野	
リハビリテーション医学	146
専門分野	
理学療法演習Ⅱ	147
理学療法概論Ⅱ	148
運動療法学技術論	149
脳血管障害理学療法学Ⅱ	150
日常生活活動論演習	151
内部障害理学療法学	152
生活環境論	153
地域理学療法論	154
臨床実習Ⅲ-A・B	155

付録 関連科目 ～基礎となる科目・基礎とした科目～

夜間部	理学療法学科・作業療法学科	156-160
昼間部	理学療法学科	161-163

夜 間 部 理学療法学科・作業療法学科

1 学 年

【共通】	頁数
基礎分野	
臨床心理学	1
人間発達学	2
専門基礎分野	
解剖学Ⅰa	3
解剖学Ⅰb	4
解剖学Ⅱ	5
生理学Ⅰ	6
生理学Ⅱ	7・8
病理学概論	9
リハビリテーション概論	10

【理学療法学科】

基礎分野	
医療情報学	11
バイオメカニクス	12
理学療法研究法	13
専門基礎分野	
運動学Ⅰ	14-15
専門分野	
理学療法概論Ⅰ	16

【作業療法学科】

基礎分野	
医療情報学	17
作業療法研究法Ⅰ	18
専門基礎分野	
運動学Ⅰ	19-20
専門分野	
作業療法概論	21
基礎作業学Ⅰ	22

2 学 年

【共通】

専門基礎分野	
神経内科学	23
整形外科学	24-25
精神医学	26
臨床医学（内科学 小児科学 老年医学）	27-29
リハビリテーション医学	30

【理学療法学科】

専門基礎分野	
運動学Ⅱ	31
運動学演習	32
専門分野	
理学療法評価学Ⅰ	33
理学療法評価学Ⅱ	34
運動療法学概論	35-36
運動器障害理学療法学	37
日常生活活動論	38

【作業療法学科】

専門基礎分野	
運動学Ⅱ	39
運動学演習	40
専門分野	
基礎作業学総論	41
基礎作業学Ⅱ	42
基礎作業学Ⅲ	43
作業療法評価学Ⅰ	44
作業療法評価学Ⅱ	45
作業療法評価学演習	46
日常生活評価学	47
臨床精神医学	48
地域作業療法学Ⅰ	49
臨床実習Ⅰ	50

3 学 年

【理学療法学科】	頁数
専門分野	
臨床運動学	51
理学療法評価学演習	52
運動療法学技術論	53
脳血管障害理学療法学	54
発達障害理学療法学	55
神経障害理学療法学	56
内部障害理学療法学	57-58
物理療法学	59
日常生活活動論演習	60
義肢装具学	61
義肢装具学演習	62
生活環境論	63
臨床実習Ⅰ	64
臨床実習Ⅱ	65

【作業療法学科】

基礎分野	
統計学	66
専門分野	
基礎作業学Ⅳ	67
基礎作業学Ⅴ	68
日常生活評価学演習	69
職業関連活動評価学	70
身体障害作業治療学	71-72
身体障害作業治療学演習	73
精神障害作業治療学	74-75
精神障害作業治療学演習	76
発達障害作業治療学	77-78
発達障害作業治療学演習	79
老年期障害作業治療学	80
生活適応学	81
生活適応学演習	82
臨床作業療法	83
地域作業療法学Ⅱ	84
臨床実習Ⅱ	85

4 学 年

【共通】

専門分野	
行動科学	86
社会福祉学	87

【理学療法学科】

基礎分野	
統計学	88
専門分野	
理学療法概論Ⅱ	89
理学療法研究法演習	90
運動療法学特論	91
地域福祉論	92
地域理学療法論	93
臨床実習Ⅲ-A・B	94

【作業療法学科】

基礎分野	
作業療法研究法Ⅱ	95
作業療法研究法演習	96
臨床実習Ⅲ-A・B・C	97

夜間部

理学療法学科

作業療法学科

基礎分野	臨床心理学	杉村 夕	前期 PT/OT	2単位 30h
------	-------	------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者の心理的特徴や心的作用を考慮しながら実際場面で対応できるようになるために、臨床心理学の基本的理論、検査法、心理療法などを学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 臨床心理学の定義と対象, 基本的な考え方を説明できる.
2. 代表的な心理検査の種類を列挙, その特徴と内容について説明し, 実施できる.
3. 代表的な心理療法について列挙し, その特徴と内容について説明できる.

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 臨床心理学の定義と対象, 基本的な考え方 2. 心理アセスメント面接法, 行動観察法, 心理検査法 3. 心理検査法① 性格検査(質問紙法) 4. 心理検査法② 性格検査(投影法) 5. 心理検査法③ 性格検査(作業検査法) 6. 心理検査法④ 知能検査(ウェクスラー式, ビネー式) 7. 心理療法① 概論 8. 心理療法② 精神分析療法 9. 心理療法③ クライアント中心療法 10. 心理療法④ 認知療法, 行動療法 11. 心理療法⑤ 自律訓練法 12. 心理療法⑥ その他の心理療法 13. 障害者・高齢者の心理障害の受容, その他 14. ストレスマネジメント 15. まとめ		

【授業の形式】 講義

【教科書】 特になし

【参考書】 授業の中でその都度紹介します

【学生の留意点など】 実際にさまざまな心理検査を実施したり, さまざまな心理療法の基礎を体験してもらったりします. 積極的な授業参加を期待します

【この授業の基礎となる科目】 人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 精神医学

【成績評価】 期末試験

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	人間発達学	松本 実祐	後期 PT/OT	2単位 30h
------	-------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者の発達過程を考慮しながら対応できるようになるために、人の生得的な能力を知り、また代表的な領域ごとの各発達段階における特徴を学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 人の発達段階の特徴について各領域に分け説明できる
2. 発達障害について説明できる
3. 各ライフステージにおける発達の特徴について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. オリエンテーション, 生涯発達
2. 発達課題
3. 運動の発達
4. 言語・感情
5. 知覚・記憶
6. 学習
7. 認知 ピアジェの認知発達理論
8. 発達障害①
9. 発達障害②
10. 発達を見立てる
11. フロイトの心理学的発達段階・マズローの欲求階層説・エリクソンの心理社会的発達段階理論
12. 乳幼児期
13. 児童・青年期
14. 壮年・中年期
15. 老年期

【授業の形式】講義

【教科書】授業の中で資料を配布します

【参考書】授業の中でその都度紹介します

【学生の留意点など】積極的に授業に参加してください。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】臨床心理学, 臨床医学(小児科学)

【成績評価】 期末試験 80%, 課題 20%

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	解剖学 I a	秋元 義弘	前期 PT/OT	2単位 60h
------	---------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、骨学、関節靱帯学、筋学について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 全身の骨の種類と構造、発生と成長について説明できる。
2. 全身の関節の構造と種類について説明できる。
3. 筋の分類と作用、補助装置、上肢の筋について説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号
1.	解剖学総論 解剖学の概要, 解剖学用語	1,2
2.	骨学総論 骨の種類と構造, 骨の発生と成長	1,2
3.	骨学各論 体幹の骨格(脊柱)	1,2
4.	骨学各論 体幹の骨格(胸郭)	1,2
5.	骨学各論 上肢の骨格	1,2
6.	骨学各論 下肢の骨格	1,2
7.	骨学各論 頭蓋の骨格	1,2
8.	骨学各論 復習	1,2
9.	関節靱帯学総論 関節の一般構造と種類	2
10.	関節靱帯学各論 体幹, 上肢の関節	2
11.	関節靱帯学各論 下肢の関節	2
12.	筋学総論 筋の分類と作用, 筋の補助装置	3
13.	筋学各論 頭頸部の筋	3
14.	筋学各論 上肢帯の筋	3
15.	筋学各論 上肢の筋	3

【授業の形式】 講義

【教科書】 平田幸男訳:『解剖学アトラス』第10版. 文光堂. 2012. ¥10,000.

【参考書】 渡辺正仁 監:『PT・OT・STのための解剖学』. 廣川書店. 2013. ¥5,800. [準教科書扱い]
 横地千代:『カラーアトラス 人体—解剖と機能』. 医学書院. 2013. ¥5,400.
 野村巖:『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学』. 医学書院. 2015. ¥6,480.

【学生の留意点など】 骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学, 理学療法評価学, 作業療法評価学

【成績評価】 期末試験(筆記)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	解剖学 I b	秋元 義弘	後期 PT/OT	2単位 60h
------	---------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、筋学、内臓学について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 体幹、下肢の筋について説明できる。
2. 内臓全般(消化器、循環器、呼吸器、泌尿器、生殖器、感覚器)の構造と配置について説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	筋学各論 体幹の筋	1	
2.	筋学各論 下肢帯の筋	1	
3.	筋学各論 下肢の筋	1	
4.	内臓学総論 内臓の一般的構造と体内における配置	2	
5.	内臓学各論 消化器系	2	
6.	内臓学各論 消化器付属腺	2	
7.	内臓学各論 循環器系(心臓と血管)	2	
8.	内臓学各論 循環器系(リンパ系)	2	
9.	内臓学各論 呼吸器系	2	
10.	内臓学各論 内分泌系	2	
11.	内臓学各論 泌尿器系、男性生殖器系	2	
12.	内臓学各論 女性生殖器系	2	
13.	内臓学各論 発生学	2	
14.	内臓学各論 感覚器系(皮膚, 味覚, 嗅覚)	2	
15.	内臓学各論 感覚器系(眼, 耳)	2	

【授業の形式】 講義

【教科書】 平田幸男訳:『解剖学アトラス』第10版. 文光堂. 2012. ¥10,000.

【参考書】 渡辺正仁 監:『PT・OT・STのための解剖学』. 廣川書店. 2013. ¥5,800.[準教科書扱い]
横地千代:『カラーアトラス 人体—解剖と機能』. 医学書院. 2013. ¥5,400.
野村巖:『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学』. 医学書院. 2015. ¥6,480

【学生の留意点など】 骨格標本をはじめとする人体標本に対しては、礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学, 理学療法評価学, 作業療法評価学

【成績評価】 試験(筆記試験; 期末)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	解剖学Ⅱ	宮東 昭彦	前期 PT/OT	3単位 60h
------	------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、神経系、脈管系について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 神経系についての解剖学用語を説明する。
2. 中枢神経系の基本構造と部位名を機能と関連付けて説明する。
3. 中枢神経系の主な伝導路について、その線維連絡と機能の概要を説明する。
4. 脳神経と脊髄神経を列挙し、走行経路と神経支配を説明する。
5. 脈管系についての解剖学用語を説明する。
6. 心臓の基本構造と機能の概要について説明する。
7. 全身の動脈と静脈の走行と血液供給、およびリンパ管の走行の概要を説明する。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 神経系総論 神経系についての基礎知識、ニューロン、神経組織	1, 2	P430-50
	2. 中枢神経系 神経系の基本構造と部位名、脳室・髄膜と脳脊髄液系	1, 2	P430-50, 563-7
	3. 中枢神経系 大脳皮質の構造と機能局在、大脳髄質	2	P527-55, 588-9
	4. 中枢神経系 大脳基底核・間脳と内包の構造と機能	2	P509-55
	5. 中枢神経系 脳幹(中脳、橋、延髄)、脊髄の基本構造と機能	2	P451-9, 476-81, 492-4
	6. 中枢神経系 小脳の構造と機能、運動性・感覚性の伝導路	2, 3	P501-8, 575-7, 583-4
	7. 末梢神経系 脳神経(第1～4, 6)	4	P495, 543, 596-600
	8. 末梢神経系 脳神経(第5, 7～9)	4	P485-9, 541-2, 606-11
	9. 末梢神経系 脳神経(第10～12)、脊髄と脊髄神経、脊髄神経後枝	4	P482-484, 460-462
	10. 末梢神経系 脊髄神経(頸神経叢、腕神経叢)	4	P463-469
	11. 末梢神経系 脊髄神経(腰神経叢、仙骨神経叢)、自律神経系	1, 4	P470- 5, 568-73, 490-1
	12. 脈管系総論 脈管系についての基礎知識、心臓の基本構造	5, 6	P221, 223-234
	13. 脈 管 系 大動脈・大静脈、末梢の血管(頭頸部)の走行と血液供給	7	P240-63, 558-62
	14. 脈 管 系 末梢の血管(上肢、下肢)の走行と血液供給	7	P240-63
	15. 脈 管 系 リンパ系の走行、胎児循環に特有の血管	5, 7	P240-63, 222

【授業の形式】講義

【教科書】平田幸男 訳:『解剖学アトラス』第10版. 文光堂. 2012. ¥10,000.

【参考書】渡辺正仁 監:『PT・OT・STのための解剖学』. 廣川書店. 2013. ¥5,800.
野村 嶺 編:『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学』. 医学書院. 2015. ¥6,480.

【学生の留意点など】新しい概念や用語が非常に多いので、講義ごとの復習が重要。
質問は電子メール[akudo@ks.kyorin-u.ac.jp]にて随時受け付ける。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】運動学、病理学概論、神経内科学、理学療法評価学、作業療法評価学など

【成績評価】期末筆記試験 90%, 復習テスト 10%. 復習テストは、前週に予告の上、講義時間中に複数回実施する。再試験は、期末筆記試験の成績不振者を対象として行う。

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	生理学 I	入江 駿	通年 PT/OT	3単位 60h
------	-------	------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

神経筋活動および感覚機能の点からヒトの生命機能を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 神経筋機能について電気特性と物質特性から説明できる。
2. 感覚と運動の相互作用について末梢神経特性と中枢神経特性から説明できる。
3. 生理学実習結果について神経生理学的視点から説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 生理学概論、神経生理学概論	1	
	2. ニューロンの生理学(ニューロンの構成と機能、興奮伝達、伝達の基礎)	1	
	3. 静止膜電位(静止膜電位の成因、細胞内外のイオン濃度)	1	
	4. 活動電位と不応期(活動電位の発生に伴うイオンチャンネルのコンダクタンスの変化)	1	
	5. シナプスの生理学(シナプスの形状、機能、興奮伝達のメカニズム、神経回路概論)	1	
	6. 末梢神経系(運動、感覚、自律神経)	1	
	7. 予備日	1	
	8. 筋の生理学(1)(収縮原理、興奮収縮連関、長さ張力関係)	1	
	9. 筋の生理学(2)(収縮力の調節、運動単位、筋電図、骨格筋のタイプ)	1	
	10. 中枢神経 運動系(1)(脊髄の運動機能)	1	
	11. 中枢神経 運動系(2)(錐体路、錐体外路、運動野)	1	
	12. 中枢神経 運動系(3)(大脳基底核、小脳、眼球運動)	1	
	13. 実習(1)(随意筋電図)	1,2	
	14. 実習(2)(誘発筋電図)	1,2,3	
	15. 授業評価	1,2,3	
	16. 医学倫理、生命倫理		
	17. 感覚生理学総論(感覚系神経システムの理解)	2	
	18. 体性感覚(皮膚感覚、固有感覚)	2	
	19. 痛覚(侵害受容器の構造と機能)	1,2	
	20. 視覚(眼球、網膜、一次視覚野、工事視覚野)	1,2	
	21. 実習(3)(視野測定)	1,2	
	22. 実習(4)(色覚、色盲)	1,2	
	23. 聴覚と平衡感覚(聴覚、前庭系の構造と機能、前庭動眼反射)	1,2	
	24. 味覚、嗅覚(味覚系、満腹、摂食中枢、嚥下)	1,2	
	25. 内臓感覚(特殊な感覚)	1,2	
	26. 疲労、運動と体力	1,2	
	27. 大脳皮質高次機能(連合野、運動前野、補足運動野)	1,2,3	
	28. 認知機能、認知症の理解	1,2,3	
	29. 覚醒、睡眠(概日リズム、情動系など)	1,2,3	
	30. 授業評価	1,2,3	

【授業の形式】講義

【教科書】やさしい生理学 改訂第7版、南江堂

【参考書】適時紹介

【学生の留意点など】・リハビリの基礎となる重要な科目です。わからないままでは、その後の疾患の理解ができませんので、質問に来てください。・実習には全て参加してください(やむを得ず欠席した場合は、追加レポートがあります。また、実習レポートもすべて提出してください)。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】運動学、理学療法評価学、作業療法評価学

【成績評価】前期(筆記試験70%、実習レポート30%)、後期(筆記試験80%、実習レポート20%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	生理学Ⅱ	広瀬 智道	通年 PT/OT	3単位 60h
------	------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、人の各種臓器の機能、役割について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 体液, 血液の役割とその機序を説明できる。
2. 心臓, 循環, 呼吸の役割とその機序を説明できる。
3. 排泄, 代謝, 体温の役割とその機序を説明できる。
4. 消化, 吸収, 内分泌の役割とその機序を説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1. 総 論	生命現象の本態, ホメオスタシス		
2. 体 液	水分の生理機能, 体液の役割		
3. "	体液の組成, ミネラルの働き, カルシウムの吸収と代謝		
4. "	体液量の調節, 脱水, 浮腫		
5. 血 液	血液の生理作用, 血液型, ABO式, Rh因子		
6. "	赤血球, ヘモグロビン, 赤血球の新生と破壊		
7. "	白血球, 血小板, 血漿の作用		
8. "	血液凝固, 輸血, 交叉試験		
9. 心 臓	心臓の機能, 心拍数, 拍出量		7月下旬(土)に生理学実習の 予定
10. "	心筋細胞の膜電位, 心筋収縮の特徴		
11. "	心臓の律動的機能, スタニウス結紮		
12. "	心臓の神経支配, 心臓の仕事と効率		
13. "	心電図理論, 心音図		
14. 循 環	血流のレオロジー, 特殊領域の循環		
15. "	血圧測定, 体位変換, 重力の影響		
16. 呼 吸	呼吸運動, 排気量分画, 換気量		
17. "	ガス交換, ガス分析, O ₂ ・CO ₂ の運搬		
18. "	呼吸運動の調節, 呼吸中枢		
19. "	肺のコンプライアンス, 酸・アルカリ平衡		
20. 排 泄	腎臓の機能, 腎臓の構造		
21. "	尿の生成, 尿の組成, 腎単位		
22. "	腎クリアランス, 腎血漿流量, 糸球体濾過量		
23. 代 謝	ATPの機能, TCA回路, 基礎代謝率		
24. 体 温	生理的体温変動の機序, 体温調節中枢		
25. 消 化	口腔内消化, 咀嚼・嚥下, 唾液による消化		
26. "	胃内消化, 胃液の分泌調節, HClの分泌機序		
27. 吸 収	小腸内消化吸收, 膵液の分泌, 胆汁の分泌		
28. "	大腸内消化吸收, 大腸の運動, 排便反射		
29. 内分泌	ホルモンの作用機序, ホルモンの分泌調整		
30. "	内分泌器官, 血糖値の調節, ストレスに対する反応		

2019年度 夜間部 1学年

【授業の形式】 講義

【教科書】 佐藤昭夫他:『人体の構造と機能. 医歯薬出版』. 2015. ¥2800+税

【参考書】

【学生の留意点など】 今話題の最新医学や健康情報について, 生理学的知識で精査してみましょう. 臨床医学と生理学をより身近なものとして理解を深めることができます.

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学, 理学療法評価学, 作業療法評価学

【成績評価】 筆記試験(100%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	病理学概論	堀田 綾子	後期 PT/OT	2単位 30h
------	-------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

様々な疾患の特徴や原因について科学的な理解を深めるために、最低限必要な基本的医学用語と医学知識を身につけ、主な疾患の病態を組織像とともに学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 外因の生物的要因について説明でき、代表的な疾患を列挙できる
2. 退行・進行性病変について説明ができ、各諸型を列挙できる
3. 免疫に関与する因子・細胞や免疫がもたらす傷害・疾患、代表的な感染症の種類と特徴を列挙できる
4. 代表的な腫瘍名と発生母組織との関係と悪性腫瘍の進展形式を理解できる
5. 呼吸器、消化器、生殖器に発生する代表的疾患と特徴を理解できる
6. 脳出血・脳梗塞・くも膜下出血の原因と発生機序を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 病理学総論(1) 病理学とは何か 最近のトピックス	1	
	2. 病理学総論(2) 細胞障害と適応、変性、代謝障害	1	
	3. 病理学総論(3) 炎症	3	
	4. 病理学総論(4) 免疫、膠原病	3	
	5. 病理学総論(5) 感染症	3	
	6. 病理学総論(6) 腫瘍	4	
	7. 病理学各論(1) 呼吸器系の疾患1	5	
	8. 病理学各論(1) 呼吸器系の疾患2	5	
	9. 病理学各論(2) 消化器系の疾患1	5	
	10. 病理学各論(2) 消化器系の疾患2	5	
	11. 病理学各論(3) 生殖器系の疾患1	5	
	12. 病理学各論(3) 生殖器系の疾患2	5	
	13. 病理学各論(4) 脳・神経系の疾患1	6	
	14. 病理学各論(4) 脳・神経系の疾患2	6	
	15. まとめ		

【授業の形式】講義

【教科書】特に指定しない。毎回授業内容に沿ったプリントを配布する。

【参考書】特に指定しない

【学生の留意点など】病理学とは何か、病理学を学ぶ意義は何かについて、それぞれが考えて欲しい。講義内容の理解を深めるため、復習は確実に行って下さい。

【この授業の基礎となる科目】解剖学、生理学

【この授業を基礎とした科目】神経内科学、整形外科学、臨床医学

【成績評価】試験(筆記試験;期末)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	リハビリテーション概論	関・山田他	前期 PT/OT	2単位 30h
------	-------------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

利用者の充実した生活を創造するセラピストとして、多職種と連携できるようになるために必要となる基礎的な知識と考え方を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. リハビリテーションの歴史と理念, 定義・対象・医療と介護の区分を説明できる
2. リハビリテーションチームにおけるPT/OTの役割を説明できる
3. 利用者の生活の充実のために必要なアプローチをあげられる
4. 多職種と連携するときの注意点を挙げられる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. リハビリテーションの歴史と理念, 定義・対象・医療と介護の区分	1	〔関 勝〕
	2. リハビリテーションチーム 専門職の役割とチームアプローチ	4	〔関 勝〕
	3. 医学的リハビリテーションⅠ - リハビリテーションにおける評価とその意義	2	〔関 勝〕
	4. 医学的リハビリテーションⅡ - 機能予後と短期・長期ゴール設定	2	〔関 勝〕
	5. 医学的リハビリテーションⅣ― 運動療法・運動学習・義肢装具 福祉機器など	2	〔関 勝〕
	6. 医学的リハビリテーションⅣ― 運動療法・運動学習・義肢装具 福祉機器など	2.4	〔関 勝〕
	7. リハビリテーションの理念と社会医学技術学院	1.3	〔山田千鶴子〕
	8. 利用者中心のリハビリテーション	3	〔山田千鶴子〕
	9. インフォームドコンセントとハラスメント	3	〔小島 肇〕
	10. リハビリテーションチームとチームワーク	4	〔山田千鶴子〕
	11. ケーススタディ1(ケースにおけるPT,OTの役割)	3.4	〔山田・中村伴子〕
	12. ケーススタディ2(多職種連携の実際)	3.4	〔山田・川股他〕
	13. 利用者の生活を考える 障害体験1	3.4	〔山田・福井〕
	14. 利用者の生活を考える 障害体験2	4	〔山田・福井〕
	15. セラピストの役割	3.4	〔鶴見隆正〕

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 特に指定しない

【参考書】

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学, 理学療法概論, 作業療法概論

【成績評価】 試験50%(期末), 課題50%(レポート, ミニツツペーパー)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における医師・理学療法士・作業療法士としての実務経験を、専門分野の観点から授業内容に生かした科目としている。

基礎分野	医療情報学	和島・佐々木	後期 PT	2単位 30h
------	-------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

医療福祉の現場で働くために、医療情報を扱う心構えや医療情報の重要性を認識し、多岐にわたる情報収集スキルについて理解をし、検査測定技術の一部を習得できるようになる。

【目標行動(SBO)】

1. 医療情報の種類、収集方法、取扱などについて説明することができる。
2. 理学療法評価の流れを理解し、その概要を説明することができる。
3. 対象者と医療面接を進めながら、血圧測定を実施できる。
4. 対象者と医療面接を進めながら、四肢長、四肢周径測定を実施できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

オリエンテーション

1. 医療情報学での学びについて

講義:和島

医療情報について

2. 医療情報① (情報の種類、専門用語等、患者情報、他部門情報、他職種連携等)
3. 医療情報② (理学療法評価の流れ等)
4. 医療情報③ (五感の活用、観察力等)
5. 医療情報④ (文献検索)
6. 医療面接① (基礎、演習)
7. 医療面接② (基礎、演習)

1 講義:和島
1 講義:和島
1,2 講義、実技:和島
1,2 講義:和島
1,3,4 講義、演習:和島
1,3,4 講義、演習:和島

バイタルサインの測定

8. バイタルサイン測定①(脈拍、呼吸数、血圧)
9. バイタルサイン測定②(脈拍、呼吸数、血圧)

1,3 講義、実技:和島
1,3 実技:和島

形態測定(四肢周径、四肢長の測定)

10. 上肢長・周径の測定①(体表解剖、ランドマーク等)
11. 上肢長・周径の測定②(測定環境、姿勢、実技等)
12. 下肢長・周径の測定①(体表解剖、ランドマーク等)
13. 下肢長・周径の測定②(測定環境、姿勢、実技等)

1,4 講義、実技:佐々木
1,4 実技:佐々木
1,4 講義、実技:佐々木
1,4 実技:佐々木

事例を通しての振り返りとまとめ

14. 事例紹介(事例を通じて情報の整理、過程を理解)
15. まとめ

1,2,3, 講義:佐々木
1,2,3, 講義:佐々木

第10回(12/4)からの形態測定でメジャーを使用していきます。ポケットに入るサイズで各自準備してください。今後実習でも使うことになります。

【授業の形式】 講義、実技

【教科書】 資料を配付します。

【参考書】 監修・鈴木俊明:臨床理学療法評価法、エンタプライズ、¥5900

【学生の留意点など】 患者のさまざまな情報を正確に収集することは臨床上重要です。理学療法士が五感を活用することで、患者から多くの情報を得ることができるため、そのスキルを向上させるよう繰り返し練習して下さい。また医学用語を学び、理学療法士としてだけでなく医療人として他職種との共通語を覚えて下さい。
実技では、上下肢が露出でき動きやすい服装(半袖、短パン)を準備して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 理学療法概論 I

【この授業を基礎とした科目】 理学療法研究法、理学療法評価学

【成績評価】 筆記試験(60%)、実技試験(40%)

実技試験 血圧測定と形態測定

再試要件 実技試験(40点)、期末試験(60点)の合計100点のうち合計60点未満の場合は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を対象者の情報集と、血圧測定・形態測定方法の獲得に活かした授業としている。

基礎分野	バイオメカニクス	小島 肇	前期 PT	2単位 30h
------	----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法を修得するために、基本的な身体運動を力学から理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 「運動の法則」を理解できる。
2. 「重心」を求めることができる。
3. 「生体におけるテコ」を理解できる。
4. 「床反力」を説明できる。
5. 「関節モーメント」を理解できる。
6. 「立ち上がり」を力学から説明できる。
7. 「歩行」を力学から説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. バイオメカニクスの概要 ～オリエンテーション～		
	2. バイオメカニクスへの導入	1	Chapter 1
	3. 運動の法則①	1,2	Chapter 3,4
	4. 運動の法則②	1,2	Chapter 3,4
	5. 運動の法則③	1,2	Chapter 3,4
	6. 生体におけるテコ①	3	Chapter 2
	7. 生体におけるテコ②	3	Chapter 2
	8. 床反力	4	Chapter 5,6
	9. 関節モーメント	5	Chapter 7,8
	10. バイオメカニクスの応用① 「立ち上がり」	6	Chapter 10
	11. バイオメカニクスの応用② 「立ち上がり」	6	Chapter 10
	12. バイオメカニクスの応用③ 「歩行」	7	Chapter 11,12,13,14
	13. バイオメカニクスの応用④ 「歩行」	7	Chapter 11,12,13,14
	14. バイオメカニクスの応用⑤ 「杖歩行」	7	Chapter 11,12,13,14
	15. まとめ		

【授業の形式】 講義, グループワーク

【教科書】 山本澄子, 石井慎一郎, 江原義弘著.『基礎バイオメカニクス 第2版』. 医歯薬出版 2015年. ¥4,212.

【参考書】 小野文久著.『初歩の物理』. 裳華房 2008年. ¥2,052.
勝平純司他著.『介助にいかすバイオメカニクス』. 医学書院 2011年. ¥4,095.

【学生の留意点など】 中・高校の知識から「運動学」への展開を図る科目です. 日常生活のなかの「物体の運動」から「身体運動」の理解へと発展させます. 身近な物体やヒトの「動き」を注意深く観察する習慣を身につけましょう.

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学.

【この授業を基礎とした科目】 運動学, 運動学演習, 臨床運動学.

【成績評価】 期末試験(筆記)100%.

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し, その実務経験を活かした内容である.

基礎分野	理学療法研究法	小島 肇	後期 PT	2単位 30h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

「成長する基礎力」のうち「深く考える力」、「科学する力」を養うために、研究法のプロセスを学びながら、科学的な考え方を理解し、レポートの書き方を修得する。

【目標行動(SBO)】

1. 「研究」とは何かを説明できる。
2. 「グループワーク」を主体的、建設的、協働的に進め、目標に向かって成果が出せる。
3. 図書室やwebを活用し、有用な情報を取捨選択できる。
4. 情報の批判的吟味ができる。
5. 統計学を活用した情報処理を理解できる。
6. 論理的な推論ができる。
7. 基本的なプレゼンテーションができる。
8. 基本的な実験からデータを収集し、整理して、レポートを作成できる。
9. 臨床研究の歴史から医療倫理の重要性を説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション / 「研究」とは何か.	1	
	2. レポートの書き方	8	
	3. 情報収集の方法	3	
	4. 情報の批判的吟味	4	
	5. 「統計学」とは何か.	5	
	6. 考察	6	
	7. プレゼンテーション	7	
	8. 研究① テーマを決め、研究計画書を作る.	2,8	
	9. 研究② 先行研究を調べる.	2,8	
	10. 研究③ 実験方法を吟味する.	2,8	
	11. 研究④ 実験	2,8	
	12. 研究⑤ データ分析・考察	2,8	
	13. 研究⑥ ポスター作製	2,8	
	14. 研究⑦ 発表	2,8	
	15. 医療倫理 / まとめ	9	

【授業の形式】 講義, グループワーク.

【教科書】 教科書は使用しません. 資料を配布します.

【参考書】 滝浦真人他著:『日本語アカデミックライティング』. 放送大学教育振興会 2017年. ¥2,592.
樹著:『増補版 大人のための国語ゼミ』. 筑摩書房 2018年. ¥1,944.

野矢茂

【学生の留意点など】 グループワークによりメンバーのさまざまな考えに触れながら、理解を深めていきます. ライティングを多用し、「書く」ことに習熟することを目指します.

【この授業の基礎となる科目】 理学療法概論Ⅰ, 医療情報学

【この授業を基礎とした科目】 運動学演習, 理学療法研究法演習

【成績評価】 課題の提出状況:60%(小論文30%, 研究レポート30%), グループワークへの貢献(ルーブリックを提示します):40%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である.

専門基礎	運動学 I	小宮山 一樹	通年 PT	3単位 60h
------	-------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法治療技術論への学習の基礎とするために、理学療法士に最低限必要な上肢、体幹の運動学を学ぶ。また主要な骨指標や筋について触知できるようになる。

【目標行動(SBO)】

1. 解剖・運動学的用語を使用して身体運動が説明できる。
2. 他者に触診を実施する場合のオリエンテーションが表現できる。
3. 体幹の関節構造と運動を説明できる。
4. 肩関節の構造と運動を説明できる。
5. 肘関節の構造と運動を説明できる。
6. 手関節の構造と運動を説明できる。
7. 体幹・上肢の主要な骨指標を触診できる。
8. 体幹・上肢の主要な筋を触診できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. コースオリエンテーション・運動学とは	1	講義と演習(以下同じ)
	2. 身体区分・運動面と運動軸	1	p20-
	3. 運動と動作・運動方向の表現①	1	
	4. 運動と動作・運動方向の表現②	1	
	5. 姿勢(体位と構え)①	1	p355-
	6. 姿勢(体位と構え)②	1	p355-
	7. 骨学総論①	1	p60-
	8. 骨学総論②	1	p60-
	9. 筋学総論①	3-7	p72-
	10. 筋学総論②	3-6,8	p72-
	11. 脊柱総論①	3	p271-
	12. 脊柱総論②	3	p271-
	13. 頸部の機能解剖	3,7	p275-
	14. 頸部の機能解剖と骨の触診	3,7	p275-
	15. 頸部の機能解剖と筋の触診	3,8	p275-
	16. 胸部の機能解剖	3	p283-
	17. 胸部の機能解剖と骨・筋の触診	3,7,8	p283-
	18. 呼吸運動①	3	p284-
	19. 呼吸運動②	3	p284-
	20. 腰部の機能解剖	3	p289-
	21. 腰部の機能解剖と骨・筋の触診	3,7,8	p289-
	22. 肩甲帯の機能解剖	3	p216-
	23. 肩甲帯の機能解剖と骨の触診	3,7	p216-
	24. 肩関節の機能解剖	4	p216-
	25. 肩関節の機能解剖と骨の触診	4,7	p216-
	26. 肩関節の機能解剖と筋の触診	4,8	p216-
	27. 肘関節・前腕の機能解剖	5	p224-
	28. 肘関節・前腕の機能解剖と骨・筋の触診	5,7,8	p224-
	29. 肘関節・前腕の機能解剖と骨・筋の触診	6,7	p229-
	30. 手指の機能解剖と骨・筋の触診	6,8	p229-

2019年度 夜間部 1学年

【授業の形式】 講義と演習

【教科書】 中村隆一他:『基礎運動学 第6版補訂』. 医歯薬出版 ¥6,800.+税
平田幸男訳:『解剖学アトラス』. 文光堂 ¥10,000.+税

【参考書】 嶋田智明他訳:『筋骨格系のキネシオロジー』. 医歯薬出版 ¥12,600.-
塩田悦二訳:『カパンジー機能解剖学Ⅱ 下肢』. 医歯薬出版 ¥8,610.-

【学生の留意点など】 ・解剖学(特に骨や筋)に基づいた専門的内容が多くなる. 各回解剖学の復習をして望むこと. 毎回の復習を欠かさず行うこと.
・教材室にある骨標本・筋模型を利用して, 具体的に理解することにつとめること.
・毎回教材備品を準備すること(週番の方, お願いします).
・触診の実技を行う際は, 身体表面に触れることができるように, Tシャツ・短パンで授業を行えるようにする.

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学 各障害理学療法学

【成績評価】 前期:筆記試験(小テスト30%・期末テスト70%) 後期:筆記・実技試験(小テスト30%・期末筆記50%・期末実技20%) 前期、後期それぞれにおいてテスト合計が60%を満たさないもの再試験を課す。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を機能解剖の知識獲得のため、また触診技術獲得のために活かした授業としている。

専門分野	理学療法概論Ⅰ	中山 雅和	前期 PT	2単位 30h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

望ましい理学療法士像を探究するために、理学療法の概要や評価・治療という一連の流れを理解し、医療従事者として必要な知識および職業倫理を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 理学療法とは何か、その概要を説明することができる
2. 4年間の養成課程における学習の概要を理解し、自分が目指す理学療法士像を言葉で表現できる
3. 医療の中での理学療法士の役割を理解し、説明することができる
4. 理学療法士としてふさわしい態度を述べるることができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	オリエンテーション 【授業オリエンテーション】	1	
2.	医療・福祉現場について 【人間関係構築 専門職種について】	1 3	
3.	理学療法と社医学の歴史 【歴史的背景から学ぶこと】	1 2 3	
4.	理学療法士の養成 【カリキュラムについて】	1 2	
5.	理学療法士に必要な能力 【コミュニケーション能力 問題解決能力】	1 3 4	
6.	よい理学療法士とは 【望まれる姿 期待される役割】	1 3 4	
7.	医療従事者としての倫理 【説明能力 承認確認 ハラスメント】	1 3 4	
8.	医療におけるリスク管理 【医療事故の要因】	1 3 4	
9.	理学療法の流れ① 【情報収集と評価、他職種連携】	1-4	
10.	理学療法の流れ② 【運動療法、物理療法、義肢装具療法、ADL】	1-4	
11.	理学療法士が扱う機器 【検査機器 治療機器 補助機器】	1-4	
12.	理学療法士が関わる分野① 【整形外科系運動器疾患】	1-4	
13.	理学療法士が関わる分野② 【脳神経、神経内科系疾患】	1-4	
14.	理学療法士が関わる分野③ 【地域での関わり がん・終末期】	1-4	
15.	臨床見学オリエンテーション【医療現場での学び方】	1-4	

【授業の形式】 講義(グループワーク含む)

【教科書】 なし 必要に応じて授業中にプリントを配布する

【参考書】 なし

【学生の留意点など】 理学療法とはいかなる専門職なのか、これから3年間にわたる学習が何につながっていくのかを理学療法に関わる題材を通して考えてもらう時間となります。
また、いくつかの学習方法を提示しますので積極的な参加を期待します。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論

【この授業を基礎とした科目】 運動療法学概論 理学療法評価学

【成績評価】 筆記試験100% (筆記試験の内容には、グループワークの内容も含まれます)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

基礎分野	医療情報学	兵頭 洋子	後期 OT	2単位 30h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

医療福祉現場で働くために、医療情報を扱う心構えや医療情報の重要性を認識し、多岐に渡る情報収集に必要なスキルについて理解するとともに面接・観察技術の一部分を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 職業人および医療人として適切に振舞う事を説明出来る
2. 医療情報の種類や収集方法、取り扱いについて説明出来る
3. 学生を患者に見立てて面接や観察が出来る

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション, 医療情報① 情報の種類, 専門用語	2	講義 [兵頭]
	2. 医療情報② 患者情報, 他部門情報, 多職種連携についての情報	2	講義・演習 [中村]
	3. 医療情報③ 作業療法で取り扱う情報	2	講義・演習 [兵頭]
	4. 医療情報の収集の仕方① 職業人・医療人としてのマナー	1	講義・演習 [兵頭]
	5. 医療情報の収集の仕方② 五感の利用, 観察力	1～3	講義・演習 [照井]
	6. 医療情報の収集の仕方③ 面接の基礎と演習①	1～3	講義・演習 [照井]
	7. 医療情報の収集の仕方④ 面接の基礎と演習②	1～3	講義・演習 [福井]
	8. 医療情報の収集の仕方⑤ バイタルサインの診かた	1～3	講義・演習 [福井]
	9. 医療情報の整理の仕方① ICIDH と ICF	2	講義・演習 [河野崇・兵頭]
	10. 医療情報の発表の仕方② ICFでのまとめ方	2	講義・演習 [河野崇・兵頭]
	11. 医療情報の発表の仕方③ ICFでまとめる	2	演習 [河野崇・兵頭]
	12. 医療情報の発表の仕方④ ICFでまとめたものを発表する	1,2	演習 [河野崇・兵頭]
	13. 作業療法と人権	1,2	講義・演習 [河野]
	14. 倫理総論・医療倫理	1,2	講義・演習 [河野]
	15. 職業倫理, まとめ	1,2	講義・演習 [河野]

【授業の形式】 講義・演習, グループディスカッション, 学生発表があります

【教科書】 特に指定しません

【参考書】 授業内で紹介いたします

【学生の留意点など】 4年間の学習に必要なスキル全般を学習します。医療情報として必要なポイントの把握, グループディスカッションから発表に至るまでの方法を体験します。また臨床での振る舞いや質問の仕方など, 医療業界で働くための学生・社会人としてのルールを学びます。対人援助職では各人の倫理観が問われる判断を迫られることも多くあります。早期から倫理について学び, 判断に迷った時の考え方を学びます。学んだことを実践してみて初めて身につく内容が多いため, 演習には積極的に参加して下さい。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習, 他科目全般

【成績評価】 筆記試験100%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し, その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

基礎分野	作業療法研究法Ⅰ	中村 伴子	後期 OT	2単位 30h
------	----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

臨床活動のまとめおよび研究が遂行できるようになるために、研究に必要な知識・技法を習得する

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法における研究の重要性を説明できる
2. 各種研究方法の概要を説明できる
3. 興味のある文献を検索できる
4. 研究の一連の過程を説明できる
5. 研究に関する倫理と管理の重要性を説明できる
6. 研究の結果を発表できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 研究とは何か	1	講義・演習
	2. 文献研究①	2	講義
	3. 文献研究②	2	講義・演習
	4. 調査研究①	1	講義
	5. 調査研究②	1	講義・演習
	6. 実験研究①	1	講義
	7. 実験研究②	1	講義・演習
	8. 事例研究①	2	講義
	9. 事例研究②	3	講義・演習
	10. 質的研究	1.4	講義・演習
	11. 研究計画立案①	1.4	講義・演習
	12. 研究計画立案②	1.4	演習
	13. 研究発表準備	4	講義・演習
	14. 研究発表	1	演習
	15. 研究発表	1	演習

パワーポイントで発表を行いますのでテーマ設定は早めに設定しておきましょう

【授業の形式】 講義、演習およびグループワーク、学生個人の発表があります。

【教科書】 鎌倉矩子, 他:『作業療法士のための研究法入門』, 三輪書店, 1997, ¥3360

【参考書】 授業中に紹介します

【学生の留意点など】 臨床活動をまとめ、作業療法の発展を支える研究方法の概要を学習します。研究方法の種類、取り組み方や研究疑問、仮説設定なども学びます。
研究に必要な基本的知識を学習します。併せて研究を発表する方法、研究の倫理についても学習します。講義形式よりも学生参加型の授業であるので積極的に参加して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法学概論、リハビリテーション概論、基礎作業学Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 作業療法研究法Ⅱ, 統計学

【成績評価】 筆記試験は実施しません。提出課題の内容で評価します。ワークシート20%, 研究計画・発表80%

【実務経験のある教員による科目】 当該研究分野における作業療法士としての実務経験を、作業療法研究法の観点から授業内容に生かした科目としている。

専門基礎	運動学 I	兵頭洋子・河野崇	通年 OT	3単位 60h
------	-------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法の評価・治療が行えるようになるために、人体運動に関する基礎知識、触診技能を習得する

【目標行動(SBO)】

1. 人体運動を表記できる
2. 関節の種類・構造を図示し、各関節運動を説明できる
3. 筋収縮様式とその具体例を説明できる
4. 骨指標を触診できる
5. 主要な筋の解剖学的・運動学的要素(起始・停止・作用・神経支配)を説明できる
6. 主要な筋を触診できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
〔前期〕			
	1. オリエンテーション. 人体各部の名称	1	講義・演習
	2. 人体運動を表現する①(姿勢・体位・肢位)	1	(以下同じ)
	3. " ②(運動面と運動軸)	1	
	4. 関節運動を説明する①	2	
	5. " ②	2	小テスト①(1～3回分)
	6. " ③	2	
	7. 関節構造を理解する	2	小テスト②(4～6回分)
	8. 筋収縮のメカニズムを理解する	3	
	9. 筋収縮を体験し、説明する①	3	
	10. " ②	3	小テスト③(7～9回分)
	11. 姿勢変換のメカニズムを理解する	1	
	12. 肩甲帯と肩関節の骨と筋の触診①	4-6	
	13. " ②	4-6	
	14. 肘関節と前腕の骨と筋の触診①	4-6	小テスト④(肩甲帯・肩)
	15. " ②	4-6	小テスト⑤(肘・前腕)
〔後期〕			
	16. 手関節と手指の骨と筋の触診①	4-6	
	17. " ②	4-6	
	18. 骨盤と股関節の骨と筋の触診①	4-6	小テスト⑥(手・手指)
	19. " ②	4-6	
	20. 膝関節の骨と筋の触診①	4-6	小テスト⑦(骨盤・股)
	21. " ②	4-6	
	22. 足関節の骨と筋の触診①	4-6	小テスト⑧(膝)
	23. " ②	4-6	
	24. 脊柱と胸郭の骨と筋の触診①	4-6	小テスト⑨(足部)
	25. " ②	4-6	
	26. 頭頸部の骨と筋の触診	4-6	小テスト⑩(脊柱・胸郭)
	27. 基本動作の分析①	1	
	28. 上肢・下肢・体幹の骨と筋の触診総復習	4-6	
	29. 触診まとめ		触診テスト
	30. 基本動作の分析 ②	1	

2019年度 夜間部 1学年

【授業の形式】 講義・演習(触診等), 小テスト(全10回)を行う。

【教科書】 中村隆一, 他著:『基礎運動学 第6版 補訂』, 医歯薬出版株式会社, 2012, ¥6800+税

【参考書】 有賀誠司, 他:『知りたいことがすべてわかる 筋肉のしくみとはたらき』, 図書印刷株式会社, 2012, ¥1620
中村和志:『筋肉・関節の動きとしくみ』, 秀和システム, 2010, ¥1620

【学生の留意点など】 作業療法評価や治療の基礎となる上肢・下肢および体幹の関節構造, 運動と筋の活動について学習する。学生同士で実際に骨や筋の触診を行い, 人体運動を体得する。授業に当たってはワークシートでの予習・復習を前提とし, 小テストで知識の定着を確認する。学生参加型の授業であるので, 積極的に参加すること。また, 授業の進行に合わせて触診可能な服装で参加すること。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学

【この授業を基礎とした科目】 運動学Ⅱ, 運動学演習, 作業療法評価学

【成績評価】 期末試験(筆記, 前期・後期)80%, 小テスト10%, 触診テスト(実技)10%を総合して評価する。ただし前期末試験, 後期末試験, 触診テストの各試験で60点に満たない者は再試験を実施する。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し, その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

専門分野	作業療法概論	河野 達哉 他	前期 OT	2単位 30h
------	--------	---------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法の全体像を知るために、作業療法の基礎知識を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法の定義(目的, 対象, 方法)から作業療法および作業療法士のイメージをつかむ
2. 我が国の作業療法の歴史の概要を述べられる
3. 世界の作業療法の歴史の概要を述べられる
4. 作業療法士の活躍の場と必要な連携について述べられる
5. 作業療法の各領域の対象者と実践過程の概要を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 作業療法のイメージを話し合う	1	討議
	2. 日本の草創期の作業療法を知る	2	講義
	3. 世界の作業療法士の歴史を知る	3	講義
	4. 作業療法士が活躍できる場と協業・連携を知る	4	講義・討議
	5. 身体障害領域の作業療法①	5	講義
	6. 身体障害領域の作業療法②	5	講義
	7. 精神領域の作業療法①	5	講義
	8. 精神領域の作業療法②	5	講義
	9. 老年期障害領域の作業療法①	5	講義
	10. 老年期障害領域の作業療法②	5	講義
	11. 発達障害領域作業療法①	5	講義
	12. 発達障害の作業療法②	5	講義
	13. 地域で活躍する作業療法	5	講義
	14. 職業関連領域の作業療法	5	講義
	15. 作業療法のイメージをまとめる	1	討議

【授業の形式】 講義・ディスカッション(学生討議)

【教科書】 杉原素子編:『作業療法学概論(第1巻)』, 協同医書出版社, 2015, ¥3400. その他, 適宜, 資料を配付

【参考書】 砂原茂一:『リハビリテーション』, 岩波新書新, 1980, ¥798/秋元波留夫, 他:『新・作業療法の源流』, 三輪書店, 1991, ¥4587、矢谷令子編:『作業療法』協同医書出版社、2014、¥4500.

【学生の留意点など】 この授業は作業療法士になることを目指している学生が、作業療法というものが面白くて、奥が深いということを理解し、今後の学習を進めていく上での弾みとして、あるいは今後の学習の地図として利用するために、作業療法全体を概説する授業である。入学して早々に行われる授業であるが、専門分野・専門基礎分野の授業が多い中、唯一、作業療法の専門分野としての授業である。自分の将来を見失わないようにしっかりと取り組むこと。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論

【この授業を基礎とした科目】 基礎作業学, 各治療学, 地域作業療法学 I

【成績評価】 期末試験90%, 提出物(レポート)10%で総合的に評価する。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、作業療法の基礎知識を学ぶという観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	基礎作業学Ⅰ	照井 林陽	前期 OT	2単位 30h
------	--------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法において作業活動を用いるための基本的知識を理解する

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法における代表的な作業活動(手工芸系)の, 全工程を行える
2. 作業分析の基礎的な項目を列挙できる
3. 作業分析の基礎的な項目を説明できる
4. 作業活動の治療的側面の例を列挙できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション, 作業体験① 革細工	1,2	
	2. 作業体験② 革細工	1,2	
	3. 作業体験③ 革細工	1,2	
	4. 作業体験④ 革細工	1,2	
	5. 作業体験⑤ 革細工	1,2	
	6. 作業体験⑥ 革細工	1,2	
	7. 作業体験⑦ 革細工	1,2	
	8. 作業体験⑧ アイロンビーズ	1,2	
	9. 作業体験⑨ エコクラフト	1,2	
	10. 作業体験⑩ マクラメ	1,2	
	11. 作業体験⑪ ネット手芸	1,2	
	12. 作業体験⑫ ペーパークラフト	1,2	
	13. 作業紹介① 発表準備	2~4	
	14. 作業紹介② 発表準備	2~4	
	15. 作業紹介③ 発表(グループ別), まとめ	2~4	

【授業の形式】 講義, 演習

【教科書】 小林夏子:『標準作業療法学 基礎作業学 第3版』医学書院. 2017. ￥4320

古川宏:『つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル 第2版』医歯薬出版株式会社. 2018. ￥4000

【参考書】 日本作業療法士協会:『作業—その治療と応用—』協同医書出版社. 2008. ￥3500

浅沼辰志他:『基礎作業学実習ガイド 作業活動のポイントを学ぶ』協同医書出版社. 2008 ￥2500

長崎重信他:『作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業学 改訂第2版』メジカルビュー. ￥4700

【学生の留意点など】 本授業は, 作業療法の特徴の一つである「作業を用いる」の基礎となる.
「作業を用いて療法と成す」為の基礎として, 各作業体験に対する積極的な取り組みを望む.
実際に手工芸系の作業活動を実施する為, 動きやすく汚れてもよい服装が望ましい.

【この授業の基礎となる科目】 作業療法概論

【この授業を基礎とした科目】 基礎作業学Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ, 各評価学, 各治療学

【成績評価】 作品課題80%(革細工;規定遵守60%, 期限提出20%), 発表課題20%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し, その実務経験を授業内容の演習に活かした授業としている.

専門基礎	神経内科学	栗崎 博司、板東 充秋	前期 PT/OT	3単位 60h
------	-------	-------------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法・作業療法へ展開するために、神経障害を生じる主な疾患の疫学、病態、予後、症状、評価・検査、一般的治療について学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 神経内科疾患の成因と分類について説明できる。
2. 神経内科領域の主な疾患についての診断について説明できる。
3. 神経内科領域の主な疾患についての評価、治療について説明できる。
4. 神経内科と関連する保健と福祉に関連する法律について説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
1. [4月10日]	総論 神経機能解剖／神経生理／診断総論(脳血管障害を含む)	1	板東 充秋 先生
2. [4月17日]	各論 変性疾患の基礎と在宅におけるALS患者への支援	2,3,4	ご担当 先生
3. [4月24日]	各論 変性疾患 パーキンソン症候群／認知症	2,3	板東 充秋 先生
4. [5月8日]	〃 高次脳機能障害	2,3	板東 充秋 先生
5. [5月15日]	〃 高次脳機能障害 (失語症を含む)	2,3	板東 充秋 先生
6. [5月22日]	総論 神経薬理／治療総論／神経の成長・加齢	1,2,3	栗崎 博司 先生
7. [5月29日]	症候学 意識障害／脳神経／運動の経路	1,2	栗崎 博司 先生
8. [6月5日]	〃 感覚の経路／運動失調／嚥下機能	1,2	栗崎 博司 先生
9. [6月12日]	〃 錐体外路症状／自律神経／異常歩行	1,2,	栗崎 博司 先生
10. [6月19日]	各論 血管障害 神経画像／正常圧水頭症／頭部外傷	2,3,4	栗崎 博司 先生
11. [6月26日]	〃 脳腫瘍／感染	2,3,4	栗崎 博司 先生
12. [7月3日]	〃 筋疾患／重症筋無力症	2,3,4	栗崎 博司 先生
13. [7月10日]	〃 内科疾患に伴う神経症候／中毒／代謝疾患	2,3,4	栗崎 博司 先生
14. [7月17日]	〃 脱髄疾患／末梢神経疾患／自律神経障害	2,3,4	栗崎 博司 先生
15. [7月24日]	〃 小児先天性疾患	2,3,4	栗崎 博司 先生

【授業の形式】 講義

【教科書】江藤文夫 編:『神経内科学テキスト』. 南江堂. 2017. ¥5,184.

【参考書】

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】解剖学 生理学 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】理学療法評価学 各障害理学療法学

【成績評価】期末試験(筆記試験)

【実務経験のある教員による科目】当該分野における神経内科学医師としての実務の経験を生かした科目としている。

専門基礎	整形外科学	増岡一典、島田崇史、森田浩章	前期 PT/OT	3単位 60h
------	-------	----------------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法/作業療法の評価学・治療学へ展開するために、代表的な整形外科疾患の病態、症状、評価・検査、一般的な整形外科治療について理解する

【目標行動(SBO)】

1. 骨、関節、筋、神経の解剖学の知識を理解できる
2. 代表的な疾患名を列挙し、症状について説明できる
3. 各疾患の診断方法(診断基準、分類、症状などの所見等)を理解、説明できる
4. 各疾患の病態生理として、その発生要因を理解できる
5. 各疾患の一般的な治療方法を理解できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	講師
	1. 整形外科総論 整形外科とは、	1-5	
	2. 骨の病態、病理・骨、軟骨の修復と再生	1-5	
	3. 診断総論 診療の基本	1-5	
	4. 診療の基本・現症の取り方・検査	1-5	
	5. 治療総論 保存療法・手術療法	1-5	
	6. 治療総論 保存療法・手術療法	1-5	
	整形外科疾患総論		
	7. 感染 関節リウマチ	1-5	
	8. 感染 関節リウマチ	1-5	
	9. 先天性骨系統疾患等	1-5	
	10. 先天性骨系統疾患等	1-5	
	11. 骨腫瘍と軟部腫瘍	1-5	
	12. 骨腫瘍と軟部腫瘍	1-5	
	整形外科疾患各論 ～外傷・変形性関節症		
	13. 外傷総論 骨折総論	1-5	
	14. 骨折各論	1-5	
	15. 変形性関節症 病態	1-5	
	16. 変形性関節症 治療(保存・手術療法)	1-5	
	整形外科疾患各論 ～各関節		
	17. 股関節の疾患	1-5	
	18. 膝関節の疾患	1-5	
	19. 理学・作業療法士と整形外科学	1-5	
	20. 肩関節の疾患	1-5	
	21. 肩関節の疾患	1-5	
	22. 肘関節の疾患	1-5	
	23. 手関節の疾患	1-5	
	24. 手関節の疾患	1-5	
	25. 下肢関節の疾患	1-5	
	26. 足関節の疾患	1-5	
	27. 末梢神経損傷	1-5	
	28. 脊髄損傷 (疫学、病態、不全損傷、合併症)	1-5	
	29. 脊柱の疾患	1-5	
	30. 脊柱の疾患	1-5	

2019年度 夜間部 2学年

【授業の形式】 講義

【教科書】 松野丈夫編 『標準整形外科学』. 医学書院 ￥10152

【参考書】

【学生の留意点など】 身体構造(解剖)の問題を取り扱う臨床医学です. どのような領域においても対象者が有していることが多く、その症状・病態生理・評価(検査法)・整形外科治療の理解は、安全かつ効果的な理学・作業療法につながります. 3人で分担し、順番が前後することがあります.

【この授業の基礎となる科目】 解剖学、生理学、病理学概論、運動学

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学, 理学療法評価学, 運動器障害理学療法学, 義肢装具学, 作業療法評価学 I

【成績評価】 定期試験

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	精神医学	河野達哉 他外来	前期 PT/OT	2単位 30h
------	------	----------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

精神疾患のある対象者を的確に理解し、理学療法・作業療法へ展開するために、主な精神障害および疾病の症状、それに対する一般的な治療について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 精神医学の定義と関連領域について説明できる
2. 精神医学の対象である精神障害および精神障害者に関する概念について説明できる
3. 精神障害の成因と分類について説明できる
4. 精神障害の際に出現する精神症状について説明できる
5. 主な疾患についての診断と評価、治療について説明できる
6. 精神障害者が利用できる精神医療・福祉制度について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1. 総 論	精神医学とは・精神障害の成因と分類	1,2	講義
2. "	精神機能の障害と精神症状	1,2,3	講義
3. "	精神障害の診断と評価	1,2,3	講義
4. 各 論	脳器質性精神障害	4,5	講義
5. "	症状性精神障害・精神作用物質	4,5	講義
6. "	統合失調症(1)	4,5	講義
7. "	統合失調症(2)	4,5	講義
8. "	気分(感情)障害	4,5	講義
9. "	神経症性障害(不安症・強迫症・解離症・身体症状症他)	4,5	講義
10. "	パーソナリティ障害	4,5	講義
11. "	精神遅滞 心理的発達の障害	4,5	講義
12. "	精神遅滞 心理的発達の障害	4,5	講義
13. "	精神障害者の雇用促進と就労支援	6	講義
14. "	精神科保健・福祉の制度について	6	講義
15. "	精神科保健・福祉の制度について	6	講義

【授業の形式】 講義

【教科書】 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 医学書院

【参考書】 標準精神医学 第7版 医学書院 現代臨床精神医学改訂第12版 金原出版株式会社

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 臨床心理学 人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学, 臨床精神医学, 精神障害作業治療学

【成績評価】 筆記試験100%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野におけるセラピストとしての実務の経験を、精神医学の基礎という観点から授業内容に生かした科目としている。

2019年度 夜間部 2学年

専門基礎	臨床医学(内科学)	岡崎、原田、関、川村、鈴木、吉田	前期 PT/OT	
------	-----------	------------------	----------	--

次の3単元より構成される〔 1. 内科学(28h) ・ 2. 老年医学(20h) ・ 3. 小児科学(12h) 〕

【一般教育目標(GIO)】

理学療法・作業療法へ展開するために、主な内科疾患の病態、症状、疫学、予後、評価・検査、一般的治療について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 内科学で扱う疾患について説明できる
2. 主な循環器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
3. 主な代謝性疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
4. 主な呼吸器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
5. 主な消化器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	[4月9日] 内科学総論	1	講義
2.	[4月16日] 血液疾患	2	講義
3.	[4月23日] 代謝疾患1 糖尿病など	3	講義
4.	[5月7日] 代謝疾患2 甲状腺など	4	講義
5.	[5月14日] 感染症疾患	1	講義
6.	[5月21日] 腎疾患	1	講義
7.	[5月28日] 症候からみた内科疾患	5	講義
8.	[6月11日] 消化器系疾患1	5	講義
9.	[6月18日] 消化器系疾患2	1	講義
10.	[6月25日] 循環器疾患1	2	講義
11.	[7月2日] 呼吸器疾患1	4	講義
12.	[7月9日] 循環器疾患2	2	講義
13.	[7月16日] 呼吸器疾患2	4	講義
14.	[7月23日] 内科学まとめ	1	講義

【授業の形式】 講義、グループワークなど

【教科書】 奈良勲他監修:『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学』、医学書院、2014、¥6480

【参考書】

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学, 内部障害理学療法学

【成績評価】 期末試験47点分(老年医学 33点, 小児科学 20点分)

【実務経験のある教員による科目】 本科目は、複数の医師の先生が担当し、その実務経験を授業内容の講義などにいかした授業となっています。

専門基礎	臨床医学(小児科学)	杏林大学	前期 PT/OT	
------	------------	------	----------	--

次の3単元より構成される〔1. 内科学(28h)・2. 老年医学(20h)・3. 小児科学(12h)〕

【一般教育目標(GIO)】

理学療法・作業療法へ展開するために、小児の生理・心理・疾病の特徴と小児保健に関する基本的な知識を学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 先天異常について説明できる
2. 新生児の特徴について説明できる
3. 感染症, また予防接種の種類を列挙できる
4. 小児の発達過程を説明できる
5. 小児保健について説明できる
6. 循環器障害の種類と特徴について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	先天異常・新生児	1,2	講義
2.	感染症	3	講義
3.	発達と小児保健・循環器障害	4-6	講義

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 奈良勲監:『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野小児科学』. 医学書院. ¥4,200+税.
清野佳紀:『NEW小児科学』第2版. 南江堂. ¥8,500+税

【学生の留意点など】 よく言われるように「こどもは大人の小型ではない」ので、臨床の場に置いて小児に適切に対応するためには、発達・発達途上にある各年齢層の小児の身体的ならびに心理的特徴、および疾病の特徴をよく理解し、問題解決・治療・指導などにおいて必要な技能とふさわしい態度を身につけていかなければならない。このことは、小児科の医師だけでなく、小児科以外の医師・看護師・理学療法士・作業療法士・心理療法士など、その対象に小児を含むすべての医療職に要求される能力である。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学, 発達障害理学療法学, 作業療法評価学Ⅱ

【成績評価】 期末試験 20点分(内科学47点, 老年医学 33点分)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	臨床医学(老年医学)	遠藤 敏	前期 PT/OT	
------	------------	------	----------	--

臨床医学 3単位60h (内科学28h 小児科学12h 老年医学20h)

【一般教育目標(GIO)】

高齢期にある対象者を的確に理解するために、老化がもたらす生理学的変化や老年者の疾患の特徴について学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 老年医学と老年学の説明が出来る
2. 高齢社会の特徴と医療・福祉施策を言える
3. 老化と加齢、老年症候群の特徴を言える
4. 高齢期の生理的特徴について説明できる
5. フレイルとロコモティブ・シンドロームを説明できる
6. 高齢者の機能・生活評価の説明ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 老年医学から老年学への発展	1	講義
	2. 高齢社会の抱える諸問題とその対策	2	講義
	3. 老化と加齢	3	講義
	4. 老年症候群とは	3	講義
	5. 高齢期の生理的特徴_1	4	講義
	6. 高齢期の生理的特徴_2	4	講義
	7. フレイルやロコモティブ・シンドローム	5	講義・演習
	8. 高齢者における主な疾患	4,5	講義・演習
	9. 認知症の理解	4,5,6	講義
	10. 高齢者の機能・生活評価	4,5,6	講義

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 大内尉義編『標準理学療法学・作業療法学 老年学第4版』医学書院、2014、¥4,860.
日本老年医学会編『老年医学テキスト第3版』MEDICAL VIEW、2013、¥7,560.

【学生の留意点など】 老年の疾患でなく、高齢の生活者として考えるようにしたい

【この授業の基礎となる科目】 生理学 病理学概論 社会福祉学

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学 地域理学療法論

【成績評価】 老年医学 33点 (内科学47点分、小児科学 20点分)
[期末試験(80%) + 課題(20%)]

【実務経験のある教員による科目】 当科目は遠藤(理学療法士)が担当し、その実務経験を授業内容の老年学に活かした授業としている。

専門基礎	リハビリテーション医学	関 勝	後期 PT/OT	2単位 30h
------	-------------	-----	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学・作業療法に展開するために、リハビリテーション医学の概念と各障害に対する基本的原則を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 各障害の生じる病態・疫学・予後を記述できる
2. 各障害の診断法・医学的治療を説明できる
3. 各障害に対する病期に応じたリハビリテーションを説明できる
4. 各障害の特徴を列挙できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 脳障害1 脳卒中・頭部外傷等の障害学	1-4	
	2. 脳障害2 急性期のリハビリテーション	1-4	
	3. 脳障害3 慢性期のリハビリテーション	1-4	
	4. 脊髄損傷1 病態総論、診断法、合併症	1-4	
	5. 脊髄損傷2 急性期のリハビリテーション	2,3,4	
	6. 脊髄損傷3 慢性期のリハビリテーション	2,3,4	
	7. 関節リウマチ1 疾患の概要・障害像、診断と評価その1	1-4	
	8. 関節リウマチ2 診断と評価その2、リハビリテーション	1-4	
	9. 神経・筋疾患1 パーキンソン病、脊髄小脳変形症	1-4	
	10. 神経・筋疾患2 多発性硬化症、ALS、筋ジストロフィー	1-4	
	11. 骨・関節疾患 変形性関節症等	1-4	
	12. 切断1 総論、切断と義肢	1-4	
	13. 切断2 切断のリハビリテーション	1-4	
	14. 循環器・呼吸器 心機能及び呼吸機能障害のリハビリテーション	1-4	
	15. 小児リハ 小児のリハビリテーション、その他	1-4	

【授業の形式】講義

【教科書】『リハビリテーション医学テキスト』改訂第4版. 南江堂. 2016. ¥5,300＋税

【参考書】『現代リハビリテーション医学』改訂第4版. 金原出版. 2017. ¥6,200＋税
『リハビリテーション基礎医学』医学書院. 1994. ¥11,000＋税
『リハビリテーションレジデントマニュアル』第3版 医学書院. 2010. ¥5,000＋税

【学生の留意点など】正しい医学知識を身につけ、臨床での応用を常に念頭において勉強して欲しい。

【この授業の基礎となる科目】リハビリテーション概論、臨床医学

【この授業を基礎とした科目】各障害理学療法学、理学療法概論、各作業治療学

【成績評価】筆記試験

【実務経験のある教員による科目】本科目は医師が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

専門基礎	運動学Ⅱ	帯刀 隆之	前期 PT	2単位 30h
------	------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法評価や治療技術論への学習の基礎とするために、理学療法士に最低限必要な下部体幹から足部までの運動学を学ぶ。また主要な骨指標について触知を体験する。

【目標行動(SBO)】

1. 骨盤の構造と運動を説明することができる
2. 股・膝・足関節の構造と運動を説明することができる
3. 関節に係る力と安定化機構を説明することができる
4. 関節の可動域を決定する因子を説明することができる
5. 身体運動の運動連鎖メカニズムの説明を記述できる
6. 主要な*骨指標を触知できる (*主要項目は別リストに示す)

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 運動学概論再覧／骨盤の運動方向表現	1	演習, 講義
	2. 骨盤の解剖学的理解と骨盤傾斜角の評価	1	分離骨標本の観察
	3. 骨盤の運動と姿勢との関係	1.5	講義
	4. 大腿骨の解剖学的理解と股関節への組合せ	2	分離骨標本の観察
	5. 股関節の構造と機能／作用筋と靭帯機構	2.3.4	講義
	6. 関節合力とテコ／股関節合力の計算	3	講義・演習
	7. 膝関節の解剖学的理解と運動	2.4	分離骨標本の観察
	8. 膝関節の安定化機構とバイオメカニクス	2.3.4	講義
	9. 足関節足部の解剖学的理解と運動	2.4	講義・演習
	10. 足関節足部に特有な関節軸その運動／足アーチの機能	2.4	講義・演習
	11. 骨指標の触察と運動の観察1 (骨盤・股関節)	2-6	演習・実技
	12. 骨指標の触察と運動の観察2 (大腿部のレリーフ・膝関節)	2-6	演習・実技
	13. 骨指標の触察と運動の観察3 (膝関節安定性テスト・足関節足部)	2-6	演習・実技
	14. 運動連鎖と関節可動域決定因1 (トーマステストを題材とした構造的理解)	4.5	講義・演習
	15. 運動連鎖と関節可動域決定因2 (同題材による記述的理解)	4.5	講義・演習

【授業の形式】 講義 (他に演習・身体運動観察があります)

【教科書】 中村隆一他:『基礎運動学 第6版補訂』. 医歯薬出版 2012. ¥6,800.+税
平田幸男訳:『解剖学アトラス』. 文光堂 2012. ¥10,000.+税

【参考書】 嶋田智明他訳:『筋骨格系のキネシオロジー』. 医歯薬出版 2012. ¥12,600.-
塩田悦二訳:『カパンジー機能解剖学Ⅱ 下肢』. 医歯薬出版 2010. ¥8,610.-

【学生の留意点など】 基幹科目の一つです。予習・復習を十分にしながら確実に理解を進めてください。また、文章作成力や表現力も養ってください。そのために課題(ワークシート)を通じて、対面による添削学習機会を有効活用してください
※ワークシートの再提出は、課題提出後2週間以内を得点締め切りとします

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学 各障害理学療法学

【成績評価】 期末試験(70%), 課題(ワークシート・筋解剖テスト:30%※(締め切りあり))

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価や治療技術論への学習の基礎となるような運動学事項の理解」に活かした授業としている

専門基礎	運動学演習	沼尾 他	後期 PT	2単位 60h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

今までの運動学を包括的に理解するために健常成人の運動学の知識を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 正常歩行を説明できる.
2. 身体運動を運動連鎖として説明できる.
3. 正常な呼吸, 代謝を説明できる.
4. 筋力, 床反力, 運動制御の基本的事項を説明できる.

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 歩行分析に伴う用語の理解／歩行相の区分	1	
	2. 正常歩行時の身体重心移動処理の理解_1	1	
	3. 正常歩行時の身体重心移動処理の理解_2	1	
	4. 正常歩行時の下肢関節運動の理解	1,2	
	5. 正常歩行時の下肢筋活動の理解	1,2	
	6. 単元1:姿勢保持・身体重心の理解 (EMG) 単元2:筋力の理解 単元3:正常歩行の理解	1,2,3,	
	7. 単元1:姿勢保持・身体重心の理解 (EMG) 単元2:筋力の理解 単元3:正常歩行の理解	1,2,3,	
	8. 単元1:姿勢保持・身体重心の理解 (EMG) 単元2:筋力の理解 単元3:正常歩行の理解	1,2,3,	
	9. 前半まとめ	1,2,3,	
	10. 単元4:姿勢制御の理解 (床反力) 単元5:運動の呼吸代謝の理解 単元6:正常歩行の理解	1,2,3,	
	11. 単元4:姿勢制御の理解 (床反力) 単元5:運動の呼吸代謝の理解 単元6:正常歩行の理解	1,2,3,	
	12. 単元4:姿勢制御の理解 (床反力) 単元5:運動の呼吸代謝の理解 単元6:正常歩行の理解	1,2,3,	
	13. グループ発表準備	1,2,3,	
	14. グループ発表	1,2,3,	
	15. まとめ	1,2,3,	

【授業の形式】 講義 実技

【教科書】 中村隆一他『基礎運動学第6版』医歯薬出版株式会社 2003年 ¥7140

【参考書】

【学生の留意点など】 各単元は1回ごとに完結する参加型の演習で構成される。
欠席のないように注意すること。
積極的・能動的に参加することが重要。クラスを3班にグループ分けして行う。

【この授業の基礎となる科目】 運動学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学, 理学療法研究法

【成績評価】 レポート(各単元終了後, 1週間以内に提出)60%, 筆記試験40%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

専門分野	理学療法評価学Ⅰ	藤川 明代	通年 PT	2単位 60h
------	----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

関節可動域測定・徒手筋力検査を実施するために関節可動域測定、徒手筋力検査の意義を理解・実施できる。

【目標行動(SBO)】

- それぞれの定義・目的・原則を説明できる。
- 測定を実施する際に、適切なオリエンテーションを実施できる。
- それぞれの検査における一般的な測定手順、注意点、リスク管理を説明できる。
- 関節可動域の記録方法、参考可動域、測定器具の使用方法を説明できる。
- 関節可動域測定に必要な基本軸・移動軸・ランドマークを説明でき、基本軸、移動軸に正しく角度計を当て測定できる。
- 各関節の最終域感を判別し、制限因子について分類できる。
- 測定時の代償動作の抑制が適切に行えるような肢位を取らせ、正しい固定と徒手抵抗を実施できる。
- 上下肢・体幹・下肢の徒手筋力検査において各関節運動方向での主動作筋、測定肢位が言える。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 関節可動域検査総論:意義・目的・原則	1-4	講義 1 p896-903
	2. 関節可動域測定:上肢	3-6	実技 1 p896-903
	3. 関節可動域測定:上肢・肩甲帯	3-6	実技 1 p896-903
	4. 関節可動域測定:上肢・肩甲帯	3-6	実技 1 p896-903
	5. 関節可動域測定:下肢	3-6	実技 1 p896-903
	6. 関節可動域測定:下肢	3-6	実技 1 p896-903
	7. 関節可動域測定:手指・足趾・メジャーを使用した測定	3-6	実技 1 p896-903
	8. 関節可動域と日常生活動作との関連性・関節可動域測定のまとめ	1-6	実技
	9. 徒手筋力検査総論:意義・目的・原則	1	講義 1 p62-67
	10. 徒手筋力検査:下肢	3,7,8	実技 2 p182-217
	11. 徒手筋力検査:下肢	3,7,8	実技 2 p182-217
	12. 徒手筋力検査:下肢・頸部・体幹	3,7,8	実技 2 p16-243
	13. 徒手筋力検査:上肢	3,7,8	実技 2 p65-142
	14. 徒手筋力検査:上肢	3,7,8	実技 2 p65-142
	15. 徒手筋力検査:上肢・手指・足趾	3,7,8	実技 2 p65-142

【授業の形式】 実技・講義

【教科書】 1.中村利考:『標準整形外科学』:医学書院

2.Helen J.Hislop,Jacqueline Montgomery著,津山直一 訳:『新・徒手筋力検査法 原著第9版』:協同医書出版社:¥7500

【参考書】 青木主悦『ROMナビ』:有限会社ラウンドフラット:¥3800

【学生の留意点など】 1.解剖学・運動学の知識が前提となるので十分に復習をしてください。

2.実技は動きやすい服装(触診が可能なようにTシャツ・短パン)に着替えてください。

3.数多くの経験をするために、実技では様々な人と練習を行ってください。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 運動学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学, 理学療法評価学演習

【成績評価】 前期→関節可動域測定50%(筆記・実技)後期→徒手筋力検査 50%(筆記・実技)によって評価を行う。前期・後期それぞれの試験において合計点数が60%に満たないものは再試験を課す。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価演習の理解に向け検査測定とその解釈」に活かした授業としている

専門分野	理学療法評価学Ⅱ	沼尾 拓	後期 PT	2単位 60h
------	----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

神経学的検査を実施するために、その意義・メカニズムを理解し、方法を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. それぞれの検査の定義・目的・原則を説明できる。
2. 測定を実施する際に、適切なオリエンテーションを実施できる。
3. それぞれの検査の一般的な測定手順、注意点、リスクを説明できる。
4. 検査結果の記録方法、測定器具の使用方法を説明できる。
5. それぞれの神経学的検査と障害・疾患の関係、神経解剖・生理学的背景を説明できる。
6. 検査時に適切な肢位をとらせ、適切な抵抗・刺激を与えることができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 神経学的検査とは、麻痺の分類、中枢神経・末梢神経	1,3,5	講義
	2. 感覚検査理論	1,3,5	講義
	3. 感覚検査実技(触覚・痛覚)	1-4,6	実技
	4. 感覚検査実技(温度覚・深部覚・二点識別覚・足底触圧覚)	1-4,6	実技
	5. 反射検査理論	1,3,6	講義
	6. 反射検査実技	1-4,6	実技
	7. 筋緊張・筋萎縮理論	1,3,6	講義
	8. 筋緊張検査実技(視診・触診・伸展性)	1-6	講義・実技
	9. 筋緊張検査実技(懸振性・被動性)	1-4,6	実技p167-174
	10. 運動失調検査理論・実技	1-6	実技p157-166
	11. バランス理論	1-4,5	講義・実技
	12. バランス検査実技	1-4,6	実技
	13. 脳神経検査理論・実技	1-6	講義・実技
	14. 高次脳機能障害検査理論・実技	1-6	講義・実技
	15. 意識障害、認知症理論・実技	1-6	講義・実技

【授業の形式】 実技(講義があります)

【教科書】

【参考書】 松澤正著:『理学療法評価学 改訂第5版』:金原出版:¥6200
 田崎義昭他著:『ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版』:南山堂:¥7200
 医療情報科学研究所:『病気がみえるvol.7 脳・神経 第1版』:メディックメディア:¥3800

【学生の留意点など】 解剖学・運動学・生理学・神経内科学の知識が前提となるので十分復習しておくこと。
 実技は動きやすい服装(Tシャツ・短パン)に着替えること。
 数多くの経験をするために、実技では様々な人と練習を行うこと。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 運動学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学, 理学療法評価学演習

【成績評価】 筆記試験66%・実技試験34%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

専門分野	運動療法学概論	佐々木 亮平	前期 PT	2単位 30h
------	---------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

多様な能力低下に対して適切な運動療法の計画立案ができるようになるために、生理学的、解剖学および運動学的視点から基本的な運動療法を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 関節可動域訓練について、エンドフィールによる制限因子の特定と、適切な可動域訓練の設定項目を列挙できる
2. 筋力増強訓練について、運動強度の設定と適切な筋力増強訓練の設定項目を列挙できる
3. 持久力向上について、持久力の指標となる身体の生理学的反応を理解し、適切な持久力訓練の設定項目を列挙できる
4. 協調性運動障害について、協調性運動を成立させるための解剖学的部位と協調性運動が説明でき、協調性運動障害を列挙できる
5. バランス能力低下について、バランス制御に関わる反射・反応と身体機能を列挙できる
6. 運動学習について、基本的な運動学習に関する用語を説明できる
7. 運動療法を実施する際のリスクについて、リハビリ中止基準を列挙でき、リスクの管理について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	運動療法学 総論		
	1. 運動療法とはなにか	1-7	講義
	関節可動域制限に対する運動療法		
	2. 可動域が低下する理由、エンドフィールと関節可動域	1	講義、実技
	3. 関節可動域訓練の理論と方法	1	講義、実技
	4. 関節可動域訓練の実際	1	講義、実技、小テスト
	筋力低下に対する運動療法		
	5. 筋力が低下する理由、筋力向上の生理学的仕組み	2	講義
	6. 遠心性収縮と求心性収縮の理解とRM(Repitition Maximun)の理解	2	講義、実技
	7. 筋力増強訓練の実際	2	講義、実技、小テスト
	持久力低下に対する運動療法		
	8. 持久力の定義と運動のエネルギー源	3	講義
	9. 持久的運動に対する身体の生理学的応答	3	講義、実技
	10. 持久力低下に対する運動療法設定のための運動強度の理解	3	講義、実技、小テスト
	協調性運動障害に対する運動療法		
	11. 協調性運動障害に対する理解と解剖学的要因、運動療法	4	講義、実技
	バランス能力低下に対する運動療法		
	12. バランス制御の反射階層理論、システム理論の理解	5	講義、実技
	運動学習		
	13. 運動学習の基本的理論の理解	6	講義、グループワーク
	リスク管理		
	14. 運動療法とリスク、リスクの回避	7	講義
	運動療法の実際		
	15. ケーススタディー	1-6	グループワーク

2019年度 夜間部 2学年

【授業の形式】 講義、実技、グループワーク

【教科書】 文光堂（(運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版)）編集：市橋則明 ¥7.560

【参考書】 朝倉書店（(運動生理学20講 第2版)）勝田茂著 ¥3,456
標準理学療法学 運動療法学 総論 第4版 ¥5.040

医学書院

【学生の留意点など】 2学年に入り、初めての治療学の科目となります。
治療の基礎となる解剖学、生理学、運動学、バイオメカニクスは十分に復習して臨んでください。また、2学年で学ぶ評価学Ⅰ・Ⅱとの知識をつなぎ合わせながら進めていきたいと思います。その前提を基に、ヒトに治療のため運動を行うということはどのような事なのか考えながら、実際に運動療法の施行、指導を行っていきましょう。実技の時間は動ける格好で臨んでください。

【この授業の基礎となる科目】 生理学、運動学、解剖学、評価学、医療情報学、バイオメカニクス

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学

【成績評価】 小テスト 30% 筆記試験 70%

小テスト 関節可動域制限に対する運動療法、筋力低下に対する運動療法、持久力低下に対する運動療法に関して小テストを行う。

再試要件 小テスト(30点)、期末試験(70点)の合計100点のうち合計60点未満の場合は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を治療知識獲得のため、臨床的な治療方法獲得のため、活かした授業としている。

専門分野	運動器障害理学療法学	福田 崇・林 佑樹	後期 PT	3単位 60h
------	------------	-----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

整形外科疾患の病態と障害を学び、それらに対する検査測定を選択・実行でき、基本的な治療プログラムを立案とその実施ができるようになる。

【目標行動(SBO)】

1. 各関節の機能解剖と機能障害を踏まえた検査測定ができる。
2. 運動器障害を引き起こす代表的な整形外科疾患を理解・説明できる。
3. 疾患名からリスク・運動器の障害・検査測定が想起できる。
4. 基本的な運動療法の方法・留意点を理解し説明できる。
5. 代表的な運動療法プログラムを想起でき、実施できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

授業説明

1. 整形外科リハにおける評価・治療、疼痛の検査・評価・治療	1-5	実技・講義
総論		
2. 総論：骨折と脱臼の評価・治療	2-5	実技・講義
3. 総論：変形性関節症の評価・治療	2-5	実技・講義
各論		
4. 肩関節の評価・治療	1-4	実技・講義
5. 肩関節の症例問題	1-5	実技・講義
6. 肘関節の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
7. 手関節・手部の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
8. 股関節の評価・治療	1-4	実技・講義
9. 股関節の症例問題	1-5	実技・講義
10. 膝関節の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
11. 下腿の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
12. 足関節・足部の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
13. 上部脊椎の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
14. 下部脊椎の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
15. 関節リウマチの評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義

【授業の形式】 講義・実技

【教科書】 神野哲也監. ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション. 羊土社. 2012. ¥7,020

【参考書】 病態：標準整形外科学. 第13版. 医学書院. 2016. ¥10,152
 評価：S.Hoppenfeld 著. 図解 四肢と脊椎の診かた. 医歯薬出版. 1984. ¥5,616
 治療：市橋則明編. 運動療法学. 第2版. 文光堂. 2014. ¥7,560

【学生の留意点など】 患者さんと接するとき、会話すること、触れること、動かすこと、動いてもらうこと、検査測定すること、治療すること、すべてに意味があります。実技能力を高めるには意味を理解し、反復練習する必要があります。授業外でも実技練習を重ねて卒業するまでに実技能力を高められるだけ高める意気込みで参加してください。

【この授業の基礎となる科目】 運動学、解剖学、運動療法概論、病理学概論、整形外科学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 運動療法技術論 運動器障害理学療法学Ⅱ

【成績評価】 実技試験100% (身だしなみのチェックを満たさないとゼロ点)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を整形外科疾患の病態把握・検査測定・運動療法の思考と実技に活かした授業としている。

専門分野	日常生活活動論	長屋 説	後期 PT	3単位 60h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

適切な日常生活活動の支援が実現するために、理学療法の観点から無意識に行っている日常生活活動を分析・評価し、対象者それぞれの生活の質を維持・向上できるような治療技術を習得する。また、補助具の処方・指導を実施できるようになるために、目的や使用方法を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 日常生活活動の概念、範囲(セルフケア、移動、コミュニケーション、IADL)が説明できる。
2. 代表的なADL評価の各特徴を説明し実施できる。
3. セルフケアの動作分析ができる(健常者)
4. 歩行・移動補助具や車椅子の処方・指導が出来る。
5. 動作の介助を標準的な方法で実施できる。
6. 代表的な疾患をモデルにADL指導ができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. オリエンテーション・日常生活の概念・範囲/ICFによる理学療法評価	1	講義
	2. できるADLとしているADL, 目標とするADL/「できる」の定義	2	講義
	3. FIM・BI・自立度を使用した日常生活活動の評価/質的評価と量的評価	2	講義
	4. セルフケアの分析①	2	講義 GW
	5. セルフケアの分析②(レポート作成)	3	GW
	6. セルフケアの分析③(発表内容作成)セルフケアの分析④(質的評価発表)	3	GW
	7. セルフケアの分析④(質的評価発表)	3	発表 質疑応答
	8. 移動補助具の種類と適応①(車椅子・整備点検)	4	講義 実技
	9. 移動補助具の種類と適応②(杖・松葉杖その他 障害物 階段)	4	講義 実技
	10. 起居移乗・床上動作の種類と目的/複合動作	4	講義 実技
	11. 移乗・移動動作を誘導する①(全介助)	5	講義 実技
	12. 移乗・移動動作を介助する②(軽介助)	5	講義 実技
	13. 移乗・移動動作の介助方法を知る③(部分介助・半介助)	2.5	講義 実技
	14. 特殊な移乗・移動介助(介助バー・ずり落ち修正・T/B・リフター)	5.6	講義 実技
	15. 移動介助の応用編(THA)・高齢者とADL(フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニア)	5.6	講義 実技

【授業の形式】 講義と実技が主流です。(グループワーク・発表あり)

【教科書】 奈良勲監修:標準理学療法学専門分野『日常生活活動学・生活環境学第4版』医学書院5400円
FIM:手引き

【参考書】 伊藤利之著:『ADLとその周辺』医学書院 5900円
大川嗣雄編:『日常生活動作(活動)』医歯薬出版 7140円
細田多穂監:『日常生活活動学テキスト』南江堂 4200円

【学生の留意点など】 1.実技の際は白衣(KC)着用で参加して下さい。
2.グループにて課題を遂行するものもあります。時間調整など協力して進めて下さい。
3.レポートや課題の提出は時間を厳守して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 日常生活活動論演習

【成績評価】 筆記試験 70% 実技試験30%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門基礎	運動学Ⅱ	福井健太郎・兵頭洋子	前期 OT	2単位 30h
------	------	------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法の評価・治療が行えるようになるために、身体運動に関する基礎知識を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 身体運動及び動作分析に必要な基礎知識について説明できる
2. 正常歩行と異常歩行について説明できる
3. 異常な運動発達について説明できる
4. 運動学の国家試験問題を解くことができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 運動学Ⅰの復習	1.2.4	講義(福井)
	2. 姿勢の基本と評価	1.2.4	講義(福井)
	3. 筋収縮のタイプと運動	1.2.4	講義(福井)
	4. 運動発達①	1.3	講義(兵頭)
	5. てこの原理	1.2.4	講義(福井)
	6. 運動発達②	1.3	講義(兵頭)
	7. 重力加速度とモーメント	1.2.4	講義(福井)
	8. 仕事	1.2.4	講義(福井)
	9. 歩行の基礎①	1.2.4	講義・演習(福井)
	10. 歩行の基礎②	1.2.4	講義・演習(福井)
	11. 片麻痺者の障害像	1.2.4	講義(福井)
	12. 異常歩行①	1.2.4	講義・演習(福井)
	13. 異常歩行②	1.2.4	講義・演習(福井)
	14. 随意運動と運動学習	1.2.4	講義(福井)
	15. 復習	1.2.4	講義・演習(福井)

【授業の形式】 講義・演習

【教科書】 中村隆一・齋藤宏・長崎浩(著):『基礎運動学第6版補訂』, 医歯薬出版, 2012年, ¥6,800+税
適宜資料を配布します。

【参考書】 Dorald A Neumann:『カラー版筋骨格系のキネシオロジー原著第2版』, 医歯薬出版, 2012年, ¥12,960
Abrahams,P.H.,Spratt,J.D.,Loukas,M.,&Van Schoor,A.N.:『人体解剖カラーアトラス』, 南江堂, 2015年. ¥6,264
『クエスチョン・バンク理学療法士作業療法士国家試験問題解説2019』メディックメディア. ¥4500+税

【学生の留意点など】 この授業では理解を進めるために演習を行う時間があります。必要に応じて動きやすい服装で参加してください。1年次に学習済みの下記授業内容については各自復習しておくこと。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 運動学Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 運動学演習, 身体障害治療学演習

【成績評価】 筆記試験(100%)で評価します。
筆記試験については60%未満の者は再試験とします。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を、運動学に活かした科目としている

専門基礎	運動学演習	福井 健太郎	後期 OT	2単位 30h
------	-------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

日常生活活動を分析し、結果を作業療法に応用できるようになるために、人体運動の分析に必要な知識・技術を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 基本動作の遂行に必要な機能を理解し、評価・分析・記録することができる
2. 上肢機能を理解し、評価・分析・記録することができる
3. それぞれの検査・測定を理解・実施・考察することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 動作分析のやり方について	1	演習・講義(以下同じ)
	2. 基本動作(起き上がり)の観察と分析(レポート①)	1	
	3. 基本動作(立ち上がり)の観察と分析(レポート②)	1	
	4. 起居動作と移乗	1	
	5. 坐位姿勢とリーチ動作の観察と分析	1, 2	
	6. 関節可動域制限と代償運動の観察と分析(レポート③)	1, 2	
	7. 機能的関節可動域(身体各部へのリーチ)の測定(レポート④)	1, 2	
	8. 手関節の調節機能の観察と分析(レポート⑤)	1, 2	
	9. 手指の操作機能の観察と分析(レポート⑥)	1, 2	
	10. 筋緊張の異常(MAS)	3	
	11. 姿勢の評価	3	
	12. バランスの評価	3	
	13. 運動とADL(AMPS)	3	
	14. 動作のスクリーニング	3	
	15. 復習	1-3	

【授業の形式】 演習・講義 レポート提出

【教科書】 配布資料

【参考書】 中村隆一, 他:『基礎運動学 第6版補訂版』, 医歯薬出版, 2012, ¥7140
 細田多穂, 他:『理学療法評価学テキスト』, 南江堂, 2010, ¥5700+税
 山本伸一編:『中枢神経系疾患に対する作業療法』三輪書店, 2009, ¥3600+税

【学生の留意点など】 人体運動および日常生活活動において、どのような機能が必要とされるかを観察、分析する。この能力は、身体障害者の機能訓練のための評価・治療、および日常生活活動の評価・治療を行う上で基礎となるものである。演習(実習)が主体であるので、積極的に参加すること。

【この授業の基礎となる科目】 運動学

【この授業を基礎とした科目】 身体障害作業治療学, 日常生活評価学

【成績評価】 筆記試験(90%), レポート(10%)で総合的に評価する。ただし、レポート未提出の者は期末試験の受験資格はないものとする。筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を、運動学の評価及び演習に活かした科目としている

専門分野	基礎作業学総論	河野 達哉	後期 OT	2単位 30h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業の治療的な活用ができるために必要な知識を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 様々な作業の定義・種類を説明できる
2. 作業を用いる視点と分析の視点を説明できる
3. 各領域における作業分析・応用の例を理解する

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 「作業」とは	1	
	2. ひとと作業との関係	1	
	3. 作業の特性とは	1	
	4. 作業と生活機能	1,2	
	5. 作業を分析する 目的 種類 方法について	2	
	6. 包括的作業分析とは	2	
	7. 限定的作業分析とは①	2	
	8. 限定的作業分析とは②	2	
	9. 限定的作業分析とは③	2	
	10. 作業が活きる条件	3	
	11. 作業を媒介としたかかわり	3	
	12. 発達障害領域における治療への応用	3	兵頭
	13. 身体障害領域における治療への応用	3	福井
	14. 高齢期障害領域における治療への応用	3	竹内
	15. 精神障害領域における治療への応用	3	照井

【授業の形式】 講義, 演習

【教科書】 山根寛著 ひとと作業・作業活動 新版 三輪書店 3500円

【参考書】 澤田雄二編:『作業療法学全書 改訂第3版 基礎作業学』協同医書出版社. 2009. ¥3200
 二木淑子, 能登真一編:『標準作業療法学 作業療法学概論 第3版』医学書院. 2016. ¥4000
 吉川ひろみ:『「作業」ってなんだろう』医歯薬出版株式会社. 2008. ¥2200

【学生の留意点など】 「作業」について学び, 理論・モデルの概要について知り, 各領域において作業をどのように治療で応用するかを学びます. また, 作業の分析の仕方について演習します.

【この授業の基礎となる科目】 基礎作業学Ⅰ, 作業療法概論

【この授業を基礎とした科目】 各基礎作業学, 各評価学, 各治療学

【成績評価】 筆記試験60% (6割に満たなかった場合は再試験対象とする) ワークシート40%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を, ひとと作業という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	基礎作業学Ⅱ	照井 林陽	後期 OT	2単位 30h
------	--------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法的手段として構成的作業、非構成的作業を用いるための基本的知識・技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 各作業活動において、基本的な知識を理解できる
2. 各作業活動において、基本的な技術を実施できる
3. 各作業活動において、一連の工程を実施できる
4. 包括的作業分析を簡易的に実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション, 作業体験① 陶芸(手びねり)	1~3	
	2. 作業体験② 陶芸(手びねり)	1~3	
	3. 作業体験③ 陶芸(板作り, 紐作り)	1~3	
	4. 作業体験④ 陶芸(板作り, 紐作り)	1~3	
	5. 作業体験⑤ 陶芸(オープン陶芸)	1~3	
	6. 作業体験⑥ 陶芸(素焼き窯入れ, オープン焼成①)	1~3	
	7. 作業体験⑦ 陶芸(施釉, 本焼き窯入れ, オープン焼成②)	1~3	
	8. 作業体験⑧ 編み物(かぎ針, 棒針), 木工	1~3	
	9. 作業体験⑨ 編み物(かぎ針, 棒針), 木工	1~3	
	10. 作業体験⑩ 編み物(かぎ針, 棒針), 木工	1~3	
	11. 作業体験⑪ 編み物(かぎ針, 棒針), 木工	1~3	
	12. 作業体験⑫ 編み物(かぎ針, 棒針), 木工	1~3	
	13. 作業体験⑬ 編み物(かぎ針, 棒針), 木工	1~3	
	14. 作業体験⑭ 七宝焼	1~3	
	15. 作業体験⑮ 七宝焼, まとめ	1~3	

【授業の形式】 講義, 演習

【教科書】 古川宏:『つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル』医歯薬出版株式会社. 2012. ￥4000

【参考書】 山根寛:『ひとと作業・作業活動 第2版』三輪書店. 2007. ￥3465

日本作業療法士協会:『作業—その治療と応用—』協同医書出版社. 2008. ￥3500

浅沼辰志他:『基礎作業学実習ガイド 作業活動のポイントを学ぶ』協同医書出版社. 2008. ￥2500

長崎重信他:『作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業学 改訂第2版』メジカルビュー. ￥4700

【学生の留意点など】 本授業は、構成的作業と非構成的作業の体験を通して両作業の特徴等を学ぶ機会となっている。臨床で必要な手段、有効な手段として適切に作業活動を選択するために、積極的な取り組みを推奨する。
服装は動きやすく汚れてもよいもの、エプロンなどを用意すること。陶芸を行う際は 爪を切っておくこと。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法概論, 基礎作業学Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 各基礎作業学, 各評価学, 各治療学

【成績評価】 作品課題60%(作品3点:規定遵守40%, 期限提出20%), レポート課題40%(内容30%, 期限提出10%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し、その実務経験を授業内容の演習に活かした授業としている。

専門分野	基礎作業学Ⅲ	照井 林陽	前期 OT	2単位 30h
------	--------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法評価ができるために、作業活動を用いた評価の基本的知識・技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 作業活動を用いた評価の視点について説明できる
2. 作業活動を用いた評価の方法を説明できる
3. 作業活動を用いた各評価を一部実施できる
4. 記録の意義、形式について、説明できる
5. 記録を一部実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 作業活動を用いた評価の意義と目的①	1,2	照井
	2. 作業活動を用いた評価の意義と目的②	1,2	照井
	3. 観察①(作業活動場面における観察の視点)	2,3	照井
	4. 観察②(観察者バイアス, 参与観察法, 非参与観察法)	2,3	照井
	5. 観察③(作業遂行と問題解決の関係)	2,3	照井
	6. 観察④(精神障害領域における作業を用いた観察)	2,3	照井
	7. 観察⑤(身体障害領域における作業を用いた観察)	2,3	竹内
	8. 観察⑥(発達障害領域における作業を用いた観察)	2,3	兵頭
	9. 面接①(意義と目的, 面接形態, 種類, 位置関係)	2,3	照井
	10. 面接②(準備, 原則, 注意点, 接触技術)	2,3	照井
	11. 面接③(各面接の概要, 精神障害領域における面接法)	2,3	照井
	12. 面接④(身体障害領域における面接法)	2,3	竹内
	13. 面接⑤(発達障害領域における面接法)	2,3	兵頭
	14. 面接⑥(作業活動と興味の関係, NPI興味チェックリスト)	2,3	照井
	15. 記 録(記録の意義, 形式の例)	4,5	照井

【授業の形式】 講義, 演習

【教科書】 岩崎テル子, 他編:『標準作業療法学 作業療法評価学 第3版』医学書院. 2017. ¥6264

【参考書】 生田宗博編:『作業療法学全書 改訂第3版 作業療法評価学』協同医書出版社. 2009. ¥3800

【学生の留意点など】 本授業は、主に精神科領域における「作業を用いた評価」の基礎となるが、領域を問わずに作業活動を用いて対象者を評価する基礎となる。
評価に作業活動を用いること、その特性を体験し、学習する。
本授業は自己を客観視する機会が含まれており、作業療法の特徴の一つである「the therapeutic use of the self」を考える機会となる。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法概論, 基礎作業学Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 各基礎作業学, 各評価学, 各治療学

【成績評価】 筆記試験100%(6割に満たなかった場合は再試験対象とする)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し、その実務経験を授業内容の演習に活かした授業としている。

専門分野	作業療法評価学Ⅰ	竹内幸子	前期 OT	2単位 30h
------	----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 必要な検査・測定法を選択できるようになるために、各検査・測定法の目的・意義を理解できる。
2. 基本的な検査・測定法を理解し、正しいオリエンテーションおよび安全で適切な検査・測定を実施できる。

【目標行動(SBO)】

1. 各検査・測定の目的、意義を説明できる。
2. 基礎的知識(解剖生理運動学)をもとにした検査測定とその意義の結び付きを説明できる。
3. 各検査・測定のオリエンテーションを分かりやすい言葉で実施する。
4. リスク管理・環境に配慮した検査を実施できる。
5. 各検査・測定法を基本的な方法で実施できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
1.	オリエンテーション, 作業療法評価とは, 医療面接・情報収集	1-5	講義・実技
2.	バイタルサイン・意識レベル・形態測定	1-5	講義・実技
3.	関節可動域測定【意義・器具の取扱い・検査法】	1-5	講義・実技
4.	関節可動域測定【上肢(肩甲帯～肩関節～肘関節)】	1-5	講義・実技
5.	関節可動域測定【上肢(肘関節～前腕・手関節)】	1-5	講義・実技
6.	関節可動域測定【上肢-手指(前腕・手関節～手指)】	1-5	講義・実技
7.	関節可動域測定【下肢(股関節～膝関節～足関節)】	1-5	講義・実技
8.	関節可動域測定【下肢および体幹・頸部】	1-5	講義・実技
9.	関節可動域測定まとめ・反射検査	1-5	講義・実技
10.	感覚検査①	1-5	講義・実技
11.	感覚検査②, 協調性検査	1-5	講義・実技
12.	片麻痺機能検査	1-5	講義・実技
13.	上肢機能検査	1-5	講義・実技
14.	脳神経検査・中枢神経疾患の評価	1-5	講義・実技
15.	検査・測定の意義と解釈	1-5	講義・実技・演習

【授業の形式】 講義・実技・演習

【教科書】 1. 能登真一他(編)『標準作業療法学 作業療法評価学第3版』: 医学書院, 2017, ¥5800+税
 2. Cynthia C. Norkin, D.Joyce White(著)『関節可動域測定法・可動域測定の手引き【改訂第2版】』: 共同医書出版社, 2002, ¥4000+税,

【参考書】 1. 青木主税(著)『ROMナビ第2版』: ラウンドフラット, 2013, ¥4104
 2. 田崎義昭他(著)『ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版』: 南山堂, 2016, ¥7200

【学生の留意点など】 1. 予習・復習を積極的に行ってください。
 2. 実技は動きやすい服装(学院指定のケーシー)に着替えてください。
 3. 人の個性差を経験するためにも様々な人と実技の練習をしてください。

【この授業の基礎となる科目】 解剖・生理・運動学

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅰ～Ⅲ, 各評価学, 各治療学

【成績評価】 筆記試験(50%)実技試験(50%)で評価する。筆記・実技試験で60%未満の者は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、作業療法評価学Ⅰの授業に活かした科目としている。

専門分野	作業療法評価学Ⅱ	兵頭 洋子	後期 OT	2単位 30h
------	----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達障害(広義)の作業療法評価を実施できるようになるために必要な知識を身につける。

【目標行動(SBO)】

1. 正常発達のマイルストーンを述べることができる。
2. 粗大運動・上肢機能・感覚統合機能・認知機能等の発達がそれぞれ関連していることを説明できる。
3. 発達障害領域の作業療法評価の目的, 評価項目を列挙できる。
4. 発達障害領域の作業療法評価で使用する評価法を列挙し, その特徴を述べることができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	コースオリエンテーション, 胎児の発達	1,2	講義
2.	正常発達① 運動発達と反射・反応との関連, 知覚運動機能(感覚統合)の発達	1.2	講義
3.	正常発達② 認知機能の発達, 社会性機能の発達	1.2	講義
4.	正常発達③ 出生～3歳までの発達(上肢, 感覚・認知, 社会性機能の発達)	1.2	講義
5.	正常発達④ 3～5歳までの発達()	1,2	講義
6.	発達過程作業療法における発達検査の目的と留意点, 発達全般を評価する検査①	3,4	講義
7.	② 新版K式, 遠城寺式, DENVERⅡ, 津守式, KIDS	3,4	講義・演習
8.	運動機能の評価①	3,4	講義
9.	② 検査法, 姿勢・動作分析	3,4	講義・演習
10.	感覚統合機能の評価①	3,4	講義
11.	② JPAN, JMAP, JSI-R, 感覚プロファイル	3,4	講義・演習
12.	視知覚・視覚認知の評価, 知能・認知機能の評価 ①	3,4	講義
13.	② WPPSIⅢ, KABCⅡ, グッドイナフ, フロスティグ, WAVES	3,4	講義・演習
14.	行動の評価, 作業遂行・身辺処理の評価①	3,4	講義
15.	② 検査法, まとめ:評価計画を立案する	3,4	講義・演習

【授業の形式】 演習(講義があります)

【教科書】 能登真一他編集『作業療法評価学第3版』医学書院. 2017. 5800円＋税(7回以降使用)

【参考書】 その都度紹介いたします

【学生の留意点など】 この授業では, 発達障害領域の対象者を評価するための正常発達・評価法の知識を学びます。正常発達の知識は発達障害領域のみならず, 身体障害領域・精神障害領域にも関与してきます。関連を考えながら学習できればと考えております。

【この授業の基礎となる科目】 臨床医学(小児科学), 運動学

【この授業を基礎とした科目】 発達障害作業治療学

【成績評価】 期末試験(筆記試験80%)筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。
課題20%(10回分ワークシート実施)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、発達障害の作業療法評価の実施という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	作業療法評価学演習	竹内 幸子	後期 OT	1単位 30h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 必要な検査・測定法を選択できるようになるために、各検査・測定法の目的・意義を理解できる。
2. 安全で適切な評価を実施することができるために正しいオリエンテーションと基本的な検査法を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 検査・測定の目的、意義を説明できる。
2. 基礎的知識をもとにした検査とその意義の結び付きを説明できる。
3. 各検査・測定のオリエンテーションを分かりやすい言葉で実施する。
4. リスク管理・環境に配慮した検査を実施できる。
5. 各検査・測定法を基本的な方法で実施できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 徒手筋力検査法【オリエンテーション・意義・検査法・基礎知識の確認】	1-5	講義・実技
	2. 徒手筋力検査法【上肢(肩甲帯～肩関節)】	1-5	講義・実技
	3. 徒手筋力検査法【上肢(肩関節～肘関節～前腕・手関節)】	1-5	講義・実技
	4. 徒手筋力検査法【上肢(前腕・手関節～手指)】	1-5	講義・実技
	5. 徒手筋力検査法【下肢(股関節～膝関節)】	1-5	講義・実技
	6. 徒手筋力検査法【下肢(膝関節～足関節)】	1-5	講義・実技
	7. 徒手筋力検査法【下肢および体幹・頸部】	1-5	講義・実技
	8. 認知機能検査・高次脳機能検査①	1-5	講義・実技
	9. 高次脳機能検査②	1-5	講義・実技
	10. 高次脳機能検査③	1-5	講義・実技
	11. 高次脳機能検査④	1-5	講義・実技
	12. 評価計画立案・症例報告書の構成	1-5	講義・実技・演習
	13. 対象者に応じた検査・測定の実施	1-5	講義・実技・演習
	14. 検査・測定結果から問題点の抽出と解釈	1-5	講義・演習
	15. 作業療法評価のまとめと考察	1-5	講義・実技・演習

【授業の形式】 講義・実技・演習

【教科書】 1. H.J.Hislop, J. Montgomery (著), 津山直一 (訳)『新・徒手筋力検査法 原著第9版』: 共同医書出版社, 2014, ¥7500+税,
2. 能登真一 (編)『標準作業療法学高次脳機能作業療法学第2版』: 医学書院, 2019, ¥4000+税

【参考書】 1. 青木主税 (著)『MMTナビ』: ラウンドフラット, 2017, ¥5800
2. 岡田岳ら (編)『OT症例レポート赤ペン添削 ビフォー&アフター』: 羊土社, 2018, ¥3888

【学生の留意点など】 臨床実習Ⅰに関わる大事な授業です。運動学演習・日常生活評価学演習等の授業と連動して、作業療法評価の基礎を学んでいきます。予習・復習を含め積極的に学習し、実技では動きやすい服装で参加してください。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法学Ⅰ, 解剖学, 生理学, 運動学Ⅰ, 作業療法学概論

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅰ～Ⅲ, 各評価学, 各治療学

【成績評価】 筆記試験(45%)実技試験(45%)課題(10%)で評価する。
筆記・実技試験で60%未満の者は再試験とする。課題は必ず提出し、期限を厳守すること。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、作業療法評価学演習の授業に活かした科目としている。

専門分野	日常生活評価学	福井健太郎・竹内幸子	後期 OT	2単位 30h
------	---------	------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者の日常生活動作を評価できるようになるために知識・技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 代表的な日常生活動作の評価バッテリーの特徴を説明できる
2. FIMにある日常生活動作を評価するポイントを説明できる
3. 障害を持つ人の日常生活動作を理解・評価できる
4. 健常者の日常生活動作の分析・記録ができる
5. 事例の記述から、ICFを作成できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. ADLとIADL	1	講義
	2. ADLとIADL評価のテストバッテリーの種類と特徴	1	講義
	3. Barthel Indexの評価	1	講義・演習
	4. FIMの評価①	2	講義
	5. FIMの評価②	2	講義・演習
	6. FIMの評価③	2	講義・演習
	7. COPMの実施	1	講義・演習
	8. 生活行為向上マネジメント	3	講義・演習
	9. ICFの実施	5	講義・演習
	10. 食事動作の観察と分析(レポート①)	3,4	講義・演習
	11. 洗顔・歯磨き・整髪動作の観察と分析(レポート②)	3,4	講義・演習
	12. 更衣動作の観察と分析(レポート③)	3,4	講義・演習
	13. 排泄動作の観察と分析(レポート④)	3,4	講義・演習
	14. 洗体動作の分析(レポート⑤)	3,4	講義・演習
	15. 高次脳機能障害とADL	3.4	講義・演習

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 酒井ひとみ 編集:『作業療法全書改訂第3版 日常生活活動』, 協同医書出版社, 2009, ¥3600+税
 慶應義塾大学医学部リハビリテーション科 訳:『FIM』, 医学書センター
 1991¥700
 渕雅子 編集『作業療法全書 改訂第3版 高次脳機能障害』協同医書出版社, 2011, ¥3200+税

【参考書】 山本伸一編:『中枢神経系疾患に対する作業療法』三輪書店, 2009, ¥3600+税
 随時紹介する。

【学生の留意点など】 作業療法評価と臨床実習Ⅰに大きく関わる授業です。動作を見るための知識・技術を身につけ、動作を見る目とそれを表現する力を身につけましょう。

【この授業の基礎となる科目】 運動学, 運動学演習, 各評価学

【この授業を基礎とした科目】 生活適応学, 日常生活評価学演習

【成績評価】 筆記試験(90%)と提出物(10%)で評価する。ただし、レポート未提出者は期末試験の受験資格はないものとする。
 筆記試験で60%未満の者は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を、日常生活動作の評価に活かした科目としている。

専門分野	臨床精神医学	河野 達哉 他外来講師	後期 OT	3単位 60h
------	--------	-------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法士として必要な精神医学の基礎知識を修得する。

【目標行動(SBO)】

1. 精神科リハビリテーションについての概要を説明できる
2. 作業療法の臨床に必要な症状・障害について説明できる
3. 作業療法の臨床に必要な疾患・障害の回復過程を説明できる
4. 作業療法の臨床に必要な疾患・障害別治療・リハビリテーションと対応のポイントを説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1回2コマ

1. 精神科リハビリテーション I	1
2. 精神科リハビリテーション II	1
3. 統合失調症 急性期の臨床像(入院)	2,3,4
4. 統合失調症 回復期の臨床像(入院, 外来)	2,3,4
5. 統合失調症 維持期の臨床像(デイケア, 訪問)	2,3,4
6. 気分(感情)障害 うつ病の臨床像	2,3,4
7. 気分(感情)障害 双極性障害の臨床像	2,3,4
8. 気分(感情)障害 双極性障害の臨床像	2,3,4
9. 脳器質精神障害 てんかん, 認知症の臨床像	2,3,4
10. 脳器質精神障害 認知症の臨床像	2,3,4
11. アルコール関連精神障害の臨床像	2,3,4
12. 神経症性障害 摂食障害その他の臨床像	2,3,4
13. 成人のパーソナリティ障害の臨床像	2,3,4
14. 児童精神医学	2,3,4
15. 児童精神医学	2,3,4

【授業の形式】 講義

【教科書】 指定なし

【参考書】 上野武治編集:『標準理学療法・作業療法 精神医学』第4版, 医学書院
大熊輝雄著:『現代臨床精神医学』改定第12版, 金原出版株式会社
野村総一郎・樋口輝彦監修:『標準精神医学』第6版 医学書院

【学生の留意点など】 積極的に質問に応じます。

【この授業の基礎となる科目】 精神医学

【この授業を基礎とした科目】 基礎作業学Ⅲ 精神障害作業治療学 精神障害作業治療学演習

【成績評価】 試験70%(筆記試験), 課題30%(レポート)筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野におけるセラピストとしての実務の経験を、精神障害者の臨床像の理解という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	地域作業療法学Ⅰ	河野達哉 他	後期 OT	2単位 30h
------	----------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

今後の作業療法士または自分の活動領域について考えられるようになるために、地域における作業療法士の活動、役割を学びます。

【目標行動(SBO)】

1. 地域作業療法学に必要な知識を説明できる
2. 各領域の作業療法士の活動、役割を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション	1	講義
	2. 基本的な枠組み	1	講義
	3. 精神障害者の地域サポートの基礎知識	2	講義
	4. 発達障害者(児)の地域サポートの基礎知識	2	講義
	5. 身体障害者の地域サポートの基礎知識	2	講義
	6. 高齢期障害者の地域サポートの基礎知識	2	講義
	7. 介護老人保健施設における作業療法士の活動	2	講義(外来)
	8. 訪問リハビリテーション・デイサービスにおける作業療法士の活動① (身体/高齢期障害)	2	講義(外来)
	9. 訪問リハビリテーション・デイサービスにおける作業療法士の活動② (発達障害者・児)	2	講義(外来)
	10. 作業療法士による起業(グループホーム)	2	講義(外来)
	11. 予防的にかかわりにおける作業療法士の活動	2	講義(外来)
	12. 就労支援における作業療法士の活動	2	講義(外来)
	13. 高次脳機能障害者を地域で支える作業療法士の活動	2	講義(外来)
	14. 終末期における作業療法士の活動	2	講義(外来)
	15. 海外での作業療法士の活動	2	講義(外来)

【授業の形式】 講義

【教科書】 なし

【参考書】 大田仁史著『地域リハビリテーション原論Ver6』医歯薬出版株式会社
 太田睦美編『作業療法学全書 第13巻 地域作業療法学』協同医書出版
 小川恵子編『標準作業療法学 地域作業療法学』医学書院

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 作業療法概論, リハビリテーション概論

【この授業を基礎とした科目】 地域作業療法学Ⅱ, 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記試験なし。 毎回のまとめワークシート提出(30%), レポート2課題(各35%)。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野におけるセラピストとしての実務の経験を、地域作業療法という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	臨床実習Ⅰ		後期 OT	2単位 90h
------	-------	--	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

身体障害・生活期リハビリテーション領域の作業療法の治療過程を理解する為に対象者の検査・測定が行える。

【目標行動(SBO)】

1. 職業人として適切な態度や行動をとることができる
2. 起居・移乗・移動の介助ができる
3. 指定した検査・測定を実施できる
4. 必要な関連情報を収集できる
5. 評価・問題点抽出の過程の説明を受け、記述できる
6. 記録・報告が行える
7. セミナーで振り返り、報告ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

検査・測定を実施する

1. 対象者に対して、検査・測定(ROM, MMT, 知覚検査, 片麻痺機能検査, ADL検査)を基本的な方法で実施する

基本的な介助を経験する

2. 対象者に対して起居・移乗・移動などの基本動作の介助を経験する

検査・測定と問題点抽出(および治療計画)までの過程を理解する

3. 学生が実施した対象者(メインケース)の検査・測定結果を指導者と共に確認する
4. 検査・測定結果から、分析・統合・解釈と問題点抽出までの過程を指導者から説明を受ける
5. 学生は説明を受けたことを症例報告書にまとめる
6. 指導者は、学生が作成した症例報告書の内容の整合性や医学用語の適切な使用をチェックし、不備があれば指導する

セミナー

7. セミナーで実習の振り返り、報告ができる

【授業の形式】 実習

【教科書】 関連科目の教科書

【参考書】 実習地で紹介される文献

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 各評価学

【この授業を基礎とした科目】 身体障害・生活期リハビリテーション領域の治療学・演習, 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 指導者による成績評価「臨床実習Ⅰ 成績評価表」により評価

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を活かし、学生が実際に検査測定・評価を行える実習科目としている

専門分野	臨床運動学	小宮山一樹・坂田晋一	前期 PT	2単位 60h
------	-------	------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

動作における問題点の抽出のために、理学療法評価における動作観察・分析の位置づけを理解し健常者や患者の姿勢観察・分析、動作観察・分析ができる

【目標行動(SBO)】

1. 評価全体の中の位置づけを理解し、動作分析の目的、方法が言える。
2. 各姿勢の名称が言える。
3. 動作を相に区分することができる。
4. 姿勢・動作を観察し、運動学的知識や用語を用いて記述できる。
5. 姿勢・動作を観察し、他者へ伝えることができる。
6. 各疾患における特徴的な姿勢・動作を説明できる。
7. 動作分析の結果から機能障害を予測することができる。
8. 動作分析の結果から社会的不利を予測することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 動作観察・分析の目的と方法 動作分析に必要な知識、技術	1	講義
	2. 姿勢の名称・姿勢観察と分析①	2.4.5	講義と演習
	3. 姿勢観察と分析②	2.4.5	講義と演習
	4. 健常者の起き上がり・立ち上がり動作観察と分析	2-5	講義と演習
	5. 患者(片麻痺・THA術後)を想定した起き上がり動作観察と分析	2-6	講義と演習
	6. 患者(片麻痺・THA術後)を想定した起き上がり動作観察と分析	2-6	講義と演習
	7. 基本動作の観察と分析 まとめ	2-6	講義と演習
	8. 健常者の歩行観察と分析①	3-5	講義と演習
	9. 健常者の歩行観察と分析②	3-5	講義と演習
	10. 異常歩行観察と分析①	3-6	講義と演習
	11. 異常歩行観察と分析②	3-6	講義と演習
	12. 異常歩行観察と分析③	3-6	講義と演習
	13. 動作から機能障害、社会的不利を予測する①	7.8	講義と演習
	14. 動作から機能障害、社会的不利を予測する②	7.8	講義と演習
	15. まとめ	1-8	講義と演習

【授業の形式】 講義・演習

【教科書】 PT・OTビジュアルテキスト 姿勢・動作・歩行分析 羊土社(5000円)

【参考書】 観察による歩行分析 医学書院(5000円)
 すバイオメカニクス 医学書院(4095円)

介護にいか

【学生の留意点など】 この授業で取り扱う姿勢・動作の「観察」「分析」は理学療法評価における重要な検査技術のひとつです。漠然と授業を受講するだけでは身につけませんので、授業内は当然として授業外にも積極的に観て・考えて・書くことが上達につながります。また演習の回は、関節運動等が観察し易い服装に着替えて下さい。授業の進行度合いにより単元が入れ替わることがあります。

【この授業の基礎となる科目】 運動学 理学療法評価学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 各障害理学療法学 臨床実習

【成績評価】 課題50%、期末試験50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を姿勢や動作の観察・分析のために活かした授業としている。

専門分野	理学療法評価学演習	小宮山一樹	後期 PT	2単位 60h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

適切な治療を提供できるようになるために、理学療法評価の位置づけや流れを理解し、症例検討を通じて理学療法評価の思考過程を理解、実践できる。

【目標行動(SBO)】

1. 評価の手順を説明できる。
2. 評価の各項目(情報収集・問題点の抽出・目標設定・プログラム立案)について説明できる。
3. 得られた情報を解釈することができる。
4. 症例検討を通じて、得られた情報の統合を行い、問題点を抽出することができる。
5. 症例検討を通じて、目標設定・治療計画立案を行うことができる。
6. 他者に対して、自分の行った評価の内容を伝えることができる。(症例検討会の実施)

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 理学療法評価とは・評価の流れ	1,2	講義・演習
	2. 症例報告書の構成・情報収集とは	1,2	講義・演習
	3. 情報の種類・医療面接	2	講義・演習
	4. 機能障害を捉える(機能障害の原因分析)	3	講義・演習
	5. 活動制限を捉える(機能障害と生活場面の関連性)	3	講義・演習
	6. 検査結果の統合と解釈①(個人・環境因子を含めた生活場面への帰結)	3,4	講義・演習
	7. 検査結果の統合と解釈②(問題点リスト作成方法)	3,4	講義・演習
	8. 検査結果の統合と解釈③(文章化の方法)	3,4	講義・演習
	9. 目標設定・プログラム立案の方法	3,4	講義・演習
	10. 考察の文章化・理学療法評価のまとめ	1-6	講義・演習
	症例検討		
	11. 症例検討① 症例検討の提示	4-6	講義・演習
	12. 症例検討② グループワーク	4-6	講義・演習
	13. 症例検討③ グループワーク	4-6	講義・演習
	14. 症例検討④ 発表	4-6	講義・演習
	15. 症例検討⑤ 発表とまとめ	4-6	講義・演習

【授業の形式】 講義・演習

【教科書】 資料を配布する

【参考書】 千住秀明監修:『理学療法学テキストⅡ 理学療法評価法第3版』. 神陵文庫2011. ¥4860(税込)
 内山靖:『標準理学療法学(理学療法評価学)第2版』. 医学書院2004. ¥6264(税込)

【学生の留意点など】 検査測定結果や情報収集結果を統合し治療プログラム立案までの思考過程を学ぶ授業である。思考を言語化することを意識して受講してほしい。

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学 臨床実習Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習ⅡⅢ

【成績評価】 期末試験(60%), レポート課題(40%)
 再試験要件 期末試験(60%)と課題(40%)の合計100点のうち合計60点未満の者は再試験とする

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

専門分野	運動療法学技術論	複数講師	後期 PT	2単位 60h
------	----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

脳血管障害・スポーツ傷害・運動器障害などの多種多様な疾患・障害に対する各種の運動療法や手技(ハンドリング・徒手療法・PNF)を学ぶ

【目標行動(SBO)】

〈CVD〉

1. 脳血管障害患者に対して基本的な手技(ハンドリング)が健常者に実施できる

〈スポーツと理学療法〉

2. スポーツを取り巻く理学療法の役割を説明できる
3. スポーツを取り巻く理学療法の方法を説明できる

〈症例検討〉

4. 脳血管・運動器障害の症例検討に必要な知識を理解できる
5. 徒手療法の考え方を理解できる
6. 徒手療法の基本的手技を実施できる

〈PNF〉

7. 基本的な治療概念の説明ができるようになる
8. 基本パターンの実施ができるようになる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
〈CVD〉	〔山形〕		
1. 実技①	ハンドリング①寝返り～起き上がり	1	
2. 実技②	ハンドリング②立ち上がり～歩行	1	
3. 実技③	脳血管障害患者に対するバランスの再教育	1	
4. 実技④	上肢の評価と治療	1	
5. 実技⑤	模擬症例に対する治療実施演習	1 4	
〈スポーツと理学療法〉	〔板倉〕		
6. 総論	スポーツを取り巻く理学療法の役割	2	
7. 演習	スポーツ現場の実際や方法	2 3	
〈症例検討①脳血管障害〉	〔山形〕		
8. モデルケースステディ		4	
9. モデルケースステディ		4	
〈症例検討②運動器障害〉	〔藤本〕		
10. 症例検討の基礎となる徒手療法の考え方		4 5	
11. 徒手療法の技術		5 6	
〈PNF〉	〔松田〕		
12. 治療概念	PNFの治療概念と基本テクニック	7	
13. 実技①	基本パターン上肢, 下肢	8	
14. 実技②	基本パターン下肢, 体幹	8	
15. 実技③	基本パターン肩甲骨, 骨盤, 頸部, 特殊テクニック	8	

【授業の形式】 講義・実技

【教科書】 各单元ともなし. 資料配付

【参考書】 授業内で紹介

【学生の留意点など】 〈PNF〉 実技を主として行うのでTシャツ・スパッツ等で参加すること
 〈CVD〉 治療場面を想定した実技を行います. 動きやすい服装で参加すること

【この授業の基礎となる科目】 運動療法学概論、物理療法学、運動器・脳血管障害理学療法学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習、運動療法学特論

【成績評価】 〈CVD〉 模擬症例の治療内容に関するレポート／〈スポーツと理学療法〉 課題／〈症例検討〉①症例検討に関するレポート ②課題に対するレポート／〈PNF〉 課題 【採点は科目回数割合で計算する】

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

専門分野	脳血管障害理学療法学	山形 哲行	前期 PT	3単位 60h
------	------------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

脳血管疾患の障害を理解し、その障害における評価方法についての知識・技術を習得し、基本的な介入方法を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 脳画像を見て構造と機能が説明できる
2. 脳血管疾患における障害を説明できる
3. 脳血管疾患における評価項目を列挙し、実施・記載することができる
4. 各姿勢・正常動作における構成要素を説明し、健常者に対し動作を誘導できる
5. 脳血管障害患者に対して、理学療法評価を立案・実施できる。
6. 脳血管障害患者に対して、動作改善のための課題呈示ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 脳血管障害のリハビリテーションの考え方、脳の解剖と生理と脳画像診断	1	講義
	2. 脳血管障害の病態と障害の理解	2	講義
	3. 筋緊張と腱反射の関係、連合反応、筋緊張の評価	3	講義・演習
	4. Brunnstrom Recovery Stage による評価	3	講義・演習
	5. 嚥下障害、二次的合併症	2	講義・演習
	6. 急性期のリスク管理、予後予測、治療の考え方	2	講義
	7. 急性期のポジショニング、機能障害に対するハンドリング	2～6	講義・演習
	8. 脳血管障害患者の姿勢の評価	2～6	演習
	9. 脳血管障害患者の起居動作の評価とその誘導	2～6	演習
	10. 脳血管障害患者の立ち上がり動作の評価とその誘導	2～6	演習
	11. 脳血管障害患者の歩行動作の評価とその誘導	2～6	演習
	12. 脳血管障害の包括的評価、高次脳機能障害の評価と治療	2,3,5	講義・演習
	13. 模擬症例に対する評価演習	1～6	講義・演習
	14. 模擬症例に対する治療方法の検討①	1～6	講義・演習
	15. 模擬症例に対する治療方法の検討②	1～6	講義・演習

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 吉尾雅春, 森岡周 編集:『神経理学療法学』医学書院

【参考書】 鈴木恒彦・紀伊克昌・真鍋清則 著:『脳卒中の臨床神経リハビリテーション』市村出版
 梶浦一郎・紀伊克昌・鈴木恒彦 著:『脳卒中の治療・実践神経リハビリテーション』市村出版
 Oswald Steward 著, 伊藤博信他訳:『機能的神経科学』丸善出版
 田中繁, 高橋明 監訳:『モーターコントロール運動制御の理論から臨床実践へ』医歯薬出版
 福井國彦 著:『脳卒中最前線』医歯薬出版
 田崎義昭 他著:『ベッドサイドの神経の診かた』南山堂
 富田昌夫 訳:『Steps to Follow』シェパード・フェアラー東京

【学生の留意点など】 *実技についてはジャージ・Tシャツ・短パン等で臨むこと。
 *脳血管障害患者を想定し、動作の誘導方法を身に付けて欲しい。
 *より多くの学生と実技を行うこと。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学, 神経内科学, 理学療法評価学Ⅱ

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習, 臨床実習

【成績評価】 レポート1回(10%), 実技試験(30%), 筆記試験(60%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

専門分野	発達障害理学療法学	平井 孝明	前期 PT	3単位 60h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達障害領域の対象者に理学療法を実施するために、代表的な小児疾患について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 小児疾患の特徴について説明できる。
2. 臨床像より発達評価と問題点を指摘できる。
3. 治療の方向性を提示できる。
4. 脳性麻痺の理学療法評価と治療について説明できる
5. 重症心身障害の特徴と合併症について説明できる
6. 上記以外の代表的な小児疾患について、臨床像、理学療法評価と治療について述べる事が出来る
7. 社会資源の種類と活用方法について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション、小児理学療法 運動発達概論 オリエンテーション 発達の原則 発達指標	1, 2	講義
	2. 評価	1, 2	講義・実技
	3. 運動発達	1, 2	講義・実技
	4. 呼吸	1, 2	講義・実技
	5. 摂食嚥下	1, 2	講義・実技
	6. 整形外科疾患	1, 2	講義・実技
	7. 筋疾患	3	講義・実技
	8. 二分脊椎	3, 4	講義・実技
	9. 二分脊椎	3, 4	講義・実技
	10. 脳性麻痺・痙直型	5	講義・実技
	11. 脳性麻痺・痙直型	5	講義・実技
	12. 脳性麻痺・アテトーゼ型	5	講義・実技
	13. 脳性麻痺・アテトーゼ型	6	講義・実技
	14. 重症心身障害児	6	講義・実技
	15. まとめ	6	講義・演習

【授業の形式】 講義、質疑応答、課題発表、実技

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 毎回の授業時に紹介します。

【学生の留意点など】 質疑応答、グループ発表、実技を行います

【この授業の基礎となる科目】 運動学、人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習、

【成績評価】 ワークシート25%、課題発表25%、質疑応答25% 期末試験25%
 ワークシート: 毎回授業の最後に配布します。期限内に提出して下さい。
 課題: ①整形外科疾患
 ②筋疾患
 ③二分脊椎
 ④脳性麻痺・痙直型
 ⑤脳性麻痺・アテトーゼ型
 ⑥重症心身障害児

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

専門分野	神経障害理学療法学	複数講師	後期 PT	2単位 40h
------	-----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

神経障害を有する対象者の理学療法を実施するために、それら疾患・障害の特性を踏まえた評価と機能・能力障害に対する運動療法から環境整備に至るまでの一連の治療体系を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 各障害*の生じる病態・疫学・予後を記述できる
2. 各障害の診断法・医学的治療を説明できる
3. 各障害の特徴を列挙できる
4. 各障害に対する病期に応じたリハビリテーションを説明できる
[* 各障害: 末梢神経障害, 脊髄損傷, 神経筋疾患]

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	神経障害理学療法学総論	1 2 3	担当 佐々木亮平
2.	末梢神経損傷の病態と評価・治療	1 2 3	担当 佐々木亮平
3.	脊髄損傷の基礎	2 3 4	担当 佐々木亮平
4.	脊髄損傷完全型 アプローチの考え方／基本動作とADLの実際	2 3 4	担当 村山医療センター
5.	脊髄損傷不全型1 アプローチの考え方	2 3 4	担当 村山医療センター
6.	脊髄損傷不全型2 基本動作とADLの実際	3 4	担当 村山医療センター
7.	脊髄損傷の治療プログラムの方法とその実際	3 4	担当 村山医療センター
8.	神経筋疾患のオリエンテーション, ALSのリハビリテーション	1-4	担当 都立神経病院
9.	SCD: 脊髄小脳変性症 / MS: 多発性硬化症 / PMD: 進行性筋ジストロフィー	2 3 4	担当 都立神経病院
10.	PD: パーキンソン障害へのアプローチ	3 4	担当 都立神経病院

【授業の形式】 講義 実技

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 細田多穂:『理学療法ハンドブック』, 協同医書出版, 2010. ¥23,760.
石川 齊 編:『図解 理学療法技術ガイド』, 文光堂, 2015. ¥9,180.

【学生の留意点など】 ○実技を行なうので, 実技ができる服装で出席すること
○進行性疾患に対するQOL向上への途を探る技術や態度を学ぶ

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学, 神経内科学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習, 臨床実習

【成績評価】 筆記試験(末梢神経障害3/10, 脊髄損傷4/10, 神経筋疾患3/10)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し, その実務経験を治療知識獲得と臨床的な治療方法獲得に活かした授業としている。

専門分野	内部障害理学療法学	笠原西介・小島肇	後期 PT	3単位 60h
------	-----------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

循環器・代謝・呼吸器系を中心とするがんを含めた内部障害を有する対象者の病態・障害特性を理解し、理学療法を修得する。

【目標行動(SBO)】

健康増進の理学療法

- ヘルスプロモーションの意義を理解し、運動療法を指導できる。

循環器系疾患の理学療法

- 心臓リハビリテーションに必要な心大血管の解剖生理と運動生理学を説明できる。
- 心筋梗塞の心電図評価および病態生理を解説できる。
- 急性心筋梗塞の評価と理学療法を説明できる。
- 心肺運動負荷試験と心筋梗塞の回復期理学療法を説明できる。
- 心臓外科術後の理学療法を解説できる。
- 心不全の理学療法を説明できる。

代謝系疾患の理学療法

- 糖尿病・慢性腎臓病の各病態と治療を理解し、栄養療法を含む基本的な理学療法を実施できる。

呼吸器系疾患の理学療法

- 医療情報を理解したうえで、基本的なフィジカルアセスメントと肺機能検査、6分間歩行試験を実施できる。
- 急性呼吸不全に対する理学療法を実施できる。
- 慢性呼吸不全、慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法を実施できる。

がんのリハビリテーション

- がんの病態とリハビリテーションの概要を解説できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

【健康増進の理学療法】

- ヘルスプロモーションとその理学療法

1 教科書p220-235

【循環器系の理学療法】

- 循環器の解剖生理と運動生理学
- 心筋梗塞の心電図評価および病態生理
- 心筋梗塞の理学療法評価、急性期理学療法
- 心肺運動負荷試験、心筋梗塞の回復期理学療法
- 心臓外科術後の理学療法
- 心不全の理学療法

2
3 教科書p171-186
4 教科書p118-131
5 教科書p187-200
6
7 教科書p132-141

【代謝系】

- 糖尿病の理学療法
- 慢性腎臓病の理学療法

8 教科書p236-256
8 教科書p257-262

【呼吸器系】

- 呼吸評価①:画像の読み方、フィジカルアセスメント
- 呼吸評価②:肺機能検査、6分間歩行試験
- 急性呼吸不全:排痰法、インセンティブスパイロメトリ、人工呼吸管理
- 慢性呼吸不全:呼吸練習、ADL練習
- 慢性閉塞性肺疾患:口すぼめ呼吸、運動療法

9,10 教科書p18-41
9,10 教科書p18-41
11 教科書p64-68, 72-91
11 教科書p42-63
11 教科書p42-63

【がんのリハビリテーション】

- がんの病態とリハビリテーション

12 教科書p268-290

【授業の形式】 講義・演習

【教科書】 高橋哲也編:『ビジュアルレクチャー 内部障害理学療法学 第2版』. 医歯薬出版 2017. ¥5,184

【参考書】 心臓リハビリテーション必携-指導士認定試験準拠-. 日本心臓リハビリテーション学会 2011. ¥6,480
千住他監修:『呼吸理学療法標準手技』. 医学書院 2008. ¥3,456
『呼吸リハビリテーションマニュアル-運動療法- 第2版』. 照林社 2012. ¥3,996
清野他監修:『糖尿病の理学療法』. メディカルレビュー 2015. ¥5,616

【学生の留意点など】 臨床医学の中核をなす内部障害系疾患を理解することは、他のリハビリテーション適応疾患や障害に対する理学療法を発展させる基礎になります。重要な項目を授業の中で取り上げ、他の項目については教科書を用いて主体的に学習することが求められます。必ず予習して参加して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学・生理学・運動学・病理学概論・臨床医学・理学療法評価学・リハビリテーション医学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習Ⅱ

【成績評価】 評価割合は、循環器系40%(筆記), 呼吸器系・代謝系・がん60%です。そのうち呼吸器系・代謝系・がんは、期末試験40%(筆記20%・実技20%), 課題レポート(症例検討)20%です。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

専門分野	物理療法学	沼尾 拓	前期 PT	3単位 60h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

症例に適切な物理療法の立案と実施手順を行うために物理療法の基本操作を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 物理療法の生理的作用と適応を説明できる
2. 物理療法の禁忌と注意事項を説明できる
3. 基本的な操作を理解し実施できる
4. 適切なプログラムを実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	物理療法概論	物理療法の概要	
2.	物理療法概論	物理療法の概要	
3.	温熱療法	ホットパック, パラフィン等実施 適応および禁忌	
4.	寒冷療法	アイスパック等実施 適応および禁忌	
5.	機械刺激	CPM療法・牽引療法実施 適応および禁忌	
6.	機械刺激	マッサージ・モビライゼーション実施 適応および禁忌	
7.	電気刺激療法	低周波電気刺激療法・MT刺激実施 適応および禁忌	
8.	電気刺激療法	低周波電気刺激療法実施 適応および禁忌	
9.	超音波療法	超音波療法実施 適応および禁忌	
10.	高周波・光線療法	高周波・光線療法 適応および禁忌	
11.	水治療法	部分浴, 全身浴実施 適応および禁忌	
12.	プログラム立案1	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する	
13.	プログラム立案2	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する	
14.	症例検討	モデルケーススタディ	
15.	症例検討	ケーススタディのプレゼンテーション	

【授業の形式】 講義 実技 演習があります

【教科書】 細田多穂監修:『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト:改訂第2版』:南江堂:¥4500

【参考書】 Michelle H. Cameron編著, 渡部一郎 訳:『EBM物理療法 原著第3版』:医歯薬出版:¥8600
 柳澤健編集『ゴールド・マスターテキスト3物理療法学』:MEDICALVIEW:¥3888
 大塚彰監修『学生のための物理療法学』:大学教育出版:¥1980
 木村貞治編集『物理療法臨床判断ガイドブック』:文光堂:¥7000

【学生の留意点など】 動きやすい服装で参加して下さい。理論だけではなく機器を実際に使用し、その実際に体験して下さい。またプログラムとして選択できるように、どのような対象者に対して使用するかを考えるように努めましょう。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学, 生理学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習, 臨床実習

【成績評価】 筆記試験(60%)と実技試験(40%)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

専門分野	日常生活活動論演習	森田・藤川	後期 PT	2単位 30h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法士として日常生活動作獲得へ導けるようになるために、日常生活活動に対する個別性・多様性の認識を持ち、実技・体験から理学療法プランを臨機応変に考える必要性を理解する

【目標行動(SBO)】

1. 疾患に応じたADLの特徴、動作方法、リスクを述べることができる
2. 疾患に応じたADLの特徴、動作方法、リスクを踏まえた対策・動作方法を述べることができる
3. 疾患に応じたADLの特徴、動作方法、リスクを踏まえた対策・動作方法の指導・介助を経験する

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	疾患別各論【関節リウマチのADL】① 関節保護の原則	1	
2.	疾患別各論【関節リウマチのADL】② 自助具について(自助具作成)	1 2 3	
3.	疾患別各論【関節リウマチのADL】③ スプリントについて	1 2 3	
4.	疾患別各論【大腿骨頸部骨折(THA)のADL】 ADL指導の考え方	1 2 3	
5.	疾患別各論【片麻痺障害のADL】① ADL指導の考え方	1 2 3	
6.	疾患別各論【片麻痺障害のADL】② 移動動作方法指導	1 2 3	
7.	疾患別各論【片麻痺障害のADL】③ 生活支援の考え方	1 2 3	
8.	疾患別各論【高齢者のADL】 高齢者の特徴 加齢変化と生活	1 2	

【授業の形式】 講義 実技

【教科書】 なし

【参考書】 奈良勲監修:標準理学療法学専門分野『日常生活活動学・生活環境学第4版』医学書院 2012(5832円)
伊藤利之著:ADLとその周辺 第3版 医学書院2015(6480円)

【学生の留意点など】 医療福祉の現場で働くための第一歩であることを常に意識してください
実技は経験する量が大事ですから繰り返して練習してください

【この授業の基礎となる科目】 日常生活活動論

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習

【成績評価】 筆記試験50% 実技試験50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を疾患ごとの日常生活を基に臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

専門分野	義肢装具学	小林・森田	前期 PT	2単位 60h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 対象者の障害に応じた義肢装具の活用方法を知るために、構造や適合、ならびに義肢装具使用による理学療法を理解する
2. 臨床で義肢装具を活用するために、組立てや調整の技術を習得する

【目標行動(SBO)】

1. 義肢装具使用に至る経緯が説明できる
2. 各義肢装具の機能および適応が説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	義肢装具学総論	1.2	全回講義・演習
2.	切断者の評価	2.4	
3.	大腿義足①	1.3	
4.	大腿義足②	2.3	
5.	大腿義足のギプスソケットの作成	2.4	
6.	足部と下腿義足	1.3	
7.	股・膝・足部義足, 障害者スポーツ	1.3	
8.	義肢装具の給付・処方・臨床での理学療法の流れ	3.4	
9.	下肢装具 総論	1.2	
10.	短下肢装具	1.3	
11.	長下肢装具	1.3	
12.	膝装具・股装具	1.3	
13.	下肢装具チェックアウト	3.4	
14.	靴型装具・体幹装具	2.4	
15.	上肢装具	1.3	

【授業の形式】 実技(講義と演習があります。服装についてはその都度指示します)

【教科書】『義肢装具学テキスト』 南江堂 2013年 4,800円

【参考書】『義肢装具のチェックポイント第8版』 日本整形外科学会 医学書院 2014年 8,200円

【学生の留意点など】 疾患や障害に対する理解が必要。知識としての理解とともに、理学療法士の技術として修得するよう心掛け理解を深める。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学 理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習 義肢装具学演習

【成績評価】 筆記試験 50% 小テスト 25% 課題レポート 25%

【実務経験のある教員による科目】 当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業としている

専門分野	義肢装具学演習	小林・森田	後期 PT	1単位 30h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 義肢装具使用による理学療法を知るために、模擬体験を通し理解を深める
2. 義肢装具の材料や機能を理解するために、模擬的な制作過程を実施する

【目標行動(SBO)】

1. 義肢装具使用時における諸問題を説明できる
2. 各義肢装具の選択・チェックアウトができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 義足歩行① 下腿義足・大腿義足歩行の特徴	1.2	全回講義・演習
	2. 義足歩行② 異常歩行	1.3	
	3. 義手 義手の構造・機能・ADL	1.3	
	4. 装具 疾患別①	1.3	
	5. 装具 疾患別②	1.3	
	6. 装具採型法実技	1	
	7. 義肢装具士の役割・現状その他	4	
	8. 最新の義肢装具の紹介・その他	4	

【授業の形式】 実技(講義と演習があります)

【教科書】『義肢装具学テキスト』 南江堂 2013年 4,800円

【参考書】『義肢装具のチェックポイント第8版』 日本整形外科学会 医学書院 2014年 8,200円

【学生の留意点など】 理学療法における治療法の1つとして装具を用いることができるように知識だけでなく、装着しながら慣れる
同様に、義肢装着者に対する理学療法全般を経験とともに知識や技術を定着するよう取り組む

【この授業の基礎となる科目】 義肢装具学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習

【成績評価】 実技試験 50% 課題提出 50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業
としている

専門分野	生活環境論	坂田 晋一	後期 PT	2単位 30h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

高齢者や障害者の住環境整備に役立てるために、人が暮らしやすい生活環境・住環境・福祉用具等に関する基本的事項について理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 高齢者や障がい者の住環境の問題点やその対策について説明することができる。
2. 住宅改修の方法や福祉用具の種類、選び方、使用法などについて説明することができる。
3. 自宅内、市街地、交通機関等の生活環境におけるバリア、バリアフリーについて説明することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション、高齢者の特徴、統計資料から	1,2	講義
	2. 高齢者の住環境(導入)	1,2	講義
	3. 日本住宅の特徴、住宅の基本的考え方(手すり、段差など)①	1,2	講義
	4. 日本住宅の特徴、住宅の基本的考え方(手すり、段差など)②	1,2	講義
	5. 脳卒中の病態と住環境整備事例、福祉用具①	1,2	講義
	6. 脳卒中の病態と住環境整備事例、福祉用具②	1,2	講義
	7. 準備&学生発表1(自宅内のバリア・バリアフリー)①	3	発表
	8. 準備&学生発表1(自宅内のバリア・バリアフリー)②	3	発表
	9. GW&学生発表2(市街地・交通機関のバリア・バリアフリー)①	3	発表
	10. GW&学生発表2(市街地・交通機関のバリア・バリアフリー)②	3	発表

【授業の形式】 講義、グループワーク、発表

【教科書】 なし。配付資料。

【参考書】 木村哲彦 監修:生活環境論－生活支援の視点と方法－ 第6版、医歯薬出版、¥6800

【学生の留意点など】 生活環境について、住宅内の環境にとどまらず、自宅周辺、地域、社会環境まで広く目を向け、その上で高齢者や障がい者の住みやすい生活環境について考察してほしい。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論、理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 地域理学療法論、臨床実習

【成績評価】 提出課題(40%)、発表会(発表1:40%、発表2:20%)

【実務経験のある教員による科目】 本科目は、坂田(理学療法士)が担当し、その実務経験を授業内容の講義、グループワークなどにいかした授業としている。

専門分野	臨床実習 I		前期 PT	1単位 45h
------	--------	--	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

指導者の指導のもとに、それまで学内で習得した検査・測定を臨床の実践の中で実施し、得られた結果に原因分析と解釈を行う。理学療法士および専門職業人としての適切な態度や行動を学習する。

【目標行動(SBO)】

1. 肢長・周径測定, ROMテスト, 徒手筋力テスト, 神経学的テストなどの検査測定が実施できる。
2. 検査結果の原因分析が言える。
3. 起居, 移乗・移動動作などの介助が行える。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 肢長・周径測定, ROMテスト, 徒手筋力テスト, 神経学的テストなどの検査測定の実施と記録を数多く実施させる。
2. 実施した検査測定項目ごとに, 正常から逸脱した結果を抽出させ, 知識の範囲内で原因分析をさせる。
3. 各検査間の関連性を考察させる。
4. 標準的な方法で起居動作介助や移乗・移動動作などの介助を数多く実習させる。

【授業の形式】 実習

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学Ⅰ, 理学療法評価学Ⅱ, 理学療法評価学演習

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅱ

【成績評価】 指導報告書・提出課題・実習後セミナー

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	臨床実習Ⅱ		後期 PT	2単位 90h
------	-------	--	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

指導者の指導のもとに、標準的な症例の理学療法評価を学ぶ。すなわち、医療面接、観察、検査・測定の結果や収集した種々の情報の統合と解釈、問題点の抽出から目標設定の各々の方法を学ぶ。また、理学療法士および専門職業人としての適切な態度や行動を学習する。

【目標行動(SBO)】

1. 医療面接、観察、神経学的テスト、Brunnstrom Recovery Stage, ADLテスト、バランス反応テストなどの検査測定が実施できる。
2. 担当症例について問題点の抽出、目標設定ができる。
3. 担当症例について治療プログラムを基本的な範囲で挙げることができる。
4. 起居、移乗・移動動作などの指導や介助ができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 症例1～2例を受け持たせ、検査測定の実施、分析及び解釈をさせる。
2. 片麻痺を中心とした中枢神経疾患に対し、感覚・反射・筋緊張テストなどを中心とした神経学的テスト、Brunnstrom Recovery Stage, ADLテスト、バランス反応テストなどの検査測定の実施と記録を数多く実習させる。
3. 問題点を「心身機能・身体構造」、「活動」のレベルを中心に抽出させ疾患と症例の把握、統合と解釈、目標設定を行わせる。
4. 検査測定の結果と抽出した問題点、設定した目標との一貫性を考えさせる。学生の能力に応じて、また時間の許す範囲で方法・度量・頻度などをふまえた治療プログラム立案を経験させる。
5. 起居動作介助や移乗・移動動作などの介助を数多く実習させる。

【授業の形式】 実習

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 各理学療法評価学・理学療法評価学演習・臨床実習Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 指導報告書・提出課題・実習後セミナー

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

基礎分野	統計学	波多野 将明	後期 OT	2単位 30h
------	-----	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

論文など文献内の統計データが理解できるようになるために、統計学の基礎知識を学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法における統計学の必要性について説明できる
2. 作業療法研究における統計学の概要について説明できる
3. 統計学の基本的な用語を列挙し、意味を説明できる
4. データの傾向を観察し、基本的な解析を実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 統計で使う数学について学ぶ	1	講義と実習
	2. 表計算ソフト(excel)の基本操作	4	講義と実習
	3. 統計データの分類とデータの特徴量について学ぶ	2,3	講義と実習
	4. ヒストグラムと分布曲線について学ぶ	2,3	講義と実習
	5. 散布図と相関, 類似度, ユークリッド距離について学ぶ	2,3	講義と実習
	6. 質的データの関連性と独立性について学ぶ	2,3	講義と実習
	7. 回帰分析について学ぶ	2,3	講義と実習
	8. 確率, 確率分布と正規分布について学ぶ	2,3	講義と実習
	9. 正規分布とパーセント点について学ぶ	2,3	講義と実習
	10. 標本分布と確率について学ぶ	2,3	講義と実習
	11. 標準正規分布と χ^2 二乗分布について学ぶ	2,3	講義と実習
	12. t分布とF分布について学ぶ	2,3	講義と実習
	13. 推定について学ぶ	2,3	講義と実習
	14. 検定について学ぶ	2,3	講義と実習
	15. ケーススタディ	1-4	講義と実習

【授業の形式】 講義(表計算ソフトを用いた実習があります)

【教科書】『初歩からしっかり学ぶ 実習統計学入門』(涌井良幸 涌井貞美 著) 技術評論社

【参考書】なし

【学生の留意点など】 特に表計算ソフトをはじめて使用する学生は、積極的に使用して、早期に基本的な操作ができるようになるよう留意すること

【この授業の基礎となる科目】 作業療法研究法 I

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 レポート80%, 授業内課題 20%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における実務の経験を、統計学の基礎と応用という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	基礎作業学Ⅳ	兵頭・竹内	前期 OT	1単位 15h
------	--------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達領域・高齢期領域の作業療法において、適切に作業活動を使用できるようになるために、各領域に特徴的な作業活動の基本的知識を知る。

【目標行動(SBO)】

1. 高齢者が体験してきた作業について調べる
2. 高齢期領域で利用される作業活動について特徴を説明できる
3. 子どもの遊びについて、年齢による遊びの違いと特徴、時代による変化と発達への影響について述べるができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	作業の構造と要素① 高齢期領域①(高齢者の生きてきた時代－準備)	1.2	講義・演習 (竹内)
2.	作業の構造と要素② 高齢期領域②(高齢者の生きてきた時代－発表)	1.2	演習 (竹内)
3.	作業の構造と要素③ 高齢期領域③(高齢者施設で利用されている作業－準備)	1.2	講義・演習 (竹内)
4.	作業の構造と要素④ 高齢期領域④(高齢者施設で利用されている作業－発表)	1.2	演習 (竹内)
5.	作業の構造と要素⑤ 発達障害領域①(遊びとは) 年齢別遊びの変化と特徴－発表準備	3	講義・演習 (兵頭)
6.	⑥ ②(年齢別の遊びの変化と特徴－発表)	3	演習 (兵頭)
7.	⑦ ③(時代による遊びの変化と発達への影響－発表準備)	3	講義・演習 (兵頭)
8.	⑧ ④(時代による遊びの変化と発達への影響－発表)	3	演習 (兵頭)

【授業の形式】 講義(グループディスカッション、発表があります)・演習

【教科書】 特に指定しません。

【参考書】 授業中に紹介します。

【学生の留意点など】 調べ物、発表、課題作成など、自らが取り組むことによって、より多くの事柄を感じ取れる授業内容になっています。学生には積極的な授業参加を求めます。

【この授業の基礎となる科目】 基礎作業学総論、基礎作業学

【この授業を基礎とした科目】 各治療学

【成績評価】 筆記試験は実施しません。高齢期領域はレポート課題(50%)、発達障害領域はレポート課題(45%)、制作物(5%)で評価します。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

専門分野	基礎作業学Ⅴ	照井 林陽	前期 OT	1単位 15h
------	--------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業活動を作業療法的手段として活用できるようになるため、各種作業活動について基本的知識、技術を知り、作業分析を行う。

【目標行動(SBO)】

1. 各種作業活動を全工程実施できる
2. 各種作業活動のいずれかにおいて、作業分析を実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 作業体験① 芸術系活動	1,2	
	2. 作業体験② 園芸系活動	1,2	
	3. 作業体験③ 運動系活動	1,2	
	4. 作業体験④ ペーパークラフト	1,2	
	5. 作業体験⑤ ペーパークイリング	1,2	
	6. 作業体験⑥	1,2	
	7. 作業体験⑦	1,2	

【授業の形式】 講義, 演習

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 山根寛:『ひとと作業・作業活動 新版』三輪書店. 2017. ￥4320
 日本作業療法士協会:『作業—その治療と応用—』協同医書出版社. 2008. ￥3500
 小林夏子:『標準作業療法学 基礎作業学 第3版』医学書院. 2017. ￥4320
 古川宏:『つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル』医歯薬出版株式会社. 2012. ￥4000

【学生の留意点など】 本授業は、各種作業活動を経験し、これまでの各科目内容と経験を統合し、評価や治療において選択する作業活動手段を増やす機会としている。
 各作業体験への積極的な取り組みを望む。実際に作業活動を行うため、動きやすく汚れてもいい服装を用意すること。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法概論, 基礎作業学総論, 各基礎作業学, 各評価学

【この授業を基礎とした科目】 各治療学

【成績評価】 提出課題60%(規定遵守40%, 期限提出20%), 作品課題40%(規定遵守20%, 期限提出20%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し、その実務経験を授業内容の演習に活かした授業としている。

専門分野	日常生活評価学演習	福井 健太郎	前期 OT	2単位 30h
------	-----------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

学生は対象者に福祉機器や衣服・衛生用品の適応と評価ができるようになるために、知識技術を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法で用いられる福祉機器・衣服・衛生用品の特徴を述べられる
2. 対象者の症状に合わせて福祉機器や衣服・衛生用品を評価できる
3. 対象者の症状に合わせて福祉機器や衣服・衛生用品を適用できる
4. 対象者の自助具を作成できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	総論	1	福井
2.	自助具の分類とその適用の評価	1-3	福井
3.	福祉機器・リフトについて(アビリティーズ)	1-3	矢部
4.	自助具の作成	4	福井
5.	自助具の実際	1-3	福井
6.	衣服・衛生用具①	1-3	河野崇
7.	衣服・衛生用具②	1-3	河野崇
8.	MASとPSBの目的・適用・評価	1-3	河野崇
9.	座位評価と車椅子①(岩谷先生)	1-3	岩谷
10.	座位評価と車椅子②(岩谷先生)	1-3	岩谷
11.	座位評価と車椅子③(岩谷先生)	1-3	岩谷
12.	座位評価と車椅子④小児 (岩崎先生)	1-3	岩崎
13.	ADLの評価と自助具の検討・実技①	1-4	福井
14.	ADLの評価と自助具の検討・実技②	1-4	福井
15.	復習	1-4	福井

【授業の形式】 演習(講義があります)

【教科書】 木之瀬隆 編:『作業療法学全書 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備』, 協同医書, 2011, ¥3000+税
 税岩崎テル子 他編:『標準作業療法学専門分野 作業療法評価学第3版』, 医学書院, 2017, ¥5800+税
 酒井ひとみ編:『作業療法学全書 作業療法技術学3 日常生活活動 第3版』, 協同医書, 2011, ¥3600+税

【参考書】

【学生の留意点など】 福祉機器を様々使いその使用方法・適用や評価を学びます。対象者に自分で使用方法の指導やその適用の評価ができるようになることを目的としているので、積極的に道具の使用法を考案・検討してください。ワークシートの提出により学習の定着を図りたいと考えています。

【この授業の基礎となる科目】 日常生活評価学

【この授業を基礎とした科目】 各治療学

【成績評価】 筆記試験(100%)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士、福祉機器業者としての実務経験を活かし、日常生活動作と福祉機器を評価を経験できるような演習科目としている

専門分野	職業関連活動評価学	中村 伴子	前期 OT	2単位 30h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 学生は、職業関連活動の作業療法評価と支援を実施できるようになるための知識を習得する。
2. 学生は代表的な疾患を有する対象者に職業関連活動に関する評価を実施できるようになるための知識を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法における職業前関連活動の位置づけを説明できる
2. 職業リハビリテーションの評価と方法について説明できる
3. 就労に関係した評価法の種類と特徴を説明できる
4. 上記主な評価法の手順を説明できる
5. 就労に関係した主な検査を学生間で実施できる
6. 就労支援の一連の流れを説明できる
7. 代表的な対象疾患に対する就労支援の概略を説明できる
8. 各領域の職業関連活動作業療法の特徴を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 職業関連活動評価と支援 4/8	1~3	
	2. 職業関連活動評価方法① 4/15	1~3	
	3. 職業関連活動評価方法② 4/22	1~3	
	4. 就労と高次神経障害の評価と支援① 5/6	7	
	5. 就労と高次神経障害の評価と支援② 5/13	7	
	6. 就労と高次神経障害の評価と支援③ 5/20	7	
	7. 就労と高次神経障害の評価と支援④ 5/27	7	
	8. 臨床実践例の紹介 6/3	6	
	9. 地域における職業関連活動評価と実践 6/10	8	
	10. 身体障害領域の職業関連活動評価と実践 6/17	8	
	11. 精神障害領域の職業関連活動評価と実践 6/24	8	
	12. 発達障害領域の職業関連活動評価と実践 7/1	8	
	13. 高次脳機能障害の評価と実践 7/8	8	
	14. 事例検討 7/15	8	
	15. 職業関連活動評価まとめ 7/22	1~8	

【授業の形式】 演習および講義

【教科書】 平賀昭信 編:『作業療法学全書 第12巻 作業療法技術学4(第3版)』, 協同医書, 2016, ¥3240

【参考書】 橋本圭司:『生活を支える高次脳機能のリハビリテーション』, 三輪書店, 2008, ¥1890, 橋本圭司:『高次脳を鍛える』, 全日本病院出版会, 2008, ¥2800, 『高次脳機能障害マエストロシリーズ リハビリテーション評価』, 医歯薬出版, 2006, ¥2600+税, 『高次脳機能障害マエストロシリーズ リハビリテーション介入』, 医歯薬出版, 2006, ¥2600+税, 松井亮輔, 岩田克彦:『障害者の福祉的就労の現状と展望』, 中央法規, 2011, ¥3000+税

【学生の留意点など】 対象者の状況に合わせた職業復帰を支援できるようにするため、職業関連活動の評価と実際に学びます。評価を実際にできるよう、積極的にテスト・バッテリーの実施方法を演習し身につけてください。各領域で職業復帰の支援をしている作業療法士の評価・実践を講義してもらいます。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法評価学, 基礎作業学

【この授業を基礎とした科目】 身体障害作業治療学, 精神障害作業治療学, 発達障害作業治療学

【成績評価】 筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。試験に合格した場合、期末試験:筆記試験(80%)課題:ワークシート4回(20%):ワークシート:①主な授業のまとめ、②治療計画立案の演習まとめ、で総合的に評価する。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、障害者の職業関連活動の評価と支援及び就労の観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	身体障害作業治療学	山口 昇	通年 OT	3単位 90h
------	-----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

身体障害の作業療法を実施できるようになるために知識・技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法評価計画・治療計画の流れを理解できる。
2. 作業療法で対応する対象者に対して、作業療法評価を立案・実施できる。
3. 作業療法で対応する対象者に対して、作業療法治療計画を立案できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

【前期】(週2回2コマ)

- | | | |
|--|-----|----------|
| 1. 情報収集から評価から治療計画立案までの考え方① | 1 | 講義 |
| 2. ICFの表の説明と作成 | 1-3 | 講義 |
| 3. 情報収集から評価から治療計画立案まで② | 1 | 講義 |
| 4. 症例検討①(グループワーク) | 1-3 | GW |
| 5. 症例検討②(学生発表) | 1,2 | 講義 |
| 6. 脳血管疾患の基礎①(脳機能・疾患・障害) | 1-3 | 講義 |
| 7. 脳血管疾患の基礎②(回復の神経生理・予後) | 1-3 | 講義 |
| 8. 脳血管疾患に対する作業療法 ①(回復の神経生理・予後) | 1-3 | 講義 |
| 9. " ②(急性期) | 1-3 | 講義 |
| 10. " ③(回復期) | 1-3 | 講義 |
| 11. " ④(維持期) | 1-3 | 講義 |
| 12. " ⑤(促通手技, ADL訓練) | 1-3 | 講義 |
| 13. 問題点抽出から治療計画まで③ | 1-3 | 講義 |
| 14. 症例検討③(治療計画立案) | 1-3 | GW |
| 15. 症例検討④(学生発表) | 1-3 | 学生発表, 解説 |
| 16. 頭部外傷に対するOT | 1-3 | 講義 |
| 17. 脊髄損傷に対するOT① | 1-3 | 講義 |
| 18. " ② | 1-3 | 講義 |
| 19. " ③ | 1-3 | 講義 |
| 20. 関節リウマチに対するOT① | 1-3 | 講義 |
| 21. " ② | 1-3 | 講義 |
| 22. 骨折に対するOT | 1-3 | 講義 |
| 23. 筋力増強訓練の基礎 | 1-3 | 講義 |
| 24. 物理療法の基礎 | 1-3 | 講義 |
| 25. 神経筋疾患に対するOT①(資料作成) | 1-3 | GW |
| 26. " ②(資料作成) | 1-3 | GW |
| 27. " ③(資料作成) | 1-3 | GW |
| 28. " ④(資料作成) | 1-3 | GW |
| 29. " ⑤(学生発表) | 1-3 | 学生発表, 補足 |
| 30. " ⑥(まとめ, 補足) | 1-3 | 講義 |
| 31. 協調運動障害に対するOT | 1-3 | 講義 |
| 32. 内部障害に対するOT① | 1-3 | 講義 |
| 33. " ② | 1-3 | 講義 |
| 34. 廃用症候群への対応 | 1-3 | 講義 |
| 35. ハンドセラピー① | 1-3 | 講義 |
| 36. " ② | 1-3 | 講義 |
| 37. " ③ | 1-3 | 講義 |
| 38. " ④ | 1-3 | 講義 |
| 39. " ⑤ | 1-3 | 講義 |
| 40. " ⑥ | 1-3 | 講義 |

2019年度 夜間部 3学年

41. 運動学習理論・感染症対策	1-3	講義
42. リスク管理	1-3	講義
43. 事例のまとめ方	1-3	講義
44. 事例提示とまとめ①	1-3	講義
45. 事例提示とまとめ②	1-3	講義

【授業の形式】 講義が主体であるが、演習および実技を交えながら進める。

【教科書】 山口昇:『身体機能作業療法学(第3版)』, 医学書院, 2016, ¥5000
その他適宜, 資料を配付する。

【参考書】 菅原洋子, 他:『身体障害の作業療法』(作業療法学全書4), 協同医書, 2008, ¥3990
石川齋, 他:『作業療法技術ガイド(第3版)』, 文光堂, 2011, ¥8925
その他, 授業中に紹介

【学生の留意点など】 この授業では身体障害の作業療法を実施するために必要な知識・技術を学習する。まず、評価から治療計画までの基本的な考え方、未知の疾患に出会った時の対処方法を学習する。そして、身体障害作業療法の中心的疾患である脳血管疾患について評価から治療技術までを応用学習し、次いで各種疾患の作業療法について学習する。学習は、講義、演習、実技、課題レポート、紙面症例を通して進める。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法評価学Ⅰ, 作業療法評価学演習, 臨床実習Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 前後期の筆記試験2回で総合的に評価する。各々の筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。
授業回数に応じて、前期:後期=2:1の割合で総合成績とする。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を活かし、身体障害分野の作業療法の治療を学ぶ科目としている

専門分野	身体障害作業治療学演習	福井 健太郎	前期 OT	2単位 30h
------	-------------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

身体障害の作業療法を実施できるようになるために、基礎的問診・診察技術・治療手技を習得する

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法の治療および治療手技を理解し、実施できる
2. 対象者の訴えを引き出すことができる
3. 良肢位をポジショニングできる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 治療の考え方	1	講義 資料配布
	2. フィジカルアセスメント	1.2	
	3. 良肢位をポジショニングする	3	
	4. 呼吸器	1.2	
	5. 循環器(心電図)	1.2	
	6. 関節可動域訓練	1	
	7. 関節可動域訓練から上肢機能へ	1	
	8. OT場面における体幹下肢について	1	
	9. 上肢機能の治療①	1	
	10. 上肢機能の治療②(activity)	1	
	11. 高次脳機能障害の治療①	1	
	12. 高次脳機能障害の治療②	1	
	13. 嚥下障害の異常を察知し、対処する①	1	
	14. 嚥下障害の異常を察知し、対処する②	1	
	15. 実技のまとめ	1	

【授業の形式】 演習(実技, 講義があります)

【教科書】 なし 配布資料

【参考書】 山本伸一, 編集『中枢神経系疾患に対する作業療法』, 三輪書店, 2009年, ¥3600+税
 岩崎テル子, 他編『作業療法評価学(第2版)』, 医学書院, 2011, ¥6090
 岩崎テル子, 他編『身体機能作業療法学(第2版)』, 医学書院, 2011, ¥4935
 山内豊明『フィジカルアセスメントガイドブック』, 医学書院, 2011, ¥2520
 森田孝子『系統別フィジカルアセスメント』, 医学評論社, 2006, ¥2940
 葛川元『実践! 早期離床完全マニュアル』, 慧分社, 2007, ¥3990

【学生の留意点など】 身体障害者に対する作業療法を実施する上で、また地域リハを実施する上で基礎となる知識・技術・実技を学びます。積極的に参加すること。また、実技可能な服装を準備しておくこと。

【この授業の基礎となる科目】 身体障害作業治療学

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記試験(70%)と実技試験(30%)で総合的に評価する。
 筆記試験・実技試験それぞれ60%に満たない者は再試験を行う。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を活かし、身体障害分野の治療を実際に経験できるような演習科目としている

専門分野	精神障害作業治療学	河野達哉・照井林陽 他	通年 OT	3単位 90h
------	-----------	-------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

精神障害の作業療法を実施できるようになるために知識・技術を習得する

【目標行動(SBO)】

1. 精神障害領域の作業療法評価計画・治療計画の流れを説明できる。
2. 精神障害領域の作業療法で対応する対象者に対して、作業療法評価を計画し説明できる。
3. 精神障害領域の作業療法で対応する対象者に対して、作業療法治療計画を立案し説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
前期	月曜日 15コマ		
	1. 認知症の作業療法とは①	1	講義
	2. 認知症の作業療法とは②	1	講義
	3. 認知症の作業療法 評価から治療計画の考え方①	1	講義
	4. 認知症の作業療法 評価から治療計画の考え方②	2,3	講義
	5. 認知症高齢者への予防的作業療法	2,3	講義
	6. 重度認知症高齢者への作業療法	2,3	講義
	7. 若年性認知症者への作業療法	2,3	講義
	8. 症例検討① 認知症	2,3	講義
	9. 症例検討② 認知症	2,3	講義
	10. 症例検討③ 認知症	2,3	講義
	11. 症例検討④ 認知症	1,2,3	講義
	12. 症例検討① 統合失調症	1,2,3	講義 照井
	13. 症例検討② 統合失調症	1,2,3	講義 照井
	14. 症例検討③ 統合失調症	1,2,3	講義 照井
	15. 症例検討④ 統合失調症	1,2,3	講義 照井
前期	木曜日 15コマ		
	16. 精神障害者の作業療法とは	1,2,3	講義 河野
	17. 作業療法の実践の流れ 基本的視点	1,2,3	講義 河野
	18. 評価から治療計画の考え方①	1,2,3	講義 河野
	19. 評価から治療計画の考え方②	1,2,3	講義 河野
	20. 疾患別の作業療法 統合失調症①	1,2,3	講義 照井
	21. 疾患別の作業療法 統合失調症②	1,2,3	講義 照井
	22. 疾患別の作業療法 統合失調症③	1	講義 照井
	23. 疾患別の作業療法 統合失調症④	1	講義 照井
	24. 疾患別の作業療法 統合失調症⑤	1	講義 照井
	25. 疾患別の作業療法 統合失調症⑥		講義 照井
	26. 臨床実習Ⅱ オリエンテーション		講義 河野 照井
	27. 疾患別の作業療法 抑うつ障害群①	1,2,3	講義 照井
	28. 疾患別の作業療法 抑うつ障害群②	3	講義 照井
	29. 疾患別の作業療法 抑うつ障害群③	3	講義 照井
	30. 疾患別の作業療法 抑うつ障害群④	3	講義 照井
後期			
	31. 臨床実習Ⅱ のまとめ	1	講義 河野 照井
	32. 疾患別の作業療法 双極性障害①	23	講義 照井
	33. 疾患別の作業療法 双極性障害②	23	講義 照井
	34. 疾患別の作業療法 パーソナリティ障害群①	23	講義 照井
	35. 疾患別の作業療法 パーソナリティ障害群②	23	講義 照井
	36. 疾患別の作業療法 強迫性障害群①	23	講義 照井
	37. 疾患別の作業療法 強迫性障害群②	23	講義 照井
	38. 疾患別の作業療法 摂食障害①	23	講義 照井
	39. 疾患別の作業療法 摂食障害②	23	講義 照井

2019年度 夜間部 3学年

40. 疾患別の作業療法 アルコール依存症①	23	講義	河野
41. 疾患別の作業療法 アルコール依存症②	23	講義	河野
42. 症例検討と治療理論 モデルの活用①	3	講義	河野
43. 症例検討と治療理論 モデルの活用②	3	講義	河野
44. 症例検討と治療理論 モデルの活用③	3	講義	河野
45. 症例検討と治療理論 モデルの活用④	3	講義	河野

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 富岡詔子他編集:『精神障害 作業療法学全書 第5巻』協同医書出版社, 2010年改訂第3版 ¥4104.
守口恭子著:『高齢期における認知症のある人への作業療法』三輪書店 ¥3000+税. その他適宜, 資料を配付する.

【参考書】 以下に指定するものの他, 参考書・文献等は随時紹介する.
香山明美・小林正義他編集『精神障害作業療法—急性期から地域実践まで—』医歯薬出版2014年改定第2版
山根寛著:『精神障害と作業療法』三輪書店 2010年第3版

【学生の留意点など】 各自が問題意識を持ちながら受講されることを希望します.

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学, 作業療法概論, 基礎作業学, 精神医学, 臨床精神医学

【この授業を基礎とした科目】 精神障害作業治療学演習, 臨床作業療法, 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記試験(前期末, 後期末)100%. 各々の筆記試験で6割に満たない者は再試験とする.

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、精神障害の作業療法実施という観点から授業内容に生かした科目としている.

専門分野	精神障害作業治療学演習	河野達哉・照井林陽	後期 OT	2単位 30h
------	-------------	-----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

精神障害領域における評価から治療の導入方法、対応方法を理解し一部の対象者に対して実施できる

【目標行動(SBO)】

1. 精神障害領域に必要な評価方法を理解する
2. 導入およびかわりに必要な技能を理解し実施できる
3. 治療導入としてレクリエーションの知識を理解できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. コースオリエンテーション 精神障害領域における評価について	1	講義
	2. 評価バッテリーについて	1	講義
	3. 情報収集 カルテ、他部門から知りたいこと	1	講義・演習
	4. 精神障害領域における観察・記録のポイント	1	講義・演習
	5. 参加時のかかわり方と対応について(1)	1	講義・演習
	6. 参加時のかかわり方と対応について(2)	1	講義・演習
	7. 参加時のかかわり方と対応について(3)	2	講義・演習
	8. 参加時のかかわり方と対応について(4)	2	講義・演習
	9. 導入(インテーク)面接に必要な準備を考え実施する(統合失調症)	2	講義・演習
	10. 導入(インテーク)面接に必要な準備を考え実施する(統合失調症)	2	講義・演習
	11. 導入(インテーク)面接に必要な準備を考え実施する(気分障害)	2	講義・演習
	12. 導入(インテーク)面接に必要な準備を考え実施する(気分障害)	2	講義・演習
	13. リスクマネジメント	2	講義・演習
	14. 治療的レクリエーションの技法 (統合失調症、認知症)	3	講義・演習
	15. 治療的レクリエーションの技法 (統合失調症、認知症)	3	講義・演習

【授業の形式】 講義と実技

【教科書】 指定なし

【参考書】 岩崎テル子編:『標準作業療法学 作業療法評価学 第2版』医学書院 ¥6090
 山口美和著:『PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド』医学書院 ¥2800+税
 香山明美他編集:『作業療法の面接技術』三輪書店 ¥3360
 坂田三允編集:『精神疾患・高齢者の精神障害』中央法規 ¥2600+税
 朝田隆監修:『神疾患の理解と精神科作業療法』第2版 中央法規 ¥3800+税
 作業療法ジャーナル編集委員会編:『レクリエーション』作業療法ジャーナルVol.28 No.11 ¥2718+税
 植田孝一郎著:『認知症の人のための作業療法の手引き』株式会社ワールドプランニング ¥2200+税

【学生の留意点など】 2年生で学習した基礎作業学Ⅲをより実践的に学習します。また、実技可能な服装を準備しておくこと。

【この授業の基礎となる科目】 基礎作業学Ⅲ, 精神障害作業治療学 臨床作業療法

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅱ, 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記試験50%(筆記において6割に満たなかった場合は再試験対象とする), 実技による自己チェックシート提出30%, 課題レポート提出20%で総合的に評価する。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、精神障害の作業療法実施という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	発達障害作業治療学	兵頭 洋子	後期 OT	3単位 60h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達障害領域の作業療法を実施できるようになるために、知識・技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法の評価計画・治療計画の流れを述べることができる。
2. 作業療法で対応する対象者に対して、作業療法評価を立案できる。
3. 作業療法で対応する対象者に対して、作業療法治療計画を立案できる。
4. ご家族の話から、発達障害領域での作業療法の現状を知り作業療法における課題について自分の考えを述べるができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 評価から治療計画立案までの考え方, 知的発達の障害に対する作業療法①	1	講義
	2. 知的発達の障害に対する作業療法②	2,3	講義
	3. 症例検討①	2,3	グループワーク
	4. 症例検討②	2,3	発表
	5. 脳性麻痺に対する作業療法①	2,3	講義
	6. 脳性麻痺に対する作業療法②	2,3	講義・実技
	7. 脳性麻痺に対する作業療法③	2,3	講義・実技
	8. 脳性麻痺に対する作業療法④	2,3	講義・実技
	9. 脳性麻痺に対する作業療法⑤	2,3	講義・実技
	10. 脳性麻痺に対する作業療法⑥	2,3	講義・実技
	11. 重症心身障害児に対する作業療法①	2,3	講義・実技
	12. 重症心身障害児に対する作業療法②	2,3	講義・実技
	13. 摂食・嚥下機能障害に対する作業療法①	2,3	講義〔西方〕
	14. 摂食・嚥下機能障害に対する作業療法②	2,3	講義〔西方〕
	15. 摂食・嚥下機能障害に対する作業療法③	2,3	講義〔西方〕
	16. 摂食・嚥下機能障害に対する作業療法④	2,3	講義・実技〔西方〕
	17. 発達障害に対する作業療法①(広汎性発達障害)	2,3	講義〔兵頭〕
	18. 発達障害に対する作業療法②(注意欠陥多動性障害)	2,3	講義〔兵頭〕
	19. 症例検討③	2,3	グループワーク
	20. 症例検討④	2,3	発表
	21. 発達障害の二次障害・被虐待児に対する作業療法	2,3	講義〔河野〕
	22. 各種疾患の作業療法①(グループワーク)	2,3	グループワーク
	23. 発達・心理検査結果の解釈①	2,3	講義〔成田〕
	24. 発達・心理検査結果の解釈②	2,3	講義〔成田〕
	25. 筋ジストロフィーに対する作業療法①	2,3	講義〔中村〕
	26. 筋ジストロフィーに対する作業療法②	2,3	講義〔中村〕
	27. 各種疾患の作業療法②(発表)	2,3	発表
	28. 各種疾患の作業療法③(発表)	2,3	発表
	29. ご家族の思い, グリーフサポート	4	講義・演習〔黄金ネットワーク〕
	30. ご家族の思い, グリーフサポート	4	講義・演習〔黄金ネットワーク〕

2019年度 夜間部 3学年

【授業の形式】 講義(実技があります)

【教科書】 福田恵美子編集:『標準作業療法学 発達過程作業療法学 第2版』医学書院. 2014. 4200円

【参考書】 長谷龍太郎編さん:『発達障害領域の作業療法』中央法規. 2011. 4200円
福田恵美子編集:『標準作業療法学 発達過程作業療法学 第2版』医学書院. 2014. 4200円
田村良子著:『発達障害(作業療法全書 改訂第3版)』協同医書出版社. 2010. 3360円 他

【学生の留意点など】 この授業では発達障害領域の作業療法を実施するために必要な知識・技術を学習します。まず、評価から治療計画までの基本的な考え方を学習します。そして、発達障害領域の作業療法の中心的な疾患である、発達障害・精神遅滞・脳性麻痺について、評価から治療までを学習します。授業は、講義・実技・紙面症例・課題発表を通して進めていきます。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学, 作業療法概論, 基礎作業学

【この授業を基礎とした科目】 発達障害作業治療学演習, 臨床作業療法, 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 期末試験100%(筆記試験)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、発達障害の作業療法実施という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	発達障害作業治療学演習	兵頭 洋子	前期 OT	2単位 30h
------	-------------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達障害(広義)の作業療法を実施できるようになるために必要な基礎的技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 遊びの場面を通しての評価のメリット・デメリットを述べることができる。
2. 遊びの場面を通して評価できることを述べることができる。
3. 治療理論を用い、対象者の作業療法治療計画立案することができる。
4. 障害像に合わせた作業療法治療計画立案することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. コースオリエンテーション. 行動, 作業遂行・身辺処理の評価	1	講義〔兵頭〕
	2. 遊びの場面からの評価①(概要・メリット・デメリット)	2,3	講義〔兵頭〕
	3. 遊びの場面からの評価②(玩具遊びからの評価)	2,3	講義・演習〔兵頭〕
	4. 遊びの場面からの評価③(遊具遊びからの評価)	2,3	講義・演習〔兵頭〕
	5. 感覚統合理論①	4	講義・演習〔兵頭〕
	6. 感覚統合理論②(遊具体験)	4	講義・演習〔兵頭〕
	7. 感覚統合理論②(症例検討) ※6と同日実施	4	講義・演習〔兵頭〕
	8. 感覚統合理論④(グループ発表)	4	講義・演習〔兵頭〕
	9. TEACCHプログラム①	4	講義・演習〔兵頭〕
	10. TEACCHプログラム②(症例検討)	4	講義・演習〔兵頭〕
	11. 応用行動分析	4	講義・演習〔兵頭〕
	12. 手指機能の運動障害に対する作業療法	5	講義・演習〔兵頭〕
	13. 視運動・視知覚認知機能の障害に対する作業療法	5	講義・演習〔兵頭〕
	14. コミュニケーション能力障害に対する作業療法	5	講義・演習〔兵頭〕
	15. 発達障害領域の作業療法の実際	4	講義・演習〔岡田洋一〕

【授業の形式】 演習(講義があります)

【教科書】 福田恵美子編集:『標準作業療法学 発達過程作業療法学 第2版』医学書院. 2014. 4200円

【参考書】 その都度紹介いたします。

【学生の留意点など】 講義だけでなく、グループワークを多く取り入れていきます。

【この授業の基礎となる科目】 発達障害作業治療学

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記試験(80%), レポート課題(20%)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、発達障害の作業療法実施という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	老年期障害作業治療学	竹内 幸子・河野 崇	後期 OT	2単位 30h
------	------------	------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 老年期の対象者に応じた適切な評価項目を挙げ、治療計画を立案することが出来る。
2. 老年期の各作業療法提供施設の役割を理解し、対象者に応じた援助の方法を知る。

【目標行動(SBO)】

1. 老年期作業療法で注意すべき疾患とリスクへの対応を説明できる。
2. 老年期の対象者に必要な評価項目を挙げ、治療計画を立案できる。
3. 医療・介護分野における各作業療法提供施設の役割と目的を理解できる。
4. 老年期の各作業療法提供施設における作業療法の流れを理解できる。
5. ケーススタディを通して対象者に応じた具体的な援助方法を知る。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. オリエンテーション・老年期で注意すべき疾患とリスク管理	1	講義(竹内)
	2. 急性期・回復期病棟での老年期作業療法の役割と目的	1-4	講義(河野崇)
	3. 急性期・回復期病棟における老年期障害作業療法の実際とチームアプローチ	1-4	講義(河野崇)
	4. ケーススタディ(急性期・回復期病棟)	1-5	講義・演習(河野崇)
	5. 介護老人保健施設の老年期作業療法の役割と目的	1-4	講義(外来)
	6. 介護老人保健施設における老年期障害作業療法の実際とチームアプローチ	1-4	講義(外来)
	7. ケーススタディ(介護老人保健施設)	1-5	講義・演習(外来)
	8. 認知症病棟の老年期作業療法の役割と目的	1-4	講義(外来)
	9. 認知症病棟における老年期障害作業療法の実際とチームアプローチ	1-4	講義(外来)
	10. ケーススタディ(認知症病棟)	1-5	講義・演習(外来)
	11. 療養病棟の老年期作業療法の役割と目的	1-4	講義(外来)
	12. 療養病棟における老年期障害作業療法の実際とチームアプローチ	1-4	講義(外来)
	13. ケーススタディ(療養病棟)	1-5	講義・演習(外来)
	14. 在宅・地域の老年期作業療法	1-5	講義・演習(竹内)
	15. 老年期の対象者に応じた評価・治療計画の立案	1-5	講義・演習(竹内)

【授業の形式】 講義および演習

【教科書】 田村 孝司(編)『作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 老年期作業療法学』:メジカルビュー社, 2017, ¥4320

【参考書】『作業療法マニュアル39認知症高齢者の作業療法の実際』:(社)日本作業療法士協会, 2014(第3刷), ¥1000

【学生の留意点など】 老年期の対象者は個人差が大きく様々な疾患を呈し、作業療法提供場所も多岐に渡っています。そのため、これまで学んできた基礎医学、臨床医学、評価・治療学の知識を総動員し、包括的に「その人らしさ」を理解する必要があります。この授業では各作業療法提供施設で実務している作業療法士を講師に呼び、具体的な老年期作業療法の役割と援助内容を学んで頂きます。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学, 作業療法概論, 作業療法評価学, 作業療法評価学演習

【この授業を基礎とした科目】 臨床作業療法, 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。
試験に合格した場合、期末試験;筆記試験(60%), 課題;ワークシート(40%)で総合的に評価する。
課題は成績に大きく関わるため必ず提出し、期限を厳守すること。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、老年期作業療法治療学の授業に活かした科目としている。

専門分野	生活適応学	兵頭洋子	前期 OT	2単位 30h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

学生は、対象者が症状・環境に適応し生活できるために、環境・機器の評価・適応を学びその知識・技術を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 環境改善の方法について説明できる
2. 身体障害を補う機器を説明できる
3. 身体障害を補う機器を障害に合わせて適用できる
4. 動作の工夫方法を説明できる
5. 機器・方法の工夫を説明できる
6. 上肢装具を症状に合わせた作成方法を知る
7. 上肢装具を症状に合わせた適用を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 円ハビリテーション機器の活用	1,2	兵頭
	2. 障害を持つ人の家事動作(掃除・布団敷・料理)①	1,2,4	福井
	3. 障害を持つ人の家事動作(掃除・布団敷・料理)②	1,2,4	福井
	4. 障害を持つ人の家事動作(掃除・布団敷・料理)③	1,2,4	福井
	5. 義手の適用と種類	2,3	阿部
	6. 高位頸髄損傷者のADLと就業の一般的状況	2,3,5	西野
	7. 家屋改造の基礎知識, 図面の見方・書き方	1	兵頭
	8. 家屋改造の例とその理解	1	清野
	9. 杖・松葉杖の種類と適用方法	2,3,4	沼尾
	10. 小児領域の福祉機器・自助具の基礎知識	1,2,3,	兵頭
	11. 下肢装具・義足の種類と適用方法	2,3,4	小林
	12. 上肢装具① 基礎知識	6,7	仲木
	13. 上肢装具② スプリントの種類と適用	6,7	仲木
	14. 上肢装具③ スプリントの作成方法	6,7	仲木
	15. 上肢装具④ 対象者への適用と応用	6,7	仲木

【授業の形式】 講義

【教科書】 木之瀬隆 編:『作業療法学全書 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備』, 協同医書, 2011, ¥3240
酒井ひとみ編:作業療法全書『作業療法技術学3日常生活活動(第3版)』, 協同医書, 2009, ¥3600

【参考書】 随時紹介する

【学生の留意点など】 OTのアプローチは人と環境に二分され、この授業では特に環境(道具を含む)について学び、環境の換え方や道具の適用方法を学びます。環境を対象者の生活に合わせることができるところを目的とする。環境の評価・工夫・実践を具体的に学んでください、生活適応学演習と関連して学んでください、

【この授業の基礎となる科目】 日常生活評価学

【この授業を基礎とした科目】 生活適応学演習

【成績評価】 期末試験:筆記試験で評価する。筆記試験で6割に満たない者は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

専門分野	生活適応学演習	兵頭洋子	前期 OT	2単位 30h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

学生は、対象者が症状・環境に適応し生活できるために、環境・機器の評価・適応を学びその知識・技術を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 障害を持つ人を取り巻く環境の改善を工夫できる
2. 身体障害を補う機器を説明できる
3. 機器・方法の使い方とその工夫を説明できる
4. 対象者の不便さに対して環境・機器で解決する方法を工夫できる
5. 上肢装具を作製できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. リハビリテーション機器の適用	1	兵頭
	2. 障害を持つ人の家事動作(掃除・布団敷・料理)の実際①	2,4	福井
	3. 障害を持つ人の家事動作(掃除・布団敷・料理)の実際②	2,4	福井
	4. 障害を持つ人の家事動作(掃除・布団敷・料理)の実際③	2,4	福井
	5. 義手の適用とチェックアウト	2,3,4	阿部
	6. 高位頸髄損傷者のADLと就業の実際	2,3,4	西野
	7. 家屋改造① 図面の実際の理解	1	兵頭
	8. 家屋改造② 改造計画を立てる	2	清野
	9. 杖・松葉杖の使い方指導と歩行	2,3,4	沼尾
	10. 小児領域の福祉機器・自助具の適用の仕方	1-4	兵頭
	11. 下肢装具・義足を使つての歩行	2,3,4	小林
	12. 上肢装具① スプリント素材の特性	5	仲木
	13. 上肢装具② 作成方法の実際	5	仲木
	14. 上肢装具③ 作成方法の実際	5	仲木
	15. 上肢装具④ 対象者への適応	5	仲木

【授業の形式】 演習(必要に応じて説明をします)

【教科書】 木之瀬隆 編:『作業療法学全書 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備』, 協同医書, 2011, ¥3240
酒井ひとみ編:作業療法全書『作業療法技術学3日常生活活動(第3版)』, 協同医書, 2009, ¥3600

【参考書】 随時紹介する

【学生の留意点など】 生活適応学で学んだ内容を実際に行えるよう環境・道具の具体的な評価・工夫・実践を実技を通して学びます,対象者に適用できるようになるために, 対象者の障害像を常に思い浮かべながら, 具体的に考え学びましょ

【この授業の基礎となる科目】 生活適応学

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 期末試験は実施しない。課題で評価する。課題はレポート(75%), スプリント(25%)で総合的に評価する。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し, その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

専門分野	臨床作業療法	中村 伴子 他	後期 OT	2単位 30h
------	--------	---------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法評価および治療を実施できるようになるために、必要とされる臨床技能を習得する

【目標行動(SBO)】

1. シナリオに基づいて各領域の面接・検査測定を模擬的に実施できる
2. 自己の臨床上の利点、欠点を自覚し、修正すべき点は修正できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 臨床に必要とされる能力, OSCE実施のための基礎知識	1. 2	講義・演習
	2. 学生評価を考える	1. 2	講義・演習
	3. 面接法①(解説)	1. 2	講義・演習
	4. 面接法②(陥りやすい対応①)	1. 2	講義・演習
	5. 面接法③(陥りやすい対応②)	1. 2	講義・演習
	6. 自己知覚	1. 2	講義・演習
	7. 共感, 傾聴の方法	1. 2	講義・演習
	8. 身体障害分野のOSCE①	1. 2	講義・演習
	9. 身体障害分野のOSCE②	1. 2	講義・演習
	10. 発達障害分野のOSCE①	1. 2	講義・演習
	11. 発達障害分野のOSCE②	1. 2	講義・演習
	12. 精神障害分野のOSCE①	1. 2	講義・演習
	13. 精神障害分野のOSCE②	1. 2	講義・演習
	14. 高齢期障害分野のOSCE①	1. 2	講義・演習
	15. 高齢期障害分野のOSCE②	1. 2	講義・演習

【授業の形式】 講義および演習を行う。

【教科書】 なし,適宜, 資料を配付する,

【参考書】 なし

【学生の留意点など】 臨床実習の導入をスムーズにするために、臨床実習前の準備として、各学生の臨床上の利点、欠点を確認する授業である、ケースシナリオに基づいて、対象者の評価を組み立て、実施するプロセスを模擬的にを行い、学生間で相互評価する授業形態をとる簡易型のOSCE(客観的臨床能力試験)を実施する、学生間で評価者、被評価者の役割を遂行し、相互の臨床上の注意点を学習する、

【この授業の基礎となる科目】 各治療学

【この授業を基礎とした科目】 各評価学および治療学

【成績評価】 筆記試験は実施しない。課題(レポート80%, ワークシート20%)100%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、作業療法評価および治療の実施という観点から授業内容に生かした科目としている

専門分野	地域作業療法学Ⅱ	河野 達哉	後期 OT	2単位 30h
------	----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

作業療法士として働くために、必要とされる職場管職、業倫理について知る。

【目標行動(SBO)】

1. 作業療法部門の管理に必要な業務を述べることができる
2. 作業療法部門の運営に必要な業務を述べることができる
3. 診療報酬の体系について述べることができる
4. 作業療法士に求められる職業倫理について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 職業人としてのスタート(組織・権利・義務)	1~4	講義・演習
	2. 医療費が払えない! どうする?(医療・介護保険)	1~4	講義・演習
	3. 働けなくなったらどうする?(社会保障・年金)	1~4	講義・演習
	4. 他部門と協力・連携する(連携論)	1~4	講義・演習
	5. プライバシーに配慮する(守秘義務, ハラスメント)	1~4	講義・演習
	6. いくら稼げば給与に見合う?	1~4	講義・演習
	7. あなたの判断は(医療倫理)	1~4	講義・演習
	8. あなたの判断は(医療倫理)	1~4	講義・演習
	9. 管理職になったら(リーダーシップとフォロワーシップ)	1~4	講義・演習
	10. 身体障害者部門の管理運営	1~4	講義・演習
	11. 精神障害部門の管理運営	1~4	講義・演習
	12. 発達・高齢期部門の管理運営	1~4	講義・演習
	13. 作業療法室を開設する①(準備)	1~4	講義・演習
	14. 作業療法室を開設する②(準備)	1~4	講義・演習
	15. 作業療法室を開設する③(発表)	1~4	講義・演習

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 なし(適宜, 資料を配付する)

【参考書】 杉原素子編:作業療法概論、協同医書出版社, 2015, ¥3400

【学生の留意点など】 作業療法士として働くために必要とされる管理運営, 職業倫理, 対象者保護の視点について学ぶ。その回ごとにキークエスチョンに答える。また、それらの知識を基に、作業療法室開設のプロジェクトを行う。

【この授業の基礎となる科目】 地域作業療法学Ⅰ, 各治療学

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 筆記試験は実施しない。課題(レポート80%, ワークシート20%)100%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、作業療法実施という観点から授業内容に生かした科目としている。

専門分野	臨床実習Ⅱ	河野 達哉・照井 林陽	前期 OT	1単位 45h
------	-------	-------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

精神障害領域の作業療法が実施できるようになるために、精神科作業療法の実践過程を理解する

【目標行動(SBO)】

1. 職業人として適切な態度や行動をとることができる
2. 精神科領域の対象者との適切な関わりを知る
3. 対象者を取り巻く環境について理解する
4. 精神科領域における実際の作業療法場面を理解する
5. 記録・報告が行える
6. セミナーで振り返り、報告ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

作業療法プログラムに参加する

1. 作業療法プログラムに参加し、対象者との関わり方、作業療法の展開(実践)および過程(流れ)を知る

精神科領域の対象者について理解を深める

2. 対象者の身体的・精神的状態及び行動上の反応を観察し記録する
3. 対象者の訴えや行動の背景を推察(解釈)し、記録する

精神科領域の対象者との適切な関わり方を知る

4. 対象者との心的距離、物的距離に留意した関わりを知る

精神科領域における作業療法の展開と過程の例を知る

5. 観察した事項(治療構造、作業療法士の治療的役割、集団構造、作業活動の使い方、段階付等)を記録し、整理する
6. 整理した各観察事項をもとに、治療的意義を知る

セミナー

7. セミナーで振り返り、報告ができる

【授業の形式】 実習

【教科書】 関連科目の教科書

【参考書】 実習地で紹介される文献

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 精神医学、臨床精神医学

【この授業を基礎とした科目】 精神障害作業治療学・演習

【成績評価】 指導者により「臨床実習Ⅱ 指導報告書」、学院のセミナー評価を合算。

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務の経験を、作業療法実施という観点から実習内容に生かした科目としている。

専門分野	行動科学	安永 明智	後期 PT/OT	2単位 30h
------	------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

本講義は、人々の健康行動の変容を促し、健康づくりを支援していくために、行動科学の理論や対人援助に必要な技法について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 健康支援における行動科学の必要性が説明できる
2. 行動科学の理論を列挙し、説明できる
3. 対人援助を円滑に進めていくために必要なコミュニケーション・スキルについて説明できる
4. 行動科学の理論を健康支援の現場に応用していく方法を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 健康支援に行動科学が必要とされる背景	1	
	2. 行動科学の背景となる心理学の理論:学習理論/動機づけ理論	2	
	3. 行動科学理論①:社会認知理論/トランスセオレティカル・モデル	2	
	4. 行動科学理論②:ソーシャルマーケティング/プリシード・プロシードモデル/エコロジカル・アプローチ	2	
	5. 対人援助のスキル①:コミュニケーション・スキル	3	
	6. 対人援助のスキル③:ヘルス・コミュニケーション	3	
	7. 健康支援の現場における行動科学の応用事例	4	
	8. グループワーク	4	

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 随時、紹介する。

【学生の留意点など】 学習した内容について復習を必ず行うこと

【この授業の基礎となる科目】 人間発達学

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 課題レポート(100%)

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	社会福祉学	川股 典子	後期 PT/OT	1単位 20h
------	-------	-------	----------	---------

【一般教育目標(GIO)】

心身障害や高齢などに起因する生活上の困難に対応するために、社会福祉全般の現状、高齢者福祉、障害者福祉、介護保険制度、社会保障制度について学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 社会福祉の概要を説明できる
2. リハビリテーションに関わる社会福祉(高齢者福祉、障害者福祉、介護保険制度、児童福祉)について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 社会保障 社会保障の全体像
2. 社会保障 社会保障と社会福祉
3. 老人福祉 高齢社会の背景
4. 老人福祉 施設福祉・在宅福祉
5. 老人福祉 介護保険制度
6. 障害者福祉 「障害」について
7. 障害者福祉 各種サービスの概要
8. 児童福祉 各種サービスの概要
9. 地域福祉 各種サービスの概要
10. まとめ

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 特に指定しない

【学生の留意点など】 特になし

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論, 理学療法概論, 作業療法概論

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 課題(レポート)

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	統計学	江川 賢一	後期 PT	2単位 30h
------	-----	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法及び臨床研究に応用・展開するために、医療統計学の基礎的を理解する

【目標行動(SBO)】

1. 理学療法士に必要な統計学を説明できる
2. 理学療法研究における統計学の基礎概念を説明できる
3. 統計解析と研究デザインの関係性を説明できる
4. データの種類に応じて適切な解析手法が適用できる
5. 理学療法研究における研究デザインを列挙できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 理学療法統計学概論 理学療法における統計の必要性／統計学の学び方を学ぶ	1	
	2. 研究デザインと統計 理学療法研究の構造, リサーチクエスチョンを理解する	2	
	3. 統計解析の方法 理学療法研究における統計解析を理解する	3	
	4. データの理解(講義) データ収集, 解析, 報告の流れを学ぶ	4	
	5. データの理解(実習) グラフの書き方を学ぶ	4	
	6. データの理解(実習) 基本統計量の求め方を学ぶ	5	
	7. プレゼンテーション 統計を活用して学習成果を報告する	5	
	8. 理学療法への統計学の応用 理学療法における統計学の応用を知る	1	

【授業の形式】 講義(PC教室で実施)

【教科書】 とくに指定しない

【参考書】

【学生の留意点など】 受講までに高等学校「確率・統計」を復習すること. 数字に対する興味, 関心をもって授業外学習に取り組むこと. 統計を用いてコミュニケーション能力を高めること.

【この授業の基礎となる科目】 理学療法研究法

【この授業を基礎とした科目】 理学療法研究法演習

【成績評価】 プレゼンテーション60%, 質疑応答40%

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	理学療法概論Ⅱ	小林 規彦	後期 PT	1単位 15h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

- 1.日本の医療制度を知るために、歴史的背景および現状を理解し、リハビリテーション現場の保険・医療・福祉システムを考察する
- 2.地域リハビリテーションを含む現場の諸問題を理解するために、事例検討を通し考察する

【目標行動(SBO)】

1. 日本の保険・医療・福祉制度の概略を説明できる
2. リハビリテーション現場の諸問題(症例検討を通し)から、具体的行動目標を示せる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 日本の医療制度の仕組みと診療報酬体系	1.2	全回講義・討論
	2. リハビリテーションの現状と関連する諸制度Ⅰ	1.2	
	3. リハビリテーションの現状と関連する諸制度Ⅱ	1.2	
	4. リスクマネジメントについて	1.2	
	5. 日本の医療が抱える諸問題の検討	1.2	

【授業の形式】 講義(討論があります)

【教科書】 指定しない

【参考書】 資料を配布します

【学生の留意点など】 ・授業は、講義と発表により構成される。
 ・学院内の生活では実感が持てない、臨床で重要な課題を数多く提示します。
 ・よって日常的にリハビリテーションに関連した事象に対して、意識的に情報収集する姿勢が望まれます。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 課題プレゼンテーション資料 50% 発表時の質疑応答 50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は、理学療法士実務のほか社会学分野ならびに介護保険分野実務経験をもとに展開する授業としている

専門分野	理学療法研究法演習	山形 哲行、坂田 晋一	後期 PT	2単位 40h
------	-----------	-------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

研究的疑問を解決するために、臨床研究および基礎医学研究方法論を理解し、研究を実践する

【目標行動(SBO)】

1. 研究的疑問の明確化の方法を説明できる
2. 研究計画書をグループで作成しグループごとに実験を実施する
3. 研究発表を行なえる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 研究計画書に備えられる事項 研究の種類／ 臨床的疑問の整理	1	講義
	2. 文献の調べ方と読み方	1	講義
	3. 研究方法論①	1,2	講義
	4. 研究方法論②	1,2	講義
	5. 研究計画書の作成	1,2	グループワーク
	6. データ取得	2	グループワーク
	7. データ取得	2	グループワーク
	8. データ取得	2	グループワーク
	9. 解析及び報告書作成	3	グループワーク
	10. 最終発表会	3	演習

【授業の形式】 演習(講義があります)

【教科書】 指定しない

【参考書】 指定しない

【学生の留意点など】 授業時間枠だけでは学習時間が不足する。課外においてもグループ学習に努めること

【この授業の基礎となる科目】 理学療法研究法、統計学

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 研究計画書の作成40%、研究報告書の作成40%、研究成果発表20%

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	運動療法学特論	複数講師	後期 PT	2単位 40h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法に应用・展開できるようになるために、より実践的または先進的な運動療法の技術論を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 各技術論の概要を説明できる
2. 各技術論の理学療法における位置づけを言える
3. 基本的な範囲で評価, 実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 屈底板療法	1,2,3	〔佐々木克則〕
	2. ボバース概念に基づく評価と治療①	1,2,3	〔保莉吉秀〕
	3. ボバース概念に基づく評価と治療②	1,2,3	〔保莉吉秀〕
	4. 高次脳機能障害と理学療法	1,2,3	〔網本 和〕
	5. スポーツ傷害に対する理学療法	1,2,3	〔川島敏生〕
	6. 運動学習に基づく理学療法	1,2,3	〔小林 賢〕
	7. ADLとその評価(SAIS・FIM)	1,2,3	〔市川雅彦〕
	8. 精神科領域の理学療法	1,2,3	〔細井 匠〕
	9. 障害者とスポーツ	1,2,3	〔田中信行〕
	10. 疼痛のリハビリテーション	1,2,3	〔江原弘之〕

【授業の形式】 講義・一部実技

【教科書】 なし

【参考書】

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 運動療法学技術論, 各障害理学療法学

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 各回授業内容レポート等

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	地域福祉論	山本 繁樹	後期 PT	1単位 20h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

地域在住の高齢者や障害児者への支援のために、地域福祉の概要、社会資源の活用、具体的援助論などについて学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 地域福祉の理念・内容などについて説明できる
2. 社会資源の活用方法について説明できる
3. 本人や家族への支援方法やケアマネジメント方法について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 地域福祉の理念・内容・推進方法	1	
	2. 社会資源の活用	2	
	3. 家族に対する支援	3	
	4. ケアマネジメントの方法	2, 3	
	5. 地域福祉における相談援助事例研究	2, 3	

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 随時紹介する

【学生の留意点など】 講義のほか、受講生同士によるグループ討議演習など学生参加のもとに考察をすすめる。

【この授業の基礎となる科目】 社会福祉学, リハビリテーション概論

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 課題(レポート)

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	地域理学療法論	坂田、岩谷、中村	後期 PT	2単位 30h
------	---------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法士として地域で働くために、個人が生きていくこと、個人が生活していくことに対して関心を持つ

【目標行動(SBO)】

1. 地域リハビリテーションの概要を説明することができる
2. 生活支援が必要な状況を具体的に提示することができる
3. 症例検討を通じて生活支援プログラムを考えることができる
4. 考えを整理し、他職種に説明することができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	オリエンテーション 授業概要		講義
2.	地域理学療法について 地域における理学療法士の役割		講義
3.	病院から在宅へ向けて 看護連携について		講義実技(岩谷)
4.	病院から在宅へ向けて 福祉用具アドバイス		講義実技(岩谷)
5.	在宅生活について 坐位保持の考え方		講義実技(岩谷)
6.	シーティングについて 安定した姿勢保持		講義実技(岩谷)
7.	地域理学療法の歴史 過去からの経緯		講義(中村)
8.	地域理学療法の今後 地域包括ケアシステム 求められるPT		講義(中村)
9.	事例検討 ①－Ⅰ 障害と生活について考える		グループワーク
10.	事例検討 ①－Ⅱ 具体的な問題点を導く		グループワーク
11.	事例検討 ①－Ⅲ 生きていくためのプラン 支援		グループワーク
12.	事例発表 ①		事例検討報告
13.	事例検討 ②－Ⅰ 寝たきり利用者の在宅生活		グループワーク
14.	事例検討 ②－Ⅱ 理学療法士の関わりがもたらすもの		グループワーク
15.	まとめ 地域リハビリテーションの視点とは		講義

【授業の形式】 講義

【教科書】 なし 資料を配布する

【参考書】 なし

【学生の留意点など】 「生きる」「生活する」という日々行っている当たり前のことに支援が必要な人が存在している
 生きること、生活することについて真剣に考え、議論してほしい

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論 生活環境論

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 提出課題① 50% 提出課題② 50%

【実務経験のある教員による科目】 本科目は、坂田(理学療法士)等が担当し、その実務経験を授業内容の講義、実技などにいかした授業としている。

専門分野	臨床実習Ⅲ-A・B		前期 PT	
------	-----------	--	-------	--

A・B 各8単位、360時間 計16単位、720時間

【一般教育目標(GIO)】

各理学療法の理論と実践を最終的に統合し、指導者の助言のもと、主体的に治療プログラムを計画し、実施できるようになる。
理学療法士および専門職業人としての適切な態度や行動を身につける。

【目標行動(SBO)】

担当症例に即した

1. 理学療法評価ができる。
2. 統合と解釈, 問題点の抽出, 目標設定ができる。
3. 治療プログラムを基本的な範囲で立案できる
4. 治療プログラムを実施できる。
5. 必要に応じて当初の治療プログラムを変更できる。
6. 記録・報告が行える。
7. 専門職業人として適切な態度や行動をとることができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 担当症例の〈初期評価(対象者・疾患の理解, 各種検査測定の実施, 記録, 統合と解釈), 目標設定, 治療プログラムの立案, 実施, 再評価, 最終評価など〉を実施
2. 指導理学療法士の責任と指導のもとに偏りなく各疾患, 各病期, 各年齢層の対象者について身体的, 心理的, 社会的状況を十分に把握
3. 疾患から生じるとされる一般的な種々の障害と実際に対象者が示す種々の障害との共通点, 相違点に気づかせ, あくまでも対象者の全体像を把握することに努める

【授業の形式】 実習

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学演習・各理学療法治療学・臨床実習Ⅰ・Ⅱ

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 指導報告書・実習後セミナー

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	作業療法研究法Ⅱ	OT学科各教員	後期 OT	1単位 15h
------	----------	---------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

症例研究および発表が行えるようになるために必要事項を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 事例報告の意義と方法を学ぶ
2. 症例レポートの情報整理ができる
3. 事例報告集の規定に基づき症例をまとめることができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 事例報告の意義と方法について
2. 事例報告の作成 情報整理①
3. 事例報告の作成 情報整理②
4. 事例報告の作成 情報整理③
5. 事例報告の作成 文献検索①
6. 事例報告の作成 文献検索②
7. 事例報告の作成 文献検索③
8. 事例報告の作成 まとめ

【授業の形式】 講義, 演習(グループ別)

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 (社)日本作業療法士協会:『作業療法事例報告集』
鎌倉矩子他:『作業療法士のための研究法入門』. 三輪書店. 1998. ￥3200.

【学生の留意点など】 本授業では, 日本作業療法士協会による「事例登録制度」に基づき, 臨床知識・技術の相互研鑽, 知識・技術水準の視覚化, 作業療法成果の根拠とするための事例登録を一部経験する. 事例登録制度に基づき, 臨床実習の担当症例をまとめる演習となる.
授業回数が限られるため, 計画的に課題へ取り組むこと。

【この授業の基礎となる科目】 作業療法研究法Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 作業療法研究法演習

【成績評価】 提出課題100%(内容60%, 期限提出40%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し, その実務経験を授業内容の事例報告作成に活かした授業として
いる。

専門分野	作業療法研究法演習	OT学科各教員	後期 OT	2単位 30h
------	-----------	---------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

事例報告としてポスター発表が行えるようになるために必要事項を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. ポスター作成の方法を理解する
2. 実習で担当した症例をポスターにまとめられる
3. ポスター発表の方法を理解する
4. まとめた症例をポスター発表できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. ポスター作成の方法	1	
	2. ポスター発表の方法	3	
	3. ポスター作成①	2	
	4. ポスター作成②	2	
	5. ポスター作成③	2	
	6. ポスター作成④	2	
	7. ポスター発表準備①	3	
	8. ポスター発表準備②	3	
	9. ポスター発表準備③	3	
	10. ポスター発表準備④	3	
	11. ポスター発表演習①	4	
	12. ポスター発表演習②	4	
	13. ポスター発表演習③	4	
	14. ポスター発表演習④	4	
	15. ポスター発表演習⑤	4	

【授業の形式】 講義, 演習(グループ別)

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 鎌倉矩子他:『作業療法士のための研究法入門』. 三輪書店. 1998. ¥3200.

【学生の留意点など】 本授業は, 研究法Ⅱでまとめた症例を, 実際の学会形式にて発表する. 発表形式はポスター発表とし, 発表当日はスーツ着用とする.
実際の学会において発表するつもりでポスター作成, 発表準備, 練習に臨むこと.

【この授業の基礎となる科目】 作業療法研究法Ⅰ, Ⅱ

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 発表課題100%(発表演習)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は作業療法士が担当し, その実務経験を授業内容のポスター発表に活かした授業としている.

専門分野	臨床実習Ⅲ-A・B・C		通年 OT	
------	-------------	--	-------	--

A・B・C 各8単位、360時間 計24単位、1080時間 ()内は生活期リハビリテーションの目標

【一般教育目標(GIO)】

各領域の作業療法が実施できるようになるために、評価・治療の過程を理解する

【目標行動(SBO)】

1. 職業人として適切な態度や行動をとることができる
2. 対象者の評価を実施できる(対象者の現状を把握できる)
3. 評価結果を整理できる(対象者の生活課題を把握できる)
4. 治療計画を立案できる(チームの目標を把握できる・支援計画を立案できる)
5. 治療計画を実施できる(支援計画の一部を実施できる)
6. 必要に応じて再評価を実施し、作業療法の終了・継続・変更を判断できる
7. 記録・報告を行える
8. セミナーで振り返り、報告ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 実習地に慣れ、実習分野に特有の考え方を理解する
2. 治療一部補助を通して、対象者に慣れ、学生なりの観察力、表現力を養成する
3. 1回の治療全体を通して対象者に慣れる。学生なりの観察力、表現力を養成する
4. 積極的な助言、指導の下、評価から治療の一貫した流れを実施する
5. 最小限の助言、指導の下、評価～治療の一貫した流れを実施する
6. セミナーで振り返り、報告ができる

【授業の形式】 実習

【教科書】 関連科目の教科書

【参考書】 実習地に紹介される文献

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 各評価学、各治療学・治療学演習

【この授業を基礎とした科目】 研究法

【成績評価】 指導者による評価(7割)、実習後セミナー(3割)

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における作業療法士としての実務経験を活かし、実際の治療を学び実習科目としている

昼間部

理学療法学科

基礎分野	臨床心理学	杉村 夕	後期 PT	2単位 30h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者の心理的特徴や心的作用を考慮しながら実際場面で対応できるようになるために、臨床心理学の基本的理論、検査法、心理療法などを学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 臨床心理学の定義と対象, 基本的な考え方を説明できる.
2. 代表的な心理検査の種類を列挙, その特徴と内容について説明し, 実施できる.
3. 代表的な心理療法について列挙し, その特徴と内容について説明できる.

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 臨床心理学の定義と対象, 基本的な考え方
2. 心理アセスメント面接法, 行動観察法, 心理検査法
3. 心理検査法① 性格検査(質問紙法)
4. 心理検査法② 性格検査(投影法)
5. 心理検査法③ 性格検査(作業検査法)
6. 心理検査法④ 知能検査(ウェクスラー式, ビネー式)
7. 心理療法① 概論
8. 心理療法② 精神分析療法
9. 心理療法③ クライアント中心療法
10. 心理療法④ 行動療法, 認知行動療法
11. 心理療法⑤ 自律訓練法
12. 心理療法⑥ その他の心理療法
13. 障害者・高齢者の心理障害の受容, その他
14. ストレスマネジメント
15. まとめ

【授業の形式】 講義

【教科書】 特になし

【参考書】 授業の中でその都度紹介します

【学生の留意点など】 実際にさまざまな心理検査を実施したり, さまざまな心理療法の基礎を体験してもらったりします. 積極的な授業参加を期待します

【この授業の基礎となる科目】 人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 精神医学

【成績評価】 期末試験

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	行動科学	安永 明智	前期 PT	2単位 30h
------	------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

本講義は、人々の健康行動の変容を促し、健康づくりを支援していくために、行動科学の理論や対人援助に必要な技法について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 健康支援における行動科学の必要性が説明できる
2. 行動科学の理論を列挙し、説明できる
3. 対人援助を円滑に進めていくために必要なコミュニケーション・スキルについて説明できる
4. 行動科学の理論を健康支援の現場に応用していく方法を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 健康支援に行動科学が必要とされる背景	1	
	2. 行動科学の背景となる心理学の理論①:学習理論	2	
	3. 行動科学の背景となる心理学の理論②:動機づけ理論	2	
	4. 行動科学理論①:社会認知理論	2	
	5. 行動科学理論②:トランスセオレティカル・モデル	2	
	6. 行動科学理論③:ソーシャルマーケティング	2	
	7. 行動科学理論④:プリシード・プロシードモデル	2	
	8. 行動科学理論⑤:エコロジカル・アプローチ	2	
	9. 対人援助のスキル①:コミュニケーションに影響を与える要因	3	
	10. 対人援助のスキル②:コミュニケーション・スキル	3	
	11. 対人援助のスキル③:ヘルス・コミュニケーション	3	
	12. 健康支援の現場における行動科学の応用事例①	4	
	13. 健康支援の現場における行動科学の応用事例②	4	
	14. グループワーク	4	
	15. グループワークの発表	4	

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 随時、紹介する

【学生の留意点など】 学習した内容について復習を必ず行うこと

【この授業の基礎となる科目】 人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 運動療法学概論 各障害理学療法学

【成績評価】 期末試験(筆記90%), 課題(10%)

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	人間発達学	山中 陽子	後期 PT	2単位 30h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者の発達過程を考慮しながら対応できるようになるために、人の生得的な能力を知り、また代表的な各領域の発達段階における特徴を学ぶ
(※「各領域」とは、運動機能、認知機能、心理・社会性機能等を示す)

【目標行動(SBO)】

1. 人の発達段階の特徴について各領域に分け説明できる
2. 発達障害について説明できる
3. 各ライフステージにおける発達の特徴について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号
1.	ガイダンス 生涯発達という考え方 発達段階と発達課題	1
2.	発達理論 さまざまな発達理論(ピアジェ・エリクソンなど)	1
3.	胎 児 期 胎児の発達 子どもの行動発達	1,3
4.	新 生 児 期 出生後からの発達(愛着を中心に) 子どもの言語発達	1,3
5.	乳 幼 児 期 幼児期における心理的発達	1,3
6.	児 童 期(1) 認知発達段階の把握 学習・記憶の発達	2,3
7.	児 童 期(2) ギャング・エイジの理解 道徳的判断の発達	1,3
8.	児童期(思春期) 身体の成長と心の成長(青年期への移行) 恋愛の発達	2,3
9.	青 年 期 アイデンティティ(自我同一性)とモラトリアムの理解	1,3
10.	成 人 期 成人期における発達 職業の選択 結婚と子育て	2,3
11.	成人期(中年期) 中年期危機 次世代を育てる	1,3
12.	老 年 期 エイジズム 老年期の発達変化 認知症	1,3
13.	発達の遅れ(1) 発達障害とは	2
14.	発達の遅れ(2) 多種多様な発達検査	1,2
15.	ま と め	1,2,3

【授業の形式】講義

【教 科 書】特に指定しない

【参 考 書】授業の中でその都度紹介します

【学生の留意点など】テキストは用いません。基本的に毎回プリントを配布いたします。
講義のほか、授業内で数回の心理検査を実施する予定です。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】臨床心理学、臨床医学(小児科学)

【成績評価】期末筆記試験

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	医療情報学	和島 英明	前期 PT	2単位 30h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

医療現場で様々な医療情報を扱えるようになるために、医療情報の種類やその重要性を理解し、また情報収集の方法について理解するとともに、理学療法に関する検査測定技術の一部を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 医療情報の種類、収集方法、取扱などについて説明することができる。
2. 理学療法評価の流れを理解し、その概要を説明することができる。
3. 対象者と医療面接を進めながら、血圧測定、四肢長、四肢周径を測定することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション		講義
	2. 医療情報① (情報の種類、専門用語等)	1	講義
	3. 医療情報② (患者情報、他部門情報、他職種連携等)	1	講義
	4. 医療情報③ (五感の活用、観察力等)	1,2	講義、実技
	5. 医療情報④ (理学療法評価の流れ等)	1,2	講義
	6. 医療面接① (基礎、演習)	1,3	講義、演習
	7. 医療情報に関する文献検索	1,3	講義、演習
	8. バイタルサイン測定①(脈拍、呼吸数、血圧)	1,3	講義、実技
	9. バイタルサイン測定②(脈拍、呼吸数、血圧)	1,3	実技
	10. 上肢長・周径の測定①(体表解剖、ランドマーク等)	1,3	講義、実技
	11. 上肢長・周径の測定②(測定環境、姿勢、実技等)	1,3	実技
	12. 下肢長・周径の測定①(体表解剖、ランドマーク等)	1,3	講義、実技
	13. 下肢長・周径の測定②(測定環境、姿勢、実技等)	1,3	実技
	14. 事例紹介(事例を通じて情報の整理、過程を理解)	1,2,3	講義
	15. まとめ	1,2,3	講義

【授業の形式】 講義、実技

【教科書】 なし。資料を配付します。

【参考書】 監修・鈴木俊明:臨床理学療法評価法、エンタプライズ、¥5900

【学生の留意点など】 患者のさまざまな情報を正確に収集することは临床上重要です。理学療法士が五感を活用することで、患者から多くの情報を得ることができるため、そのスキルを向上させるよう繰り返し練習して下さい。実技では、上下肢が露出でき動きやすい服装(半袖、短パン)を準備してください。

【この授業の基礎となる科目】 理学療法概論Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 理学療法研究法、理学療法評価学

【成績評価】 筆記試験(60%)、実技試験(40%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は、臨床経験のある和島が担当し、その実務経験を授業内容の講義や実技にいかした授業としている。

基礎分野	バイオメカニクス	福田 崇	前期 PT	2単位 30h
------	----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

身体の運動について、基礎となる力学的な考え方を身につける。

【目標行動(SBO)】

1. 力の合成・分解を学び、問題を解けるようになる。
2. 身体におけるテコの考え方を学び、問題を解けるようになる。
3. 身体における重心の考え方も学び、問題を解けるようになる。
4. 身体動作における重心の速度と加速度が説明できる。
5. 身体動作における床反力と床反力作用点を説明できる。
6. 身体動作における関節モーメントを説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 力の合成と分解1	1	講義・演習
	2. 力の合成と分解2	1	講義・演習
	3. 力の合成と分解3	1	講義・演習
	4. 生体におけるテコ1	2	講義・演習
	5. 生体におけるテコ2	2	講義・演習
	6. 生体におけるテコ3	2	講義・演習
	7. 重心の求め方1	3	講義・演習
	8. 重心の求め方2	3	講義・演習
	9. 重心の求め方3	3	講義・演習
	10. 重心の速度・加速度1	4	講義・演習
	11. 重心の速度・加速度2	4	講義・演習
	12. 床反力と重心加速度	5	講義・演習
	13. 床反力作用点(COP)とは何か1	5	講義・演習
	14. 床反力作用点(COP)とは何か2	5	講義・演習
	15. 関節モーメントと筋活動	6	講義・演習

【授業の形式】 講義・演習

【教科書】 山本澄子, 石井慎一郎, 江原義弘著. 基礎バイオメカニクス. 第2版. 医歯薬出版. 2015. 4,212円

【参考書】 江原義弘, 山本澄子, 中川昭夫著. PT・OT・PO 身体運動の理解につなげる物理学. 南江堂. 2015. 3,024円

【学生の留意点など】 バイオメカニクスは解剖学と運動学と物理学を基礎にした科目です。同時進行で学ぶ解剖学と運動学は補足説明をしながら物理学を身体運動に適用していくことを学びます。計算もたくさんできますが、問題を繰り返し解くことで解けるようになります。一步一步積み上げましょう。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学・生理学・運動学

【この授業を基礎とした科目】 運動学演習・臨床運動学

【成績評価】 期末試験 100%

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	理学療法研究法	沼尾 拓	前期 PT	1単位 30h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

学院での学習を効率的、効果的に進め、理学療法研究を概観できるようになるために、アカデミックスキルに習熟し、理学療法研究の意義を学んで、科学的な思考過程を身に付ける。

【目標行動(SBO)】

1. アカデミックスキルとは何かを列記することができる。
2. アカデミックスキルを使うことができる。
3. 理学療法研究の意義・医療倫理の重要性について説明することができる。
4. 基本的な実験からデータを収集し、整理して、レポートを作成できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	オリエンテーション/アカデミックスキルとは何か/ノートの取り方	1,2	講義
2.	リーディングの基本スキル	2	演習
3.	学院リソース探検	2	演習
4.	Web検索	2	演習
5.	ワードの使い方	2	演習
6.	エクセルの使い方	2	演習
7.	理学療法研究の意義と現状・医療倫理	3	講義
8.	ライティングの基本	4	演習
9.	統計学①	4	講義
10.	統計学②	4	演習
11.	論文/レポートの書き方	4	講義
12.	実験	4	演習
13.	実験	4	演習
14.	実験	4	演習
15.	発表会	4	演習

【授業の形式】 講義・演習

【教科書】教科書は使用しません。テキストを配布します。

【参考書】学習技術研究会編:『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップアップ第3版』. くろしお出版2013. ¥1,944
 河野哲也:『レポート・論文の書き方入門 第3版』. 慶応義塾大学出版会2014. ¥1,080
 砂原茂一:『臨床医学序説 方法論と倫理』. 医学書院1988.
 内山・島田編:『標準理学療法学 専門分野 理学療法研究法第3版』. 医学書院2013. ¥5,076

【学生の留意点など】本学院で学ぶために必要なアカデミックスキルを身につけながら理学療法研究法を学びます。身近なテーマについて基本的な実験をグループで実施して、発表そしてレポートにまとめることが目標です。

【この授業の基礎となる科目】 理学療法概論Ⅰ, 医療情報学

【この授業を基礎とした科目】 運動学演習, 理学療法研究法演習

【成績評価】 課題:40%, 実験とその発表:20%, 実験レポート:40%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

専門基礎	解剖学 I a	川上 速人	前期 PT	2単位 60h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、骨学、関節靱帯学、筋学について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 全身の骨の種類と構造、発生と成長について説明できる。
2. 全身の関節の構造と種類について説明できる。
3. 筋の分類と作用、補助装置、上肢の筋について説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号
---	--------------	-----------

1. 解剖学総論 解剖学の概要、解剖学用語
2. 骨学総論 骨の種類と構造、骨の発生と成長
3. 骨学各論 体幹の骨格(脊柱)
4. 骨学各論 体幹の骨格(胸郭)
5. 骨学各論 上肢の骨格
6. 骨学各論 下肢の骨格
7. 骨学各論 頭蓋の骨格
8. 骨学各論 復習
9. 関節靱帯学総論 関節の一般構造と種類
10. 関節靱帯学各論 体幹、上肢の関節
11. 関節靱帯学各論 下肢の関節
12. 筋学総論 筋の分類と作用、筋の補助装置
13. 筋学各論 頭頸部の筋
14. 筋学各論 上肢帯の筋
15. 筋学各論 上肢の筋

【授業の形式】 講義

【教科書】 平田幸男訳:『解剖学アトラス』第10版. 文光堂. 2012. ¥10,000.

【参考書】 渡辺正仁 監:『PT・OT・STのための解剖学』. 廣川書店. 2013. ¥5,800. [準教科書扱い]
横地千仞:『カラーアトラス 人体—解剖と機能』. 医学書院. 2013. ¥5,400.

【学生の留意点など】 骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学 理学療法評価学

【成績評価】 前期:中間試験(50%) 期末試験(50%)、後期:中間試験(50%) 期末試験(50%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	解剖学 I b	川上 速人	後期 PT	2単位 60h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、筋学、内臓学について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 体幹, 下肢の筋について説明できる。
2. 内臓全般(消化器, 循環器, 呼吸器, 泌尿器, 生殖器, 感覚器)の構造と配置について説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
16.	筋学各論 体幹筋		
17.	筋学各論 下肢帯の筋		
18.	筋学各論 下肢の筋		
19.	内臓学総論 内臓の一般的構造と体内における配置		
20.	内臓学各論 消化器系		
21.	内臓学各論 消化器付属腺		
22.	内臓学各論 循環器系(心臓と血管)		
23.	内臓学各論 循環器系(リンパ系)		
24.	内臓学各論 呼吸器系		
25.	内臓学各論 内分泌系		
26.	内臓学各論 感覚器系(眼, 耳)		
27.	内臓学各論 感覚器系(皮膚, 味覚, 嗅覚)		
28.	内臓学各論 泌尿器系, 男性生殖器		
29.	内臓学各論 女性生殖器		
30.	内臓学各論 発生学		

【授業の形式】 講義

【教科書】 平田幸男訳:『解剖学アトラス』第10版. 文光堂. 2012. ¥10,000.

【参考書】 渡辺正仁 監:『PT・OT・STのための解剖学』. 廣川書店. 2013. ¥5,800.[準教科書扱い]
横地千仞:『カラーアトラス 人体—解剖と機能』. 医学書院. 2013. ¥5,400.

【学生の留意点など】 骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学 理学療法評価学

【成績評価】 前期:中間試験(50%) 期末試験(50%)、後期:中間試験(50%) 期末試験(50%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	解剖学Ⅱ	高見 茂	通年 PT	3単位 60h
------	------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、神経系、脈管系について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 神経系についての解剖学用語を説明できる。
2. 中枢神経系の基本構造と部位名を機能と関連付けて説明できる。
3. 中枢神経系の主な伝導路について、その線維連絡と機能の概要を説明できる。
4. 脳神経と脊髄神経を列挙し、走行経路と神経支配を説明できる。
5. 脈管系についての解剖学用語を説明できる。
6. 心臓の基本構造と機能の概要について説明できる。
7. 全身の動脈と静脈の走行と血液供給、およびリンパ管の走行の概要を説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	神経系序説 脳の発生と構成、神経細胞、シナプス、ニューロン系、神経線維	1-4	
2.	神経系の基本要素 ニューログリア、血管、中枢神経と末梢神経、脳室系	1-4	
3.	脊髄 外観と内部構造、脊髄と脊髄神経	1-4	
4.	脊髄神経と脳神経 筋支配と皮膚支配	1-4	
5.	脳幹と脳神経 概説、脳神経核、延髄、橋、脳神経(V、Ⅶ～ⅩⅡ)	1-4	
6.	脳幹と脳神経 副交感神経、中脳、眼筋の支配神経(脳神経Ⅲ、Ⅳ、Ⅵ)	1-4	
7.	脳幹と脳神経 長い伝導路、網様体、脳幹の組織化学	1-4	
8.	小脳 構造、機能による区分、伝導路	1-4	
9.	間脳 前脳の発生、構造、視床下部、背側視床、腹側視床、下垂体	1-4	
10.	終脳 概説、終脳の断面、古皮質と扁桃核、原皮質	1-4	
11.	終脳 線条体、島、新皮質、撮像法	1-4	
12.	脳の血管系と脳脊髄液系 脳の血管系、脳脊髄液系、髄膜	1-4	
13.	植物神経系 概説、交感神経幹、植物神経の末梢	1-4	
14.	機能系 脳の機能、運動系	1-4	
15.	機能系 感覚系、辺縁系	1-4	
16.	心臓－循環器系概論 血液循環とリンパ管、胎生期の血液循環、血液循環の切り替え	5-7	
17.	心臓 外形、内腔、骨格、心臓壁の層、組織学と微細構造	5-7	
18.	心臓 弁、栄養血管、刺激伝導系、神経支配、心嚢	5-7	
19.	心臓 働き 心臓の位置と境界、X線解剖、聴診、断面解剖、心エコー断面画像、心臓の	5-7	
20.	動脈系 大動脈、頸部および頭部の動脈	5-7	
21.	動脈系 肩部および上肢の動脈	5-7	
22.	動脈系 骨盤および下肢の動脈	5-7	
23.	動脈系 下腿および足の動脈	5-7	
24.	静脈系 大静脈系と奇静脈系	5-7	
25.	静脈系 上大静脈の還流領域	5-7	
26.	静脈系 下大静脈の還流領域	5-7	
27.	特徴的な血管系 脳に分布する動脈系、腎臓、肝臓、下垂体門脈系、腸間膜	5-7	
28.	局所解剖学からみた血管 頭頸部、上肢、体幹、下肢	5-7	
29.	リンパ系 リンパ管とリンパ節、リンパ循環	5-7	
30.	体表からみた血管 血管の触察方法と神経との関係	5-7	

2019年度 昼間部 1学年

【授業の形式】 講義

【教科書】 W.Platzer, H.Fritsh, W.Kuhnel, W.Kahle, M.Frotscher 著、平田幸男 訳:『解剖学アトラス』第10版、文光堂、2012、¥10,000.

【参考書】 ・井上貴央 監訳、『カラー人体解剖学—構造と機能:ミクロからマクロまで』、西村書店、2003、¥8,424
編集 野村巖、『標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第3版』、医学書院、2010、¥6,300 ・野村巖 編著、『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学』、医学書院、¥6,000 ・P.W.Tank, T.R.Gest 著、佐藤達夫 訳、『あたらしい解剖学アトラス』、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2009、¥7,000

【学生の留意点など】 学名(和名)を正確に書けること. 脳などの三次元(立体)的構造を把握すること.

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学 理学療法評価学

【成績評価】 前期:中間試験、期末試験 後期:中間試験、期末試験(中間試験の得点は一定割合に換算し、期末試験得点に加算する)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	生理学 I	入江 駿	通年 PT	3単位 60h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

神経筋活動および感覚機能の点からヒトの生命機能を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 神経筋機能について電気特性と物質特性から説明できる。
2. 感覚と運動の相互作用について末梢神経特性と中枢神経特性から説明できる。
3. 生理学実習結果について神経生理学的視点から説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 生理学概論、神経生理学概論	1	
	2. ニューロンの生理学(ニューロンの構成と機能、興奮伝達、伝達の基礎)	1	
	3. 静止膜電位(静止膜電位の成因、細胞内外のイオン濃度)	1	
	4. 活動電位と不応期(活動電位の発生に伴うイオンチャンネルのコンダクタンスの変化)	1	
	5. シナプスの生理学(シナプスの形状、機能、興奮伝達のメカニズム、神経回路概論)	1	
	6. 末梢神経系(運動、感覚、自律神経)	1	
	7. 予備日	1	
	8. 筋の生理学(1)(収縮原理、興奮収縮連関、長さ張力関係)	1	
	9. 筋の生理学(2)(収縮力の調節、運動単位、筋電図、骨格筋のタイプ)	1	
	10. 中枢神経 運動系(1)(脊髄の運動機能)	1	
	11. 中枢神経 運動系(2)(錐体路、錐体外路、運動野)	1	
	12. 中枢神経 運動系(3)(大脳基底核、小脳、眼球運動)	1	
	13. 実習(1)(随意筋電図)	1,2	
	14. 実習(2)(誘発筋電図)	1,2,3	
	15. 授業評価	1,2,3	
	16. 医学倫理、生命倫理		
	17. 感覚生理学総論(感覚系神経システムの理解)	2	
	18. 体性感覚(皮膚感覚、固有感覚)	2	
	19. 痛覚(侵害受容器の構造と機能)	1,2	
	20. 視覚(眼球、網膜、一次視覚野、工事視覚野)	1,2	
	21. 実習(3)(視野測定)	1,2	
	22. 実習(4)(色覚、色盲)	1,2	
	23. 聴覚と平衡感覚(聴覚、前庭系の構造と機能、前庭動眼反射)	1,2	
	24. 味覚、嗅覚(味覚系、満腹、摂食中枢、嚥下)	1,2	
	25. 内臓感覚(特殊な感覚)	1,2	
	26. 疲労、運動と体力	1,2	
	27. 大脳皮質高次機能(連合野、運動前野、補足運動野)	1,2,3	
	28. 認知機能、認知症の理解	1,2,3	
	29. 覚醒、睡眠(概日リズム、情動系など)	1,2,3	
	30. 授業評価	1,2,3	

【授業の形式】講義

【教科書】やさしい生理学 改訂第7版、南江堂

【参考書】適宜紹介

【学生の留意点など】・リハビリの基礎となる重要な科目です。わからないままでは、その後の疾患の理解ができませんので、質問に来てください。・実習には全て参加してください(やむを得ず欠席した場合は、追加レポートがあります。また、実習レポートもすべて提出してください)。

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】運動学、理学療法評価学、作業療法評価学

【成績評価】前期(筆記試験70%、実習レポート30%)、後期(筆記試験80%、実習レポート20%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	生理学Ⅱ	広瀬 智道	通年 PT	3単位 60h
------	------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、人の各種臓器の機能、役割について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 体液, 血液の役割とその機序を説明できる。
2. 心臓, 循環, 呼吸の役割とその機序を説明できる。
3. 排泄, 代謝, 体温の役割とその機序を説明できる。
4. 消化, 吸収, 内分泌の役割とその機序を説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	総論 生命現象の本態, ホメオスタシス		
2.	体液 水分の生理機能, 体液の役割		
3.	〃 体液の組成, ミネラルの働き, カルシウムの吸収と代謝		
4.	〃 体液量の調節, 脱水, 浮腫		
5.	血液 血液の生理作用, 血液型, ABO式, Rh因子		
6.	〃 赤血球, ヘモグロビン, 赤血球の新生と破壊		
7.	〃 白血球, 血小板, 血漿の作用		
8.	〃 血液凝固, 輸血, 交叉試験		
9.	心臓 心臓の機能, 心拍数, 拍出量 7月下旬(土)に生理学実習の予定		
10.	〃 心筋細胞の膜電位, 心筋収縮の特徴		
11.	〃 心臓の律動的機能, スタニウス結紮		
12.	〃 心臓の神経支配, 心臓の仕事と効率		
13.	〃 心電図理論, 心音図		
14.	循環 血流のレオロジー, 特殊領域の循環		
15.	〃 血圧測定, 体位変換, 重力の影響		
16.	呼吸 呼吸運動, 排気量分画, 換気量		
17.	〃 ガス交換, ガス分析, O ₂ ・CO ₂ の運搬		
18.	〃 呼吸運動の調節, 呼吸中枢		
19.	〃 肺のコンプライアンス, 酸・アルカリ平衡		
20.	排泄 腎臓の機能, 腎臓の構造		
21.	〃 尿の生成, 尿の組成, 腎単位		
22.	〃 腎クリアランス, 腎血漿流量, 糸球体濾過量		
23.	代謝 ATPの機能, TCA回路, 基礎代謝率		
24.	体温 生理的体温変動の機序, 体温調節中枢		
25.	消化 口腔内消化, 咀嚼・嚥下, 唾液による消化		
26.	〃 胃内消化, 胃液の分泌調節, HClの分泌機序		
27.	吸収 小腸内消化吸收, 膵液の分泌, 胆汁の分泌		
28.	〃 大腸内消化吸收, 大腸の運動, 排便反射		
29.	内分泌 ホルモン作用機序, ホルモン分泌調整		
30.	〃 内分泌器官, 血糖値の調節, ストレスに対する反応		

2019年度 昼間部 1学年

【授業の形式】 講義

【教科書】 佐藤昭夫他:『人体の構造と機能. 医歯薬出版』. 2015. ¥2800+税

【参考書】 今話題の最新医学や健康情報について, 生理学的知識で精査してみましょう. 臨床医学と生理学をより身近なものとして理解を深めることができます.

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 運動学, 理学療法評価学, 作業療法評価学

【成績評価】 前期:中間試験(50%) 期末試験(50%)、後期:中間試験(50%) 期末試験(50%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	運動学 I	小宮山 一樹・佐々木 亮平	通年 PT	3単位 60h
------	-------	---------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法治療技術論への学習の基礎とするために、理学療法士に最低限必要な上肢、体幹の運動学を学ぶ。また主要な骨指標や筋について触知できるようになる。

【目標行動(SBO)】

1. 解剖・運動学的用語を使用して身体運動が説明できる。
2. 他者に触診を実施する場合のオリエンテーションが表現できる。
3. 体幹の関節構造と運動を説明できる。
4. 肩関節の構造と運動を説明できる。
5. 肘関節の構造と運動を説明できる。
6. 手関節の構造と運動を説明できる。
7. 体幹・上肢の主要な骨指標を触診できる。
8. 体幹・上肢の主要な筋を触診できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. コースオリエンテーション・運動学とは	1	講義と演習(以下同じ)
	2. 身体区分・運動面と運動軸	1	p20-
	3. 運動と動作・運動方向の表現①	1	
	4. 運動と動作・運動方向の表現②	1	
	5. 姿勢(体位と構え)①	1	p355-
	6. 姿勢(体位と構え)②	1	p355-
	7. 骨学総論①	1	p60-
	8. 骨学総論②	1	p60-
	9. 筋学総論①	3-7	p72-
	10. 筋学総論②	3-6,8	p72-
	11. 脊柱総論①	3	p271-
	12. 脊柱総論②	3	p271-
	13. 頸部の機能解剖	3,7	p275-
	14. 頸部の機能解剖と骨の触診	3,7	p275-
	15. 頸部の機能解剖と筋の触診	3,8	p275-
	16. 胸部の機能解剖	3	p283-
	17. 胸部の機能解剖と骨・筋の触診	3,7,8	p283-
	18. 呼吸運動①	3	p284-
	19. 呼吸運動②	3	p284-
	20. 腰部の機能解剖	3	p289-
	21. 腰部の機能解剖と骨・筋の触診	3,7,8	p289-
	22. 肩甲帯の機能解剖	3	p216-
	23. 肩甲帯の機能解剖と骨の触診	3,7	p216-
	24. 肩関節の機能解剖	4	p216-
	25. 肩関節の機能解剖と骨の触診	4,7	p216-
	26. 肩関節の機能解剖と筋の触診	4,8	p216-
	27. 肘関節・前腕の機能解剖	5	p224-
	28. 肘関節・前腕の機能解剖と骨・筋の触診	5,7,8	p224-
	29. 肘関節・前腕の機能解剖と骨・筋の触診	6,7	p229-
	30. 手指の機能解剖と骨・筋の触診	6,8	p229-

2019年度 昼間部 1学年

【授業の形式】 講義と演習

【教科書】 中村隆一他:『基礎運動学 第6版補訂』. 医歯薬出版 ¥6,800.+税
平田幸男訳:『解剖学アトラス』. 文光堂 ¥10,000.+税

【参考書】 嶋田智明他訳:『筋骨格系のキネシオロジー』. 医歯薬出版 ¥12,600.-
塩田悦二訳:『カパンジー機能解剖学Ⅱ 下肢』. 医歯薬出版 ¥8,610.-

【学生の留意点など】 ・解剖学(特に骨や筋)に基づいた専門的内容が多くなる. 各回解剖学の復習をして望むこと. 毎回の復習を欠かさず行うこと.
・教材室にある骨標本・筋模型を利用して, 具体的に理解することにつとめること.
・毎回教材備品を準備すること(週番の方, お願いします).
・触診の実技の際は, 身体の表面に触れることができるように, Tシャツ・短パンで授業を行えるようにする.

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学 各障害理学療法学

【成績評価】 前期:中間試験(50%) 期末試験(50%) 後期:中間試験(40%) 期末試験(筆記40%・実技20%) 前期、後期のそれぞれの試験において合計点数が60%に満たないものは再試験を課す。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を機能解剖の知識獲得のため、また触診技術獲得のために活かした授業としている。

専門基礎	運動学Ⅱ	帯刀 隆之	後期 PT	2単位 30h
------	------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法評価や治療技術論への学習の基礎とするために、理学療法士に最低限必要な下部体幹から足部までの運動学を学ぶ。また主要な骨指標について触知を体験する。

【目標行動(SBO)】

1. 骨盤の構造と運動を説明することができる
2. 股・膝・足関節の構造と運動を説明することができる
3. 関節に係る力と安定化機構を説明することができる
4. 関節の可動域を決定する因子を説明することができる
5. 身体運動の運動連鎖メカニズムの説明を記述できる
6. 主要な*骨指標を触知できる (*主要項目は別リストに示す)

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 運動学概論再覧／骨盤の運動方向表現	1	演習, 講義
	2. 骨盤の解剖学的理解と骨盤傾斜角の評価	1	分離骨標本の観察
	3. 骨盤の運動と姿勢との関係	1.5	講義
	4. 大腿骨の解剖学的理解と股関節への組合せ	2	分離骨標本の観察
	5. 股関節の構造と機能／作用筋と靭帯機構	2.3.4	講義
	6. 関節合力とテコ／股関節合力の計算	3	講義・演習
	7. 膝関節の解剖学的理解と運動	2.4	分離骨標本の観察
	8. 膝関節の安定化機構とバイオメカニクス	2.3.4	講義
	9. 足関節足部の解剖学的理解と運動	2.4	講義・演習
	10. 足関節足部に特有な関節軸その運動／足アーチの機能	2.4	講義・演習
	11. 骨指標の触察と運動の観察1 (骨盤・股関節)	2-6	演習・実技
	12. 骨指標の触察と運動の観察2 (大腿部のレリーフ・膝関節)	2-6	演習・実技
	13. 骨指標の触察と運動の観察3 (膝関節安定性テスト・足関節足部)	2-6	演習・実技
	14. 運動連鎖と関節可動域決定因1 (トーマステストを題材とした構造的理解)	4.5	講義・演習
	15. 運動連鎖と関節可動域決定因2 (同題材による記述的理解)	4.5	講義・演習

【授業の形式】 講義 (他に演習・身体運動観察があります)

【教科書】 中村隆一他:『基礎運動学 第6版補訂』. 医歯薬出版 2012. ¥6,800.+税
平田幸男訳:『解剖学アトラス』. 文光堂 2012. ¥10,000.+税

【参考書】 嶋田智明他訳:『筋骨格系のキネシオロジー』. 医歯薬出版 2012. ¥12,600.-
塩田悦二訳:『カパンジー機能解剖学Ⅱ 下肢』. 医歯薬出版 2010. ¥8,610.-

【学生の留意点など】 基幹科目の一つです。予習・復習を十分にしながら確実に理解を進めてください。また、文章作成力や表現力も養ってください。そのために課題(ワークシート)を通じて、対面による添削学習機会を有効活用してください
※ワークシートの再提出は、課題提出後2週間以内を得点締め切りとします

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学 各障害理学療法学

【成績評価】 期末試験(70%), 課題(ワークシート・筋解剖テスト:30%※(締め切りあり))

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価や治療技術論への学習の基礎となるような運動学事項の理解」に活かした授業としている

専門基礎	病理学概論	早瀬 ヨネ子	後期 PT	2単位 30h
------	-------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

様々な疾患の特徴や原因について科学的な理解を深めるために、最低限必要な基本的医学用語と医学知識を身につけ、主な疾患の病態を組織像とともに学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 外因の生物学的要因について説明でき、代表的な疾患を列挙できる
2. 退行・進行性病変について説明でき、各諸型を列挙できる
3. 免疫に関与する因子・細胞や免疫がもたらす傷害・疾患、代表的な感染症の種類と特徴を列挙できる
4. 代表的な腫瘍名と発生母組織との関係と悪性腫瘍の進展形式を理解できる
5. 脳出血・脳梗塞・くも膜下出血の原因と発症機序を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 病 因 論 外因; 病因の分類, とくに生物学的病原体 / 内因; 遺伝子	1	
	2. 循環障害 心臓及び脳の循環障害 動脈硬化症	5	
	3. 退行性病変 萎縮, 変性, 壊死, アポトーシス	2	
	4. 進行性病変; 肥大, 再生, 化生, 増殖, 移植	2	
	5. 炎症・免疫炎症の定義, 免疫機構について	3	
	6. 腫 瘍 がん(癌腫と肉腫)	4	
	7. 腫 瘍 発癌(癌遺伝子, 癌抑制遺伝子)	4	
	8. まとめ	1-5	

【授業の形式】 講義

【教 科 書】 ① プリント配布 ② 小冊子のコピー

【参 考 書】 特に指定しない。

【学生の留意点など】 医学用語は難解なことがあるが、余りナーヴアスにならないこと。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学

【この授業を基礎とした科目】 神経内科学 整形外科学 臨床医学

【成績評価】 筆記試験

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	精神医学	高塩 理	後期 PT	2単位 30h
------	------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

精神疾患のある対象者を的確に理解し、理学療法へ展開するために、主な精神障害および疾病の症状、それに対する一般的な治療について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 精神医学の定義と関連領域について説明できる
2. 精神医学の対象である精神障害および精神障害者に関する概念について説明できる
3. 精神障害の成因と分類について説明できる
4. 精神障害の際に出現する精神症状について説明できる
5. 主な疾患についての診断と評価、治療について説明できる
6. 精神医療・福祉の在り方について述べることができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号
1. 総 論	精神医学概論	1,2
2. 各 論	精神医療の歴史、精神症状と状態像	2,4
3. "	統合失調症、気分障害	3,4,5
4. "	神経症性障害、摂食障害・睡眠障害、人格障害	3,4,5
5. "	脳器質性精神障害(認知症を含む)・症状性精神障害、てんかん	3,4,5
6. "	精神作用物質による精神障害(アルコール・薬物依存) 児童期・成年期の精神医学	3,4,5
7. "	心身医学とリエゾン精神医学、精神科における検査と治療	3,4,5
8. "	リハビリテーション、精神保健と福祉に関する法律	1,2,6

【授業の形式】 講義

【教科書】 上野武治編『標準理学療法学・作業療法学 精神医学』. 医学書院. 2015. ¥4,400+税.
講義関連の配布プリント

【参考書】 上記教科書の終りに参考文献が紹介されている。
文献の検索は、図書館や専門雑誌を利用する方法もある。
特にインターネット便利であるが、慎重かつ適切な選択ができるようにしたい。

【学生の留意点など】 将来、理学療法士として働く時、臨床心理学や精神医学の知識も必要である。
講義の時間数は限られているため、集中して授業に臨み、自宅では復習をしてもらいたい。

【この授業の基礎となる科目】 臨床心理学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学

【成績評価】 期末試験(筆記試験:マークシート70%・記述 30%)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	リハビリテーション概論	関 勝・山田 他	前期 PT	2単位 30h
------	-------------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

利用者の充実した生活を創造するセラピストになるために、必要となる基礎的な知識と考え方を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. リハビリテーション歴史と理念を説明できる
2. リハビリテーションチームにおけるPTの役割を説明できる
3. 利用者の生活の充実のために必要なアプローチを挙げられる
4. 多職種と連携するときの注意点を挙げられる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. リハビリテーションの歴史と理念, 定義・対称・医療と介護の区分	1	〔関 勝〕
	2. リハビリテーションチーム 専門職の役割とチームアプローチ	4	〔関 勝〕
	3. 医学的リハビリテーションⅠ ― リハビリテーションにおける評価とその意義	2	〔関 勝〕
	4. 医学的リハビリテーションⅡ ― 機能予後と短期・長期ゴール設定	2	〔関 勝〕
	5. 医学的リハビリテーションⅢ ― 病期別リハビリテーションと治療の基本概念	2	〔関 勝〕
	6. 医学的リハビリテーションⅣ―運動療法・運動学習・義肢装具 福祉機器など	2.4	〔関 勝〕
	7. リハビリテーションの理念と社会医学技術学院	3	〔山田千鶴子〕
	8. 利用者中心のリハビリテーションとは	3	〔山田千鶴子〕
	9. インフォームドコンセントとハラスメント	3,4	〔小島 肇〕
	10. リハビリテーションチームとチームワーク	4	山田千鶴子
	11. 利用者の生活を考える 障害体験1	3	〔山田千鶴子〕
	12. 利用者の生活を考える 障害体験2	3	〔山田千鶴子〕
	13. ケーススタディ1(ケースにおけるPT,OTの役割)	3,4	〔山田・中村伴子〕
	14. ケーススタディ2(多職種連携の実際)	2.4	〔山田・川股他〕
	15. セラピストの役割	2.4	〔鶴見隆正〕

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 特に指定しない

【参考書】

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習 リハビリテーション医学

【成績評価】 期末試験 50% 課題(レポートとミニッツペーパー) 50%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における医師・理学療法士・作業療法士としての実務経験を、専門分野の観点から授業内容に生かした科目としている。

専門基礎	理学療法概論Ⅰ	遠藤 敏	前期 PT	2単位 30h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法の概要や評価・治療という一連の流れを理解し、
医療従事者として必要な知識および職業倫理を身につける。

【目標行動(SBO)】

1. 理学療法とは何か、その概要を説明することができる
2. 医療・福祉分野での理学療法士の役割を理解し、説明することができる
3. 理学療法士として必要な職業倫理を述べることができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	オリエンテーション 【授業オリエンテーション】	1	
2.	医療・福祉現場について 【人間関係構築 専門職種について】	1 2	
3.	理学療法と社医学の歴史 【歴史的背景から学ぶこと】	1 2	
4.	理学療法士の養成 【カリキュラムについて】	1 2	
5.	理学療法士に必要な能力 【コミュニケーション能力 問題解決能力】	1-3	
6.	理学療法士の役割とは 【望まれる姿 期待される役割】	1 2	
7.	医療従事者としての倫理 【説明能力 承認確認 ハラスメント】	1 3	
8.	医療におけるリスク管理 【医療事故の要因】	1 3	
9.	理学療法の流れ① 【情報収集と評価、他職種連携】	1-3	
10.	理学療法の流れ② 【運動療法、物理療法、義肢装具療法、ADL】	1-3	
11.	理学療法士が扱う機器 【検査機器 治療機器 補助機器】	1-3	
12.	理学療法士が関わる分野① 【整形外科系運動器疾患】	1-3	
13.	理学療法士が関わる分野② 【脳神経、神経内科系疾患】	1-3	
14.	理学療法士が関わる分野③ 【地域での関わり がん・終末期】	1-3	
15.	臨床見学オリエンテーション【医療現場での学び方】	1-3	

【授業の形式】 講義とグループワーク

【教科書】 なし 必要に応じて授業中にプリントを配布する

【参考書】 奈良 勲編『理学療法概論』第6版、医歯薬出版、2014、¥6,372
嶋田 智明編『概説理学療法』文光堂、2007、¥5,400

【学生の留意点など】 理学療法とはいかなる専門職なのか、理学療法の題材を通して考えて頂きます。
また、グループワークでの積極的な参加を期待します。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論

【この授業を基礎とした科目】 運動療法学概論 理学療法評価学

【成績評価】 筆記試験80%、課題20%（グループワークで提示します）

【実務経験のある教員による科目】 当科目は遠藤(理学療法士)が担当し、その実務経験を授業内容の概論に活かした授業としている

専門分野	理学療法評価学Ⅰ	藤川 明代	後期 PT	2単位 60h
------	----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

関節可動域測定・徒手筋力検査を実施するために関節可動域測定、徒手筋力検査の意義を理解・実施できる。

【目標行動(SBO)】

- それぞれの定義・目的・原則を説明できる。
- 測定を実施する際に、適切なオリエンテーションを実施できる。
- それぞれの検査における一般的な測定手順、注意点、リスク管理を説明できる。
- 関節可動域の記録方法、参考可動域、測定器具の使用方法を説明できる。
- 関節可動域測定に必要な基本軸・移動軸・ランドマークを説明でき、基本軸、移動軸に正しく角度計を当て測定できる。
- 各関節の最終域感を判別し、制限因子について分類できる。
- 測定時の代償動作の抑制が適切に行えるような肢位を取らせ、正しい固定と徒手抵抗を実施できる。
- 上下肢・体幹・下肢の徒手筋力検査において各関節運動方向での主動作筋、測定肢位が言える。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 関節可動域検査総論:意義・目的・原則	1-4	講義 1 p896-903
	2. 関節可動域測定:上肢	3-6	実技 1 p896-903
	3. 関節可動域測定:上肢・肩甲帯	3-6	実技 1 p896-903
	4. 関節可動域測定:上肢・肩甲帯	3-6	実技 1 p896-903
	5. 関節可動域測定:下肢	3-6	実技 1 p896-903
	6. 関節可動域測定:下肢	3-6	実技 1 p896-903
	7. 関節可動域測定:手指・足趾・メジャーを使用した測定	3-6	実技 1 p896-903
	8. 関節可動域と日常生活動作との関連性・関節可動域測定のまとめ	1-6	実技
	9. 徒手筋力検査総論:意義・目的・原則	1	講義 1 p62-67
	10. 徒手筋力検査:下肢	3,7,8	実技 2 p182-217
	11. 徒手筋力検査:下肢	3,7,8	実技 2 p182-217
	12. 徒手筋力検査:下肢・頸部・体幹	3,7,8	実技 2 p16-243
	13. 徒手筋力検査:上肢	3,7,8	実技 2 p65-142
	14. 徒手筋力検査:上肢	3,7,8	実技 2 p65-142
	15. 徒手筋力検査:上肢・手指・足趾	3,7,8	実技 2 p65-142

【授業の形式】 実技・講義

【教科書】 1.中村利考:『標準整形外科学』:医学書院

2.Helen J.Hislop,Jacqueline Montgomery著,津山直一 訳:『新・徒手筋力検査法 原著第9版』:協同医書出版社:
¥7500

【参考書】 青木主悦『ROMナビ』:有限会社ラウンドフラット:¥3800

【学生の留意点など】 1.解剖学・運動学の知識が前提となるので十分に復習をしてください。

2.実技は動きやすい服装(触診が可能なようにTシャツ・短パン)に着替えてください。

3.数多くの経験をするために、実技では様々な人と練習を行ってください。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 運動学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学, 理学療法評価学演習

【成績評価】 関節可動域測定50%(筆記・実技)徒手筋力検査 50%(筆記・実技)によって評価を行う。場合によっては中間試験を行うことがある。それぞれの試験において合計点数が60%に満たないものは再試験を課す。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価演習の理解に向け検査測定とその解釈」に活かした授業としている

専門分野	運動療法学概論	佐々木 亮平	後期 PT	2単位 30h
------	---------	--------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

多様な能力低下に対して適切な運動療法の計画立案ができるようになるために、生理学的、解剖学および運動学的視点から基本的な運動療法を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 関節可動域訓練について、エンドフィールによる制限因子の特定と、適切な可動域訓練の設定項目を列挙できる
2. 筋力増強訓練について、運動強度の設定と適切な筋力増強訓練の設定項目を列挙できる
3. 持久力向上について、持久力の指標となる身体の生理学的反応を理解し、適切な持久力訓練の設定項目を列挙できる
4. 協調性運動障害について、協調性運動を成立させるための解剖学的部位と協調性運動が説明でき、協調性運動障害を列挙できる
5. バランス能力低下について、バランス制御に関わる反射・反応と身体機能を列挙できる
6. 運動学習について、基本的な運動学習に関する用語を説明できる
7. 運動療法を実施する際のリスクについて、リハビリ中止基準を列挙でき、リスクの管理について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	運動療法学 総論		
	1. 運動療法とはなにか	1-7	講義
	関節可動域制限に対する運動療法		
	2. 可動域が低下する理由、エンドフィールと関節可動域	1	講義、実技
	3. 関節可動域訓練の理論と方法	1	講義、実技
	4. 関節可動域訓練の実際	1	講義、実技、小テスト
	筋力低下に対する運動療法		
	5. 筋力が低下する理由、筋力向上の生理学的仕組み	2	講義
	6. 遠心性収縮と求心性収縮の理解とRM(Repitition Maximun)の理解	2	講義、実技
	7. 筋力増強訓練の実際	2	講義、実技、小テスト
	持久力低下に対する運動療法		
	8. 持久力の定義と運動のエネルギー源	3	講義
	9. 持久的運動に対する身体の生理学的応答	3	講義、実技
	10. 持久力低下に対する運動療法設定のための運動強度の理解	3	講義、実技、小テスト
	協調性運動障害に対する運動療法		
	11. 協調性運動障害に対する理解と解剖学的要因、運動療法	4	講義、実技
	バランス能力低下に対する運動療法		
	12. バランス制御の反射階層理論、システム理論の理解	5	講義、実技
	運動学習		
	13. 運動学習の基本的理論の理解	6	講義、グループワーク
	リスク管理		
	14. 運動療法とリスク、リスクの回避	7	講義
	運動療法の実際		
	15. ケーススタディー	1-6	グループワーク

2019年度 昼間部 1学年

【授業の形式】 講義、実技、グループワーク

【教科書】 文光堂（(運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版)） 編集:市橋則明 ¥7.560

【参考書】 朝倉書店（(運動生理学20講 第2版)） 勝田茂著 ¥3.456
標準理学療法学 運動療法学 総論 第4版 ¥5.040

医学書院

【学生の留意点など】 1学年で学ぶ治療学の1つになります。

治療学の基礎となる解剖学、生理学、運動学、バイオメカニクス。何を治療しなくてはならないのか評価する医療情報学や評価学Ⅰとの知識をつなぎ合わせながら進めていきたいと思います。各科目の復習を十分に行ってください。

【この授業の基礎となる科目】 生理学、運動学、解剖学、評価学、医療情報学、バイオメカニクス

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学

【成績評価】 小テスト 30% 筆記試験 70%

小テスト 関節可動域制限に対する運動療法、筋力低下に対する運動療法、持久力低下に対する運動療法に関して小テストを行う。

再試要件 小テスト(30点)、期末試験(70点)の合計100点のうち合計60点未満の場合は再試験とする。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を治療知識獲得のため、臨床的な治療方法獲得のため、活かした授業としている。

専門分野	発達障害理学療法学Ⅰ	中山 雅和	後期 PT	2単位 30h
------	------------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達障害を理解し、発達障害の予防と治療の方法を考えられるようになるために、新生児が正常に発達していく過程を理解する

【目標行動(SBO)】

1. 分娩による胎児(新生児)の環境変化を説明できる
2. 14ヶ月までの発達のマイルストーンを列挙できる
3. 運動発達には感覚系, 神経系, 精神機能が関わる事を説明できる
4. 2,3を基に発達障害の予防と治療の方法が挙げられる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. コースオリエンテーション 運動発達を学ぶ理由	4	
	2. 胎児期の発達と新生児が遭遇する環境の変化	1	
	3. 反射の統合・出現と正常発達・運動機能の発達	3	
	4. 運動発達と認知機能の発達	3	
	5. 運動発達と情緒・社会的機能の発達	3	
	6. 摂食・嚥下機能の発達	3	
	7. 出生から2ヶ月までの発達	2. 3	
	8. 3ヶ月から4ヶ月までの発達	2. 3	
	9. 5ヶ月から6ヶ月までの発達	2. 3	
	10. 7ヶ月から8ヶ月までの発達	2. 3	
	11. 9ヶ月から10ヶ月の発達	2. 3	
	12. 11ヶ月から12ヶ月の発達	2. 3	
	13. 12ヶ月以降の発達 発達とあそび	2. 4	
	14. 運動発達の障害	1.3.4	
	15. 障害の予防と治療の可能性・まとめ	1-4	

【授業の形式】 講義

【教科書】 特になし

【参考書】 毎回の授業時に紹介します

【学生の留意点など】 グループディスカッションや こどもの動きの体験など, 好奇心を持って参加してください

【この授業の基礎となる科目】 運動学 人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 発達障害理学療法学Ⅱ

【成績評価】 課題20%, 期末試験80%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	物理療法学Ⅰ	長屋 説	後期 PT	2単位 30h
------	--------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者に対して、より各種物理療法を的確に実施できるようになるために、生理的作用とその効果、および実施する上での禁忌・注意事項を理解し、健康人に対して安全に実施する。

【目標行動(SBO)】

1. 物理療法を実施する上での適応・禁忌・注意事項を説明できる。
2. 各種物理的刺激による生理的作用と効果について説明できる。
3. 適応となる症状を理解し、どのように作用するかを説明できる。
4. 物理療法(理学療法)実施する上での一連の流れを説明できる。
5. 各種物理療法の実施手順・方法を理解し、実施できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. コースオリエンテーション(物理療法学の定義・授業構成)	1	講義
	2. 物理療法の適応と禁忌 ～物理療法はどんな時に使用するのか～	1.2	講義
	3. 疼痛の定義と意義 ～疼痛の評価～	2.3	講義
	4. 急性炎症および組織の修復過程 ～問診方法と炎症の5徴候～	2.3	講義
	5. 寒冷療法(アイスパック・氷嚢・クリッカー)の理論	3.4	講義
	6. 寒冷療法(アイスパック・氷嚢・クリッカー)の実践	4.5	実技
	7. その他の寒冷療法	1-5	講義
	8. 温熱療法(ホットパックとパラフィン)の理論	1-3	講義
	9. 温熱療法(ホットパックとパラフィン)の実践	3-5	実技
	10. 牽引療法の理論	1-3	講義
	11. 牽引療法の実践	3-5	実技
	12. マッサージ療法の理論	1-3	講義
	13. マッサージ療法の実践	3-5	実技
	14. 浮腫に対する理学療法	1-5	講義・実技
	15. 関節可動域制限に対する理学療法(CPM)	1-5	講義・実技

【授業の形式】 講義と実技が主流です。

【教科書】 細田多穂監修:『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト:改訂第2版』:南江堂:¥4500

【参考書】 Michelle H. Cameron編著,渡部一郎 訳:『EBM物理療法 原著第3版』:医歯薬出版:¥8600

【学生の留意点など】 物理療法実技は動きやすい服装で参加してください。
本講義は、2年次の物理療法Ⅱと系統立てて行われます。
寒冷療法・温熱療法実技時にはワークシート作成が授業課題となります。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学 生理学

【この授業を基礎とした科目】 物理療法学Ⅱ 理学療法評価学演習

【成績評価】 中間試験(筆記)40% 期末試験(筆記)60%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	社会福祉学	川股 典子	前期 PT	2単位 30h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

心身障害や高齢などに起因する生活上の困難に対応するために、社会福祉関連制度の知識、社会福祉のニーズやサービス等について学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 社会における福祉関連問題を説明できる
2. 高齢者福祉、障害者福祉の概要について説明できる
3. 介護保険制度の概要について説明できる
4. 社会保障制度(生活保護制度、社会保険・年金保険)の概要について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 社会福祉とは	1	
	2. 社会福祉関連法令等について	1	
	3. 社会福祉の歴史	1	
	4. 高齢者関連福祉	1	
	5. 医療福祉	1	
	6. 介護保険制度①	2,3	
	7. 介護保険制度②	2,3	
	8. 児童・女性関連福祉	2,3	
	9. 家族関連福祉	2,3	
	10. 障害者関連福祉	2,3	
	11. 社会保障制度(生活保護制度)	4	
	12. 社会保障制度(社会保険・年金制度)	4	
	13. 社会福祉援助技術①	4	
	14. 社会福祉援助技術②	4	
	15. 成年後見制度・日常生活自立支援事業	4	

【授業の形式】 講義

【教科書】 指定なし

【参考書】 社会福祉の動向編集委員会:『社会福祉の動向』. 中央法規出版. (最新版). ¥2,592.
厚生労働省:『厚生労働白書』. (最新版). ¥3,300.

【学生の留意点など】 ・授業内容進捗は、学生の関心等に応じて変更する場合があります
・授業内で個人の意見をレポートしてもらう場合があります
・時間が許す限り、関連ビデオ等を随時取り入れる予定です

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 臨床医学(老年医学) 地域理学療法論

【成績評価】 期末試験(筆記)50%, 課題レポート50%

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	神経内科学	関 勝	前期 PT	3単位 60h
------	-------	-----	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法・作業療法の治療に活かすために、リハビリテーション分野にとって必要不可欠である神経内科学(脳神経外科含む)の主要疾患・外傷と障害特性について、また疾患概念、病態、神経学的検査、診断と治療、予後等における一般的知識について習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 神経内科系疾患・外傷の病態を理解できる
2. 神経内科系疾患・外傷により生じる症状および症候の特性を理解できる
3. 神経内科系疾患・外傷の主な検査・診断法・治療法を理解できる
4. 神経内科系疾患・外傷をもつ患者の障害および予後について理解できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号
1.	脳障害に関わる病態生理その1 頭蓋内圧亢進・脳浮腫・脳ヘルニアなど	1-4
2.	脳障害に関わる病態生理その2 脳血管障害その1 意識障害・失神・脳血管障害総論など	1-4
3.	脳血管障害その2 脳梗塞系疾患など	1-4
4.	脳血管障害その3 脳梗塞系疾患、その他の神経内科系脳血管障害など	1-4
5.	脳血管障害その4 脳出血系・脳動脈瘤など	1-4
6.	脳血管障害その5 くも膜下出血・脳動脈静脈奇形・もやもや病など	1-4
7.	脳神経障害その1 脳神経障害で起こる病態と神経所見その1など	1-4
8.	脳神経障害その2 脳神経障害で起こる病態と神経所見その2など	1-4
9.	脳神経障害その3 脳神経障害で起こる病態と神経所見その3など	1-4
10.	頭部外傷その1 総論(疫学、病態生理)・頭蓋骨骨折、外傷性頭蓋内圧血腫など	1-4
11.	頭部外傷その2 引き続き外傷性頭蓋内血腫、脳挫傷とびまん性軸索損傷など	1-4
12.	水頭症、けいれんとてんかんその1 水頭症および正常圧水頭症、けいれんとてんかん性疾患など	1-4
13.	けいれんとてんかんその2 けいれんとてんかん性疾患など	1-4
14.	不随意運動、パーキンソン病・症候群と錐体外路系疾患その1 不随意運動の鑑別と錐体外路系疾患、パーキンソン病・症候群、運動調節の障害など	1-4
15.	パーキンソン病・症候群と錐体外路系疾患その2 パーキンソン病・症候群、運動調節の障害など	1-4
16.	自律神経障害 交感神経、副交感神経の病態と障害など	1-4
17.	めまい、ふらつき、失調、脊髄小脳変性症 めまい関連疾患、小脳障害を起こす病態、脊髄小脳変性症など	1-4
18.	運動ニューロン疾患、筋疾患その1 ALS・SMA・BSMA、筋疾患総論・筋ジストロフィー各論など	1-4
19.	筋疾患その2 筋強直性ジストロフィー・周期性四肢麻痺・神経筋接合部疾患他	1-4
20.	末梢神経障害その1 末梢神経障害総論・各論(GBS、DM性ニューロパチー、CM T)など	1-4
21.	自己免疫性脳疾患 免疫介在性脳神経系疾患総論・各論(SSPE、PML、多発性硬化症、NMO、ADEM)など	1-4
22.	脳腫瘍その1 脳腫瘍総論(脳腫瘍の疫学、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍、転移性脳腫瘍、症状、診断、治療の概要)など	1-4
23.	脳腫瘍その2 脳腫瘍各論(神経膠腫、髄芽腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫他)など	1-4
24.	脳腫瘍その3 脳腫瘍各論(血管芽腫、髄膜腫、聴神経腫瘍、下垂体線腫、頭蓋咽頭腫他)など	1-4
25.	先天奇形・形成異常その1 先天奇形総論・中枢神経系の発生と異常、神経管閉鎖障害など	1-4
26.	先天奇形・形成異常その2 Chiari奇形、頭蓋骨縫合早期閉鎖症、母斑症など	1-4
27.	脊髄障害 脊髄疾患、脊髄腫瘍、亜急性脊髄連合変性症、脊髄空洞症など	1-4
28.	神経感染症 中枢神経感染症総論・髄膜炎総論と各論、ウイルス性脳炎、インフルエンザ脳症、脳腫瘍、プリオン病など	1-4
29.	頭痛、認知症その1 頭痛を引き起こす病態・各論(片頭痛他)、認知症総論など	1-4
30.	認知症その2 認知症各論(アルツハイマー型・脳血管性・レビー小体型・前頭側頭型他)など	1-4

2019年度 昼間部 2学年

【授業の形式】 教科書を使用し講義を行う

【教科書】『病気がみえる vol. 7 脳・神経』、メディックメディア、¥4,212。（講義時には必ず持参すること）

【参考書】川平和美、『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野・神経内科学』、医学書院、¥6,048。 田崎義昭、斎藤佳雄、『ベッドサイドの神経の診かた』、南江堂、¥7,776。

【学生の留意点など】 講義時には必ず教科書を持参すること。また講義内容および順番は講義の進行状況により変更となることがある旨、留意されたい。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学 各障害理学療法学

【成績評価】 期末試験（筆記試験）等により評価する

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	整形外科学	下河辺 仁	前期 PT	3単位 60h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法へ展開するために、主な整形外科疾患の病態、症状、疫学、予後、評価・検査、一般的治療について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 骨、関節、筋、神経の解剖学の知識を理解できる。
2. 整形外科疾患の診断方法、検査方法を理解できる。
3. 保存的治療と手術的治療を説明できる。
4. 各疾患の発生要因を理解できる。
5. 各疾患の代表的な疾患名を列挙し、症状について説明できる。
6. 各疾患の診断方法を説明できる。
7. 各疾患の治療方法を説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 整形外科の歴史、概論(含リハビリテーション、スポーツ)	1	
	2. 整形外科基礎科学 骨、関節、筋、神経	2,3	
	3. 整形外科診断学総論、整形外科治療総論	4-7	
	4. 疾患総論Ⅰ 感染症、関節リウマチとその類縁疾患	4-7	
	5. 疾患総論Ⅱ 慢性関節疾患、四肢循環障害	4-7	
	6. 疾患総論Ⅲ 先天性疾患、代謝性疾患	4-7	
	7. 疾患総論Ⅳ 骨腫瘍・軟部腫瘍、神経疾患・筋疾患	4-7	
	8. 疾患各論Ⅰ 肩、肘、手関節および手指	4-7	
	9. 疾患各論Ⅱ 脊椎および体幹	4-7	
	10. 疾患各論Ⅲ 股関節	4-7	
	11. 疾患各論Ⅳ 膝、足関節および足指	4-7	
	12. 外傷学Ⅰ 軟部組織損傷、骨折、脱臼総論	4-7	
	13. 外傷学Ⅱ 骨折、脱臼 上肢	4-7	
	14. 外傷学Ⅲ 骨折、脱臼 下肢	4-7	
	15. 外傷学Ⅳ 脊髄損傷、末梢神経障害	4-7	

【授業の形式】 講義

【教科書】 松野 丈夫:『標準整形外科学』第13版. 医学書院. ¥9,400+税.

【参考書】

【学生の留意点など】 第7回が終了した時点で中間テストを実施する予定.

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学 運動器障害理学療法学 義肢装具学

【成績評価】 筆記試験(中間・期末試験)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	臨床医学(内科学)	木下 潤一郎	前期 PT	
------	-----------	--------	-------	--

臨床医学 3単位60h (内科学28h 小児科学12h 老年医学20h)

【一般教育目標(GIO)】

理学療法・作業療法へ展開するために、主な内科疾患の病態、症状、疫学、予後、評価・検査、一般的治療について学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 主な循環器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
2. 主な代謝性疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
3. 主な消化器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
4. 主な呼吸器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
5. 内分泌疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
6. 泌尿器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる
7. 血液・免疫疾患を列挙でき、特徴について説明ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	消化器疾患1 消化管系	3	講義
2.	消化器疾患2 肝胆膵	3	講義
3.	代謝性疾患1 糖代謝障害(糖尿病)	2	講義
4.	代謝性疾患2 糖代謝障害(低血糖)・脂質代謝障害	2	講義
5.	代謝性疾患3 痛風・骨粗鬆症	2	講義
6.	循環器疾患1 循環器の解剖生理学・心不全	1	講義
7.	循環器疾患2 虚血性心疾患・心弁膜疾患	1	講義
8.	循環器疾患3 不整脈・心筋疾患・心膜炎・動脈疾患・高血圧	1	講義
9.	呼吸器疾患1 呼吸器の解剖生理学・閉塞性肺疾患	4	講義
10.	呼吸器疾患2 拘束性肺疾患・感染症・腫瘍性疾患	4	講義
11.	内分泌疾患	5	
12.	腎・泌尿器疾患	6	
13.	血液・免疫疾患	7	
14.	総合討議	1-7	

【授業の形式】 講義

【教科書】 中島雅美 編:『PT・OT基礎から学ぶ内科学ノート』. 医歯薬出版. 2003. ¥3,800+税

【参考書】 奈良 勲 監:『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学』第2版. 医学書院. 2014. ¥6,000+税

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学 内部障害理学療法学

【成績評価】 内科学47点分(老年医学 33点, 小児科学 20点分)

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	臨床医学(小児科学)	平井 孝明	前期 PT	
------	------------	-------	-------	--

臨床医学 3単位60h (内科学28h 小児科学12h 老年医学20h)

【一般教育目標(GIO)】

理学療法へ展開するために、小児の発達・発育を理解した上で、理学療法に関わる小児疾患の病態生理を学ぶ。

【目標行動(SBO)】

小児の発育過程を説明できる。

1. 胎児・小児の成長・発達過程を理解する
2. 先天性疾患を理解する
3. 代表的な小児疾患を理解する

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	発育と発達 新生児の生理と主な疾患	1	
2.	感染症 呼吸・循環器障害	2,3	
3.	神経疾患 運動器疾患	4	

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 奈良勲監修『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第5版』医学書院 ￥4,200＋税

【学生の留意点など】 小児と成人の違いを十分に理解すること。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学 病理学概論

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学 発達障害理学療法学

【成績評価】 小児科学20点分 (内科学47点分, 老年医学 33点分)
レポート課題の内容で評価

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	臨床医学(老年医学)	遠藤 敏	前期 PT	
------	------------	------	-------	--

臨床医学 3単位60h (内科学28h 小児科学12h 老年医学20h)

【一般教育目標(GIO)】

高齢期にある対象者を的確に理解するために、老化がもたらす生理学的変化や老年者の疾患の特徴について学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 老年医学と老年学の説明が出来る
2. 高齢社会の特徴と医療・福祉施策を言える
3. 老化と加齢、老年症候群の特徴を言える
4. 高齢期の生理的特徴について説明できる
5. フレイルとロコモティブ・シンドロームを説明できる
6. 高齢者の機能・生活評価の説明ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 老年医学から老年学への発展	1	講義
	2. 高齢社会の抱える諸問題とその対策	2	講義
	3. 老化と加齢	3	講義
	4. 老年症候群とは	3	講義
	5. 高齢期の生理的特徴_1	4	講義
	6. 高齢期の生理的特徴_2	4	講義
	7. フレイルやロコモティブ・シンドローム	5	講義・演習
	8. 高齢者における主な疾患	4,5	講義・演習
	9. 認知症の理解	4,5,6	講義
	10. 高齢者の機能・生活評価	4,5,6	講義

【授業の形式】 講義

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 大内尉義編『標準理学療法学・作業療法学 老年学第4版』医学書院、2014、¥4,860.
日本老年医学会編『老年医学テキスト第3版』MEDICAL VIEW、2013、¥7,560.

【学生の留意点など】 老年の疾患でなく、高齢の生活者として考えるようにしたい

【この授業の基礎となる科目】 生理学 病理学概論 社会福祉学

【この授業を基礎とした科目】 リハビリテーション医学 地域理学療法論

【成績評価】 老年医学 33点 (内科学47点分、小児科学 20点分)
〔期末試験(80%) + 課題(20%)〕

【実務経験のある教員による科目】 当科目は遠藤(理学療法士)が担当し、その実務経験を授業内容の老年学に活かした授業としている

専門基礎	運動学演習	沼尾 他	前期 PT	2単位 30h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

今までの運動学を包括的に理解するために健常成人の運動学の知識を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 正常歩行を説明できる.
2. 身体運動を運動連鎖として説明できる.
3. 正常な呼吸, 代謝を説明できる.
4. 筋力, 床反力, 運動制御の基本的事項を説明できる.

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 歩行分析に伴う用語の理解／歩行相の区分	1	演習, 講義
	2. 正常歩行時の身体重心移動処理の理解_1	1	討議, 講義
	3. 正常歩行時の身体重心移動処理の理解_2	1	討議, 講義
	4. 正常歩行時の下肢関節運動の理解	1.2	講義
	5. 第5回から第12回は実験実習を行います(下記単元参照)	1.2	実験
	6. 第13回から第15回は実験実習の発表とまとめです	1.2	発表・講義

単元1:筋力の理解 単元2:正常歩行の理解(EMG)
単元3:運動の呼吸代謝の理解 単元4:正常歩行の理解(床反力)

【授業の形式】 実技

【教科書】 中村隆一他『基礎運動学第6版』医歯薬出版株式会社 2003年 ¥7140

【参考書】

【学生の留意点など】 各単元は1回ごとに完結する参加型の演習で構成される。
欠席のないように注意すること。
積極的・能動的に参加することが重要。4班にグループ分けして行う。

【この授業の基礎となる科目】 運動学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学, 理学療法研究法

【成績評価】 課題(レポート(各単元終了後, 1週間以内に提出))60%, 筆記試験40%

【実務経験のある教員による科目】 当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

専門分野	臨床運動学	福田 崇	後期 PT	2単位 60h
------	-------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 理学療法評価における動作観察・分析の位置づけを理解する
2. 健常者や患者の姿勢観察・分析, 動作観察・分析ができる

【目標行動(SBO)】

1. 姿勢と動作の観察に必要な用語を使うことができる
2. 基本姿勢・動作の観察を記述することができる
3. 基本姿勢・動作について、観察により発見した特徴を描画(図示)することができる
4. 基本動作に必要となる運動学・運動力学的要求を理解・説明できる
5. 姿勢・動作観察から、その特徴や異常を発見し、その原因となる機能障害を導き出すことができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

〔基本動作の観察〕

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1. 姿勢・動作の観察・分析の目的／観察基本と記述方法 | 1-3 |
| 2. 基本動作の観察① 立ち上がり動作の理解・観察・記述 | 1-4 |
| 3. 基本動作の観察② 寝返り動作の理解・観察・記述 | 1-4 |
| 4. 基本動作の観察③ 起き上がり動作の理解・観察・記述 | 1-4 |
| 5. 基本動作の観察④ 起居動作の復習(1～4回) | 1-4 |

〔歩行動作の観察〕

- | | |
|----------|-----|
| 6. 歩行の理解 | 1-4 |
| 7. 歩行観察 | 1-4 |
| 8. 歩行観察 | 1-4 |
| 9. 歩行観察 | 4-5 |
| 10. 歩行観察 | 1-5 |

〔異常動作の観察・分析〕

- | | |
|-----------------|-----|
| 11. 異常動作の観察と分析① | 1-5 |
| 12. 異常動作の観察と分析② | 1-5 |
| 13. 異常動作の観察と分析③ | 1-5 |
| 14. 異常動作の観察と分析④ | 1-5 |
| 15. 異常動作の観察と分析⑤ | 1-5 |

【授業の形式】 実技(講義と演習があります)

【教科書】 PT・OTビジュアルテキスト 姿勢・動作・歩行分析 羊土社(5000円)

【参考書】 鈴木俊明監修:『臨床理学療法評価法』APEC出版(5,900円)
 標準理学療法学 『臨床動作分析』(4,935円)
 福井勉編:『理学療法MOOK9スポーツ傷害の理学療法』(4,200円)
 臨床歩行分析研究会編:『歩行分析トレーニング』. 金原出版. (2,000円)
 勝平純司他:『介助にいかすバイオメカニクス』. 医学書院(4,095円)

【学生の留意点など】 この授業で取り扱う姿勢・動作の「観察」「分析」は理学療法における重要な検査技術です。漠然と授業を受講するだけでは身につけません。授業内は当然として授業外にも積極的に観て・書いて・考えることが上達につながります。ほぼ毎回姿勢動作を観察しますので、関節運動等が観察し易い服装が望ましいです。授業の進行度合いにより単元が入れ替わることがあります。

【この授業の基礎となる科目】 運動学 理学療法評価学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 各障害理学療法学 臨床実習

【成績評価】 期末試験100%

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	理学療法評価学Ⅱ	藤川 明代	前期 PT	2単位 60h
------	----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

徒手筋力検査・神経学的検査を実施するために、その意義・メカニズムを理解し、方法を実施できる。

【目標行動(SBO)】

1. それぞれの検査の定義・目的・原則を説明できる。
2. 測定を実施する際に、適切なオリエンテーションを実施できる。
3. それぞれの検査の一般的な測定手順、注意点、リスクを説明できる。
4. 検査結果の記録方法、測定器具の使用方法を説明でき使用できる。
5. それぞれの神経学的検査と障害・疾患の関係、神経解剖・生理学的背景を説明できる。
6. 検査時に適切な肢位をとらせ、適切な抵抗・刺激を与えることができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 神経学的検査とは、麻痺の分類、中枢神経・末梢神経	1-6	講義
	2. 感覚検査の意義、実技(触覚・痛覚)	1-6	講義
	3. 感覚検査実技(温度覚・深部覚・二点識別覚・足底触圧覚)	1-6	実技
	4. 反射理論・反射検査の意義と方法	1-6	講義
	5. 反射検査実技	1-6	実技
	6. 筋の診かた、錐体路徴候・錐体外路徴候	1-6	講義
	7. 筋緊張、筋萎縮実技	1-6	実技
	8. 運動失調の診かた	1-6	講義・実技
	9. 脳神経検査の方法と手順	1-6	講義・実技
	10. 高次脳機能障害、意識障害、認知症の診かた	1-6	講義・実技
	11. バランス検査	1-6	講義
	12. 片麻痺機能検査	1-6	講義・実技

【授業の形式】 実技(講義があります)

【教科書】 1. 鈴木則宏編:『神経診察クローズアップ』:MEDICAL VIEW

【参考書】 1. 田崎義昭 他著:『ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版』:南山堂:¥7200
2. 医療情報科学研究所:『病気がみえるvol.7 脳・神経 第1版』:メディックメディア:¥3800

【学生の留意点など】 解剖学・運動学・生理学・神経内科学の知識が前提となるので十分復習しておくこと。
実技は動きやすい服装(Tシャツ・短パン)に着替えること。
数多くの経験をするために、実技では様々な人と練習を行うこと。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学 生理学 運動学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学 理学療法評価学演習

【成績評価】 実技試験(50%)筆記試験(50%)によって評価を行う。場合によっては中間試験を行うことがある。それぞれの試験において合計点数が60%に満たないものは再試験を課す。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価演習の理解に向け検査測定とその解釈」に活かした授業としている

専門分野	理学療法評価学演習	和島 英明	後期 PT	2単位 60h
------	-----------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

これまで学んできた理学療法評価法の総まとめとして、今後の評価実習やインターン実習にむけ、理学療法評価のより実践的な進め方、様々な情報の統合と解釈、レポートやレジユメの構成などについて理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 理学療法評価の目的、意義、評価プロセスについて説明できる。
2. 能力低下と機能障害について説明できる。
3. 解釈と解釈について説明できる。
4. ICFに基づいた問題点抽出について説明できる。
5. 理学療法目標を短期目標、長期目標にわけて説明できる。
6. 代表的な疾患について、レジユメをまとめ、発表することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション、医療面接、演習	1,2	講義、演習
	2. 評価の進め方(トップダウン、ボトムアップ)、演習	1	講義
	3. 動作分析①(正常動作)、演習	1,2	講義、演習
	4. 動作分析②(病的な動作)、演習	1,2	講義、演習
	5. 能力低下と機能障害①、演習	1,2	講義、演習
	6. 能力低下と機能障害②、演習	1,2	講義、演習
	7. 統合と解釈、考察、演習	1,2	講義、演習
	8. 問題点抽出とICF、演習	1,2	講義、演習
	9. 目標設定、治療プログラム立案、演習	1,2	講義、演習
	10. 症例レポート構成要素、症例レポート分析	3	講義、演習
	11. 発表&演習①(腰椎圧迫骨折)	4,5	講義、演習、発表
	12. 発表&演習②(変形性膝関節症)	4,5	講義、演習、発表
	13. 発表&演習③(関節リウマチ)	4,5	講義、演習、発表
	14. 発表&演習④(脳卒中片麻痺 回復期)	4,5	講義、演習、発表
	15. 発表&演習⑤(パーキンソン病)	4,5	講義、演習、発表

【授業の形式】 講義、演習(実技)、グループワーク、発表

【教科書】 なし。資料を配付します。

【参考書】 臼田滋編:ビジュアルレクチャー 理学療法評価学、医歯薬出版、2014、¥4860

【学生の留意点など】 各種評価学で学習した検査測定・評価の内容をより実践的な視点でまとめます。キーワードは、評価の進め方、統合と解釈、動作分析、各種疾患の病態、です。

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習

【成績評価】 レジユメ作成課題(20%)、小テスト(40%)、グループ発表(40%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は、和島(理学療法士)が担当し、その実務経験を授業内容の講義、演習にいかした授業としている。

専門分野	運動器障害理学療法学Ⅰ	福田 崇・坂田 晋一	前期 PT	2単位 60h
------	-------------	------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

整形外科疾患の病態と障害を学び、それらに対する検査測定を選択・実行でき、基本的な治療プログラムを立案とその実施ができるようになる。

【目標行動(SBO)】

1. 各関節の機能解剖と機能障害を踏まえた検査測定ができる。
2. 運動器障害を引き起こす代表的な整形外科疾患を理解・説明できる。
3. 疾患名からリスク・運動器の障害・検査測定が想起できる。
4. 基本的な運動療法の方法・留意点を理解し説明できる。
5. 代表的な運動療法プログラムを想起でき、実施できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

授業説明

総論	1. 整形外科リハにおける評価・治療、疼痛の検査・評価・治療	1-5	実技・講義
	2. 総論：骨折と脱臼の評価・治療	2-5	実技・講義
	3. 総論：変形性関節症の評価・治療	2-5	実技・講義
各論	4. 肩関節の評価・治療	1-4	実技・講義
	5. 肩関節の症例問題	1-5	実技・講義
	6. 肘関節の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	7. 手関節・手部の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	8. 股関節の評価・治療	1-4	実技・講義
	9. 股関節の症例問題	1-5	実技・講義
	10. 膝関節の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	11. 下腿の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	12. 足関節・足部の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	13. 上部脊椎の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	14. 下部脊椎の評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義
	15. 関節リウマチの評価・治療・症例問題	1-5	実技・講義

【授業の形式】 講義・実技

【教科書】 神野哲也監. ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション. 羊土社. 2012. ¥7,020

【参考書】 病態：標準整形外科学. 第13版. 医学書院. 2016. ¥10,152
 評価：S.Hoppenfeld 著. 図解 四肢と脊椎の診かた. 医歯薬出版. 1984. ¥5,616
 治療：市橋則明編. 運動療法学. 第2版. 文光堂. 2014. ¥7,560

【学生の留意点など】 患者さんと接するとき、会話すること、触れること、動かすこと、動いてもらうこと、検査測定すること、治療すること、すべてに意味があります。実技能力を高めるには意味を理解し、反復練習する必要があります。授業外でも実技練習を重ねて卒業するまでに実技能力を高められるだけ高める意気込みで参加してください。

【この授業の基礎となる科目】 運動学、解剖学、運動療法概論、病理学概論、整形外科学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 運動療法技術論 運動器障害理学療法学Ⅱ

【成績評価】 実技試験100% (身だしなみのチェックを満たさないとゼロ点)

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	運動器障害理学療法学Ⅱ	複数講師	後期 PT	2単位 60h
------	-------------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

対象者の多様性を知り、治療方法を選択できるようになるために、病態や基本的な理学療法を学ぶ。

【目標行動(SBO)】

- それぞれの疾患の病態が説明できる。
- 基本的な理学療法を知る。
- 疾患名からPTとして把握すべきリスク・機能障害・能力障害・社会的不利を想起できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
a[脊髄損傷 福田 崇]	1. 頸髄損傷、脊髄損傷の病態 Zancolliの分類 合併症について		講義・実技
	2. 脊髄損傷の評価 感覚検査について		講義・実技
	3. 動作指導の考え方 頸髄損傷の寝返り、起き上がり		講義・実技
b[Sports 板倉 尚子]	4. スポーツ理学療法とは(総論)		講義・実技
	5. スポーツ理学療法実践のための評価とスキル		講義・実技
c[足底挿板療法 佐々木克則]	6. 実技① 足底挿板療法とは		講義・実技
	7. 実技② 足底挿板療法の実際		講義・実技
d[末梢神経損傷・熱傷 小林規彦]	8. 末梢神経損傷 生理・病態・評価		講義・実技
	9. 末梢神経損傷 顔面神経麻痺について		講義・実技
	10. 末梢神経損傷 理学療法の実際(模擬症例を通して)		講義・演習
	11. 熱傷 病態・治療・評価・理学療法の実際		講義・実技
e[神経難病 山形 哲行]	12. PD(パーキンソン病)の評価と治療		講義・演習
	13. ALS(筋萎縮性側索硬化症)/SCD(脊髄小脳変性症)の評価と治療		講義・演習
	14. MS(多発性硬化症)/PMD(進行性筋ジストロフィー)の評価と治療		講義・演習
f[健康増進 小島 肇]	15. ヘルスプロモーション エネルギー消費量の計算・METs別運動体験		講義・演習

【授業の形式】 実技(講義と演習があります)

【教科書】 各単元とも、なし

【参考書】 各回紹介する

【学生の留意点など】 上記授業計画とは別に足関節のテーピングの補習を実施予定(短パンで参加すること)

【この授業の基礎となる科目】 病理学概論 整形外科学 運動器障害理学療法学Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習Ⅰ

【成績評価】 課題(科目により点数配分あり、合計100%)

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	脳血管障害理学療法学Ⅰ	中山 雅和	後期 PT	2単位 60h
------	-------------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

脳血管疾患の障害を理解し、その障害における評価方法についての知識・技術を習得し、基本的な介入方法を身につける

【目標行動(SBO)】

1. 脳画像を見て構造と機能が説明できる
2. 脳血管疾患における障害を説明できる
3. 脳血管疾患における評価項目を列挙し、実施・記載することができる
4. 各姿勢・正常動作における構成要素を説明し、健常者に対し動作を誘導できる
5. 脳血管障害患者に対して、理学療法評価を立案・実施できる
6. 脳血管障害患者に対して、動作改善のための課題呈示ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 脳血管障害のリハビリテーションの考え方、脳の解剖と生理と脳画像診断	1	講義
	2. 脳血管障害の病態と障害の理解	2	講義
	3. 筋緊張と腱反射の関係、連合反応、筋緊張の評価	3	講義・演習
	4. Brunnstrom Recovery Stage による評価	3	講義・演習
	5. 嚥下障害、二次的合併症	2	講義・演習
	6. 急性期のリスク管理、予後予測、治療の考え方	2	講義
	7. 急性期のポジショニング、機能障害に対するハンドリング	2-6	講義・演習
	8. 脳血管障害患者の姿勢の評価	2-6	演習
	9. 脳血管障害患者の起居動作の評価とその誘導	2-6	演習
	10. 脳血管障害患者の立ち上がり動作の評価とその誘導	2-6	演習
	11. 脳血管障害患者の歩行動作の評価とその誘導	2-6	演習
	12. 脳血管障害の包括的評価、高次脳機能障害の評価と治療	2,3,5	講義・演習
	13. 模擬症例に対する評価演習	1-6	講義・演習
	14. 模擬症例に対する治療方法の検討①	1-6	講義・演習
	15. 模擬症例に対する治療方法の検討②	1-6	講義・演習

【授業の形式】 講義(演習があります)

【教科書】 石川朗、大畑光司、玉木彰 編集：神経障害理学療法学 中山書店

【参考書】 梶浦一郎・紀伊克昌・鈴木恒彦 著：『脳卒中の治療・実践神経リハビリテーション』市村出版
 鈴木恒彦・紀伊克昌・真鍋清則 著：『脳卒中の臨床神経リハビリテーション』市村出版
 Oswald Steward 著、伊藤博信他訳：『機能的神経科学』丸善出版
 田中繁、高橋明 監訳：『モーターコントロール運動制御の理論から臨床実践へ』医歯薬出版
 福井國彦 著：『脳卒中最前線』医歯薬出版
 田崎義昭 他著：『ベッドサイドの神経の診かた』南山堂
 富田昌夫 訳：『Steps to Follow』シェアリンガー・フェアラク東京

【学生の留意点など】 *実技についてはジャージ・Tシャツ・短パン等で臨むこと。
 *脳血管障害患者を想定し、動作の誘導方法を身に付けて欲しい。
 *より多くの学生と実技を行うこと。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学、神経内科学、理学療法評価学Ⅱ

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習、臨床実習

【成績評価】 レポート1回(10%)、実技試験(30%)、筆記試験(60%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	発達障害理学療法学Ⅱ	平井 孝明	前期 PT	2単位 60h
------	------------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

発達障害領域の対象者に理学療法を実施するために、代表的な小児疾患について学ぶ。

【目標行動(SBO)】

1. 小児疾患の特徴について説明できる。
2. 臨床像より発達評価と問題点を指摘できる。
3. 治療の方向性を提示できる。
4. 脳性麻痺の理学療法評価と治療について説明できる
5. 重症心身障害の特徴と合併症について説明できる
6. 上記以外の代表的な小児疾患について、臨床像、理学療法評価と治療について述べる事が出来る
7. 社会資源の種類と活用方法について説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション、小児理学療法 運動発達概論 オリエンテーション 発達の原則 発達指標	1, 2	講義
	2. 評価	1, 2	講義・実技
	3. 運動発達	1, 2	講義・実技
	4. 呼吸	1, 2	講義・実技
	5. 摂食嚥下	1, 2	講義・実技
	6. 整形外科疾患	1, 2	講義・実技
	7. 筋疾患	3	講義・実技
	8. 二分脊椎	3, 4	講義・実技
	9. 二分脊椎	3, 4	講義・実技
	10. 脳性麻痺・痙直型	5	講義・実技
	11. 脳性麻痺・痙直型	5	講義・実技
	12. 脳性麻痺・アテトーゼ型	5	講義・実技
	13. 脳性麻痺・アテトーゼ型	6	講義・実技
	14. 重症心身障害児	6	講義・実技
	15. まとめ	6	講義・演習

【授業の形式】 講義、質疑応答、課題発表、実技

【教科書】 特に指定しない

【参考書】 毎回の授業時に紹介します。

【学生の留意点など】 質疑応答、グループ発表、実技を行います

【この授業の基礎となる科目】 運動学、人間発達学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習、

【成績評価】 ワークシート25%、課題発表25%、質疑応答25% 期末試験25%
 ワークシート: 毎回授業の最後に配布します。期限内に提出して下さい。
 課題: ①整形外科疾患
 ②筋疾患
 ③二分脊椎
 ④脳性麻痺・痙直型
 ⑤脳性麻痺・アテトーゼ型
 ⑥重症心身障害児

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	理学療法演習Ⅰ	理学療法学科教員	後期 PT	2単位 30h
------	---------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法士としての問題解決能力(PBL)を養うために、対象者の全体像から問題点を把握し、今まで勉強してきた評価学や治療技術を実践し、他職種と連携する方法を身につける。

【目標行動(SBO)】

1. モデルケースに対して必要な情報を収集し、問題点を整理できる。
2. 問題点に対する統合と解釈を想起できる。
3. 対象者を総合的に分析した上で、現実的な目標を立案できる。
4. 治療プログラムを作成し、実施した上での予後を想起できる。
5. 対象者に対して臨機応変に援助ができる。
6. 対象者の全体像を報告書としてまとめることができる(実習後の修正を含む)。
7. チーム医療や報・連・相など、臨床場面で必要なコミュニケーションについて理解する。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
a[疾患別理学療法演習]			
	1. 回一オリエンテーション 事前学習の資料にてグループワーク(情報収集)	1-6	課題有
	2. 疾患別理学療法演習(1)	1-6	課題有
	3. 疾患別理学療法演習(2)	1-6	課題有
	4. 疾患別理学療法演習(3)	1-6	課題有
b[Model Case Study PT学科教員 6回のG・Wを通して、プログラムの立案まで行う。]			
	5. グループワーク 収集した情報・評価結果を分析する	1-6	チューター制
	6. グループワーク 問題点の抽出(ICF)・問題に対する統合と解釈	1-6	チューター制
	7. グループワーク 短期・(中)長期・最終目標の位置付けと立案	1-6	チューター制
	8. グループワーク プログラム立案	1-6	チューター制
	9. グループワーク プログラムの実施 レポート作成	1-6	チューター制
	10. グループワーク 予後予測 その他	1-6	チューター制 レポート提出
	11. グループワークまとめ 発表	1-6	
c[評価と臨床応用 PT学科教員]			
	12. 評価法の臨床応用 実践を想定した実技練習	5	
	13. 評価法の臨床応用 実践を想定した実技練習	5	
	14. 評価法の臨床応用 実践を想定した実技練習	5	
	15. 臨床場面で必要なコミュニケーションについて	7	

【授業の形式】 演習(教員がチューターとなったグループワークがあります)

【教科書】 なし(適宜資料を配布します)

【参考書】 授業内で紹介します

【学生の留意点など】 学内での実技試験と科目試験の合計で評価します。評価内容が多岐にわたるので必ず確認をする事。チューターとのディスカッション(デイリーノート可)を行いながら進める事。臨床実習直前の演習となるため、自宅学習や実習に必要な資料集めなど、準備をしながら参加する事。

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学演習・運動器障害理学療法学・医療情報学・日常生活活動論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習Ⅱ

【成績評価】 演習Ⅰレポート・実習後セミナーでの発表・修正したレポート(チューターへ提出) 70% 実技試験30%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	物理療法学Ⅱ	坂田晋一・小島肇	前期 PT	2単位 30h
------	--------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

物理療法学Ⅰに続いて、理学療法の治療体系のひとつである物理療法を修得する。

【目標行動(SBO)】

1. 各物理療法の生理学的作用と適応を説明できる。
2. 各物理療法の禁忌と注意事項を説明できる。
3. 各物理療法を実施できる。
4. 対象者を想定して、物理療法プログラムを立案できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション、「物理療法Ⅰ」のふりかえり		
	2. 水治療法①	1-3	教科書 p347-376
	3. 水治療法②	1-3	教科書 p347-376
	4. 電磁波療法①	1-3	教科書 p85-111
	5. 電磁波療法②	1-3	教科書 p85-111
	6. 超音波療法①	1-3	教科書 p127-152
	7. 超音波療法②	1-3	教科書 p127-152
	8. 症例検討①	4	
	9. 症例検討②	4	
	10. 電気刺激療法①	1-3	教科書 p187-251
	11. 電気刺激療法②	1-3	教科書 p187-251
	12. 光線療法	1-3	教科書 p261-296
	13. 症例検討③	4	
	14. 症例検討④	4	
	15. まとめ		

【授業の形式】 講義, グループワーク。

【教科書】 細田多穂監修 『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト』改訂第2版. 南江堂 2013年. ¥4,860.

【参考書】 Michelle H. Cameron, 渡部一郎訳. 『EBM物理療法 原著第4版』. 医歯薬出版 2015年. ¥9,720.

【学生の留意点など】 各物理療法について、講義と実技を交互に展開して、理解を深める構成です。教科書を予習したうえで、動きやすい服装で参加して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学, 生理学, 病理学概論。

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習, 理学療法演習Ⅰ。

【成績評価】 レポート40%, 期末試験60% (筆記30%・実技30%)。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

専門分野	日常生活活動論	長屋 説	前期 PT	3単位 60h
------	---------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

適切な日常生活活動の支援が実現するために、理学療法の観点から無意識に行っている日常生活活動を分析・評価し、対象者それぞれの生活の質を維持・向上できるような治療技術を習得する。また、補助具の処方・指導を実施できるようになるために、目的や使用方法を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 日常生活活動の概念、範囲(セルフケア、移動、コミュニケーション、IADL)が説明できる。
2. 代表的なADL評価の各特徴を説明し実施できる。
3. セルフケアの動作分析ができる(健常者)
4. 歩行・移動補助具や車椅子の処方・指導ができる。
5. 動作の介助を標準的な方法で実施できる。
6. 代表的な疾患をモデルにADL指導ができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. オリエンテーション・日常生活の概念・範囲/ICFによる理学療法評価	1	講義
	2. できるADLとしているADL, 目標とするADL/「できる」の定義	2	講義
	3. FIM・BI・自立度を使用した日常生活活動の評価/質的評価と量的評価	2	講義
	4. セルフケアの分析①	2	講義 GW
	5. セルフケアの分析②(レポート作成)	3	GW
	6. セルフケアの分析③(発表内容作成)	3	GW
	7. セルフケアの分析④(質的評価発表)	3	発表・質疑応答
	8. 移動補助具の種類と適応①(車椅子・整備点検)	4	講義・実技
	9. 移動補助具の種類と適応②(杖・松葉杖その他 障害物 階段)	4	講義・実技
	10. 起居移乗・床上動作の種類と目的/複合動作	4	講義・実技
	11. 移乗・移動動作を誘導する①(全介助)	5	講義・実技
	12. 移乗・移動動作を介助する②(軽介助)	5	講義・実技
	13. 移乗・移動動作の介助方法を知る③(部分介助・半介助)	2.5	講義・実技
	14. 特殊な移乗・移動介助(介助バー・ずり落ち修正・T/B・リフター)	5.6	講義・実技
	15. 移動介助の応用編(THA)・高齢者とADL(フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニア)	5.6	講義・実技

【授業の形式】 講義と実技が主流です。(グループワーク・発表あり)

【教科書】 奈良勲監修:標準理学療法学専門分野『日常生活活動学・生活環境学第4版』医学書院5400円
FIM:手引き

【参考書】 伊藤利之著:『ADLとその周辺』医学書院 5900円
大川嗣雄編:『日常生活動作(活動)』医歯薬出版 7140円
細田多穂監:『日常生活活動学テキスト』南江堂 4200円

【学生の留意点など】 1.実技の際は白衣(KC)着用で参加して下さい。
2.グループにて課題を遂行するものもあります。時間調整など協力して進めて下さい。
3.レポートや課題の提出は時間を厳守して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法評価学演習 日常生活活動論演習

【成績評価】 筆記試験 70% 実技試験30%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	義肢装具学	小林・森田	前期 PT	2単位 60h
------	-------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 対象者の障害に応じた義肢装具の活用方法を知るために、構造や適合、ならびに義肢装具使用による理学療法を理解する
2. 臨床で義肢装具を活用するために、組立てや調整の技術を習得する

【目標行動(SBO)】

1. 義肢装具使用に至る経緯が説明できる
2. 各義肢装具の機能および適応が説明できる
3. 各義肢装具の選択・チェックアウトができる
4. 義肢装具使用による理学療法を説明できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	義肢装具学総論	1.2	全回講義・演習
2.	切断者の評価	2.4	
3.	大腿義足①	1.3	
4.	大腿義足②	2.3	
5.	大腿義足のギプスソケットの作成	2.4	
6.	足部と下腿義足	1.3	
7.	股・膝・足部義足, 障害者スポーツ	1.3	
8.	義肢装具の給付・処方・臨床での理学療法の流れ	3.4	
9.	下肢装具 総論	1.2	
10.	短下肢装具	1.3	
11.	長下肢装具	1.3	
12.	膝装具・股装具	1.3	
13.	下肢装具チェックアウト	3.4	
14.	靴型装具・体幹装具	2.4	
15.	上肢装具	1.3	

【授業の形式】 実技(講義と演習があります。服装についてはその都度指示します)

【教科書】『義肢装具学テキスト』 南江堂 2013年 4,800円

【参考書】『義肢装具のチェックポイント第8版』 日本整形外科学会 医学書院 2014年 8,200円

【学生の留意点など】 疾患や障害に対する理解が必要。知識としての理解とともに、理学療法士の技術として修得するよう心掛け理解を深める。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション医学 理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習 義肢装具学演習

【成績評価】 筆記試験 50% 小テスト 25% 課題レポート 25%

【実務経験のある教員による科目】 当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業としている

専門分野	義肢装具学演習	小林・森田	後期 PT	1単位 30h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 義肢装具使用による理学療法を知るために、模擬体験を通し理解を深める
2. 義肢装具の材料や機能を理解するために、模擬的な制作過程を実施する

【目標行動(SBO)】

1. 義肢装具使用時における諸問題を説明できる
2. 各義肢装具の選択・チェックアウトができる
3. 各義肢装具の機能および適応が説明できる
4. 理学療法士と他職種とを比較、関係づけられる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	義足歩行① 下腿義足・大腿義足歩行の特徴	1.2	全回講義・演習
2.	義足歩行② 異常歩行	1.3	
3.	義手 義手の構造・機能・ADL	1.3	
4.	装具 疾患別①	1.3	
5.	装具 疾患別②	1.3	
6.	装具採型法実技	1	
7.	義肢装具士の役割・現状その他	4	
8.	最新の義肢装具の紹介・その他	4	

【授業の形式】 実技(講義と演習があります)

【教科書】『義肢装具学テキスト』 南江堂 2013年 4,800円

【参考書】『義肢装具のチェックポイント第8版』 日本整形外科学会 医学書院 2014年 8,200円

【学生の留意点など】 理学療法における治療法の1つとして装具を用いることができるように知識だけでなく、装着しながら慣れる同様に、義肢装着者に対する理学療法全般を経験とともに知識や技術を定着するよう取り組む

【この授業の基礎となる科目】 義肢装具学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習

【成績評価】 実技試験 50% 課題提出 50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業としている

専門分野	臨床実習Ⅰ		後期 PT	1単位 45h
------	-------	--	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

指導者の指導のもとに、それまで学内で習得した検査・測定を臨牀の実践の中で実施し、得られた結果に原因分析と解釈を行う。理学療法士および専門職業人としての適切な態度や行動を学習する。

【目標行動(SBO)】

1. 肢長・周径測定, ROMテスト, 徒手筋力テスト, 神経学的テストなどの検査測定が実施できる。
2. 検査結果の原因分析が言える。
3. 起居, 移乗・移動動作などの介助が行える。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 肢長・周径測定, ROMテスト, 徒手筋力テスト, 神経学的テストなどの検査測定の実施と記録を数多く実施させる。
2. 実施した検査測定項目ごとに, 正常から逸脱した結果を抽出させ, 知識の範囲内で原因分析をさせる。
3. 各検査間の関連性を考察させる。
4. 標準的な方法で起居動作介助や移乗・移動動作などの介助を数多く実習させる。

【授業の形式】 実習

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学Ⅰ, 理学療法評価学Ⅱ, 理学療法評価学演習

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅱ

【成績評価】 指導報告書・提出課題・実習後セミナー

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	臨床実習Ⅱ		後期 PT	3単位 135h
------	-------	--	-------	----------

【一般教育目標(GIO)】

指導者の指導のもとに、標準的な症例の理学療法評価を学ぶ。すなわち、医療面接、観察、検査・測定の結果や収集した種々の情報の統合と解釈、問題点の抽出から目標設定の各々の方法を学ぶ。また、理学療法士および専門職業人としての適切な態度や行動を学習する。

【目標行動(SBO)】

1. 医療面接、観察、神経学的テスト、Brunnstrom Recovery Stage, ADLテスト、バランス反応テストなどの検査測定が実施できる。
2. 担当症例について問題点の抽出、目標設定ができる。
3. 担当症例について治療プログラムを基本的な範囲で挙げることができる。
4. 起居、移乗・移動動作などの指導や介助ができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 症例1～2例を受け持たせ、検査測定の実施、分析及び解釈をさせる。
2. 片麻痺を中心とした中枢神経疾患に対し、感覚・反射・筋緊張テストなどを中心とした神経学的テスト、Brunnstrom Recovery Stage, ADLテスト、バランス反応テストなどの検査測定の実施と記録を数多く実習させる。
3. 問題点を「心身機能・身体構造」、「活動」のレベルを中心に抽出させ疾患と症例の把握、統合と解釈、目標設定を行わせる。
4. 検査測定の結果と抽出した問題点、設定した目標との一貫性を考えさせる。学生の能力に応じて、また時間の許す範囲で方法・度量・頻度などをふまえた治療プログラム立案を経験させる。
5. 起居動作介助や移乗・移動動作などの介助を数多く実習させる。

【授業の形式】 実習

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 各理学療法評価学・理学療法評価学演習・臨床実習Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 指導報告書・提出課題・実習後セミナー

【実務経験のある教員による科目】

基礎分野	統計学	美崎 定也	前期 PT	2単位 30h
------	-----	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

臨床的疑問を吟味するために医療統計学の基礎知識と臨床における役割を理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 統計学の基礎的知識を説明できる
2. 臨床研究における統計学の重要性を説明できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 統計とは(統計学総論)／統計の必要性、統計の考え方		
	2. 臨床と統計／EBPTや研究における統計の活用、論文の読み方	1,2	
	3. 記述統計／基本統計量	1,2	
	4. データの視覚的表示／ヒストグラム、棒グラフ、散布図など	1,2	
	5. データと分布／母集団、標本、正規分布	1,2	
	6. 分析(推測)統計／推定と検定	1,2	
	7. 検定の実際1／t検定、一元配置分散分析	1,2	
	8. 検定の実際2／二元配置分散分析、反復測定分散分析	1,2	
	9. 検定の実際3／ノンパラメトリック検定	1,2	
	10. 検定の実際4／相関分析、カイ二乗検定	1,2	
	11. 多変量解析／重回帰分析、ロジスティック回帰など	1,2	
	12. 検査特性／感度、特異度、尤度比、ROC曲線など	1,2	
	13. データ解析演習1	1,2	
	14. データ解析演習2	1,2	
	15. まとめ		

【授業の形式】 講義

【教科書】 指定しない

【参考書】 楽しい疫学、医学への統計学

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 理学療法研究法

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 学期末筆記試験にて評価する

【実務経験のある教員による科目】

専門基礎	リハビリテーション医学	関 勝	前期 PT	2単位 30h
------	-------------	-----	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学・作業療法に展開するために、リハビリテーション医学の概念と各障害に対する基本的原則を学ぶ

【目標行動(SBO)】

1. 各障害の生じる病態・疫学・予後を記述できる
2. 各障害の診断法・医学的治療を説明できる。
3. 各障害に対する病期に応じたリハビリテーションを説明できる。
4. 各障害の特徴を列挙できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 脳障害1 脳卒中・頭部外傷等の障害学	1-4	
	2. 脳障害2 急性期のリハビリテーション	1-4	
	3. 脊髄損傷1 病態総論、診断法、合併症	1-4	
	4. 脊髄損傷2 急性期のリハビリテーション	2,3,4	
	5. 関節リウマチ 疾患の概要、障害像、診断と評価、リハビリテーション	1-4	
	6. 神経・筋疾患 障害像、リハビリテーション	1-4	
	7. 切断1 総論、切断と義肢	1-4	
	8. 切断2、骨関節疾患 切断・骨関節疾患のリハビリテーション	1-4	
	9. 循環器・呼吸器 心機能及び呼吸機能障害のリハビリテーション	1-4	
	10. 小児リハ 小児のリハビリテーション	1-4	

【授業の形式】 講義

【教科書】『リハビリテーション医学テキスト』改訂第4版、南江堂、2016、¥5300＋税

【参考書】『現代リハビリテーション医学』改訂第4版、金原出版、2017、¥6200＋税 『リハビリテーション基礎医学』医学書院、1994、¥11000＋税 『リハビリテーションデジレントマニュアル』第3版、医学書院、2010、¥5000＋税

【学生の留意点など】 正しい医学知識を身につけ、臨床での応用を常に念頭において勉強して欲しい。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 臨床医学

【この授業を基礎とした科目】 各障害理学療法学 理学療法概論

【成績評価】 筆記試験

【実務経験のある教員による科目】 本科目は医師が担当し、その実務経験を授業内容の講義にいかした授業としている。

専門分野	理学療法演習Ⅱ	中山 ・ 佐々木	前期 PT	2単位 60h
------	---------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

臨床上で必要な最低限の知識・技術(基礎と代表的な疾患における)・態度を身に付けることを目標とする

【目標行動(SBO)】

1. 基礎医学・臨床医学の知識を確認・説明できる
2. 基礎医学, 臨床医学の知識の臨床応用を説明できる
3. 基本的な評価・治療が実施できる
4. 言葉遣いや振る舞いの適切さ・不適切さが判断できる
5. 面接及び検査測定を行う際にリスク管理ができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 授業ガイダンス 臨床推論と医学知識 基礎医学問題のテスト・確認	1-5	講義
	2. 解剖学の小テストおよび確認	1-2	講義
	3. 解剖学の小テストおよび確認 解剖学の知識と臨床応用	1-2	講義
	4. 生理学の小テストおよび確認	1-2	講義
	5. 生理学の小テストおよび確認 生理学の知識と臨床応用	1-2	講義
	6. 運動学の小テストおよび確認	1-2	講義
	7. 運動学の小テストおよび確認 運動学の知識と臨床応用	1-2	講義
	8. 中枢神経領域の講義および小テスト	1-2	講義
	9. 整形外科領域の講義および小テスト	1-2	講義
	10. 内部障害領域の講義および小テスト	1-2	講義
	11. PT評価学の講義および小テスト	1-2	講義
	12. PT治療学の講義および小テスト	1-2	講義
	13. 模擬患者に対する実技演習およびグループワーク①	1-5	演習
	14. 模擬患者に対する実技演習およびグループワーク②	1-5	演習
	15. 模擬患者に対する実技演習およびグループワーク③	1-5	演習

【授業の形式】 演習

【教科書】 なし

【参考書】 適宜紹介する

【学生の留意点など】 問題演習とその理解のためのグループ学習を行い、知識の定着を確認することが繰り返されます臨床の場で行う実践演習であることを自覚し、主体的な学びを心がけること
授業時間外の復習によってその成果が大きく左右されますので、積極的な取り組みを期待します

【この授業の基礎となる科目】 解剖学ⅠⅡ、生理学ⅠⅡ、運動学ⅠⅡ、理学療法評価学演習、理学療法演習Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 筆記テスト60%、実技(客観的臨床能力試験)40%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	理学療法概論Ⅱ	小林 規彦	前期 PT	1単位 15h
------	---------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

1. 日本の医療制度を知るために、歴史的背景および現状を理解し、リハビリテーション現場の保険・医療・福祉システムを考察する
2. 地域リハビリテーションを含む現場の諸問題を理解するために、事例検討を通し考察する

【目標行動(SBO)】

1. 日本の保険・医療・福祉制度の概略を説明できる
2. リハビリテーション現場の諸問題(症例検討を通し)から、具体的行動目標を示せる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. 日本の医療制度の仕組みと診療報酬体系	1.2	全回講義・討論
	2. リハビリテーションの現状と関連する諸制度Ⅰ	1.2	
	3. リハビリテーションの現状と関連する諸制度Ⅱ	1.2	
	4. 日本の医療が抱える諸問題の検討	1.2	

【授業の形式】 講義(討論を行います)

【教科書】 指定しない

【参考書】 資料を配布する

【学生の留意点など】 ・授業は、講義と発表により構成される。

・学院内の生活では実感が持てない、臨床で重要な課題を数多く提示します。

・よって日常的にリハビリテーションに関連した事象に対して、意識的に情報収集する姿勢が望まれます。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論 リハビリテーション医学

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 課題プレゼンテーション資料 50% 発表時の質疑応答 50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は、理学療法士実務のほか社会学分野ならびに介護保険分野実務経験をもとに展開する授業としている

専門分野	運動療法学技術論	山形 他	前期 PT	2単位 60h
------	----------	------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

〈症例検討〉適切な運動療法を提供できるようになるために、疾患に即した評価と治療の方法を理解することができる。
 〈PNF〉
 〈疾患別〉脳血管障害患者の各種症状に対する評価と治療を実施することができる
 〈演習〉

【目標行動(SBO)】

1. 上肢における機能的な特徴を挙げ、片麻痺患者の上肢機能と比較できる。
2. 上肢機能改善のための課題を提示できる。
3. 失調症患者に対する治療原則を挙げ、治療手段を選択できる。
4. 高次脳機能障害の要因を説明することができる。
5. 高次脳機能障害に対する治療を説明する事ができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号
1.	症例検討Ⅰ	[山形 哲行]
2.	症例検討Ⅱ	[山形 哲行]
3.	症例検討Ⅲ	[坂田 晋一]
4.	症例検討Ⅳ	[坂田 晋一]
5.	治療概念PNFの治療概念と基本テクニック	
6.	実技① 基本パターン上肢, 下肢	
7.	実技② 基本パターン下肢, 体幹	
8.	実技③基本パターン肩甲骨, 骨盤, 頸部, 特殊テクニック	
9.	脳血管障害患者への上肢の評価と治療	[山形 哲行]
10.	失調症に対する評価と治療	[山形 哲行]
11.	高次脳機能障害に対する評価と治療①	[山形 哲行]
12.	高次脳機能障害に対する評価と治療②	[山形 哲行]
13.	グループ演習①	
14.	グループ演習②	
15.	グループ演習③	

【授業の形式】 実技

【教科書】 なし

【参考書】 授業中に提示

【学生の留意点など】 〈PNF〉 実技を主として行うのでTシャツ・スパッツ等で参加すること
 〈疾患別〉 実技と演習を行うので脳血管障害の授業を復習しておくこと。

【この授業の基礎となる科目】 脳血管障害理学療法学Ⅰ 臨床運動学 理学療法評価学演習

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習

【成績評価】 〈症例検討〉 レポートにて評価する
 〈PNF〉 基本パターンの実技試験・口頭試問
 〈疾患別〉 小テスト

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	脳血管障害理学療法学Ⅱ	山形 哲行	前期 PT	2単位 30h
------	-------------	-------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

脳血管障害患者に対して理学療法を実施できるようになるために基礎的な技術を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 姿勢・動作改善のためのハンドリングが実施できる
2. 脳血管障害患者に対する評価から治療手段の選択までの一連の流れを組み立てることができる
3. 脳血管障害患者における姿勢・動作の特徴を列挙し、その動作を模倣することができる
4. 脳血管障害患者のADLを分析できる
5. 脳血管障害患者のADL改善のための治療手段を選択できる
6. 脳血管障害患者に対して、理学療法治療計画を立案し、一部を実施できる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 脳血管障害患者に対する理学療法の概略	2-6	講義・実技
	2. ハンドリング:寝返り～起き上がり①	1-3	実技
	3. ハンドリング:寝返り～起き上がり②	1-3	実技
	4. ハンドリング座位～立ち上がり①	1-3	実技
	5. ハンドリング座位～立ち上がり②	1-3	実技
	6. バランス反応の再教育①	1-3	実技
	7. バランス反応の再教育②	1-3	実技
	8. 歩行の神経学的背景について	3	講義・実技
	9. ハンドリング:歩行	4-6	実技
	10. ADL障害に対する治療	4-6	実技
	11. 片麻痺の上肢の評価と治療①	6	講義・実技
	12. 片麻痺の上肢の評価と治療②	6	講義・実技
	13. 脳血管障害による失調症の評価と治療①	6	講義・実技
	14. 脳血管障害による失調症の評価と治療②	6	講義・実技
	15. 半側の無視性障害に対する評価と治療	6	講義・実技

【授業の形式】 講義と実技

【教科書】 吉尾雅春、森岡周 編集「神経理学療法学」医学書院

【参考書】 梶浦一郎・紀伊克昌・鈴木恒彦 著:「脳卒中の治療・実践神経リハビリテーション」市村出版
 富田昌夫訳:「ステップス・トゥ・フォロー」,「ライトインザミドル」(シュプリンガー・フェアラーク東京)
 Oswald Steward 著, 伊藤博信他訳:「機能的神経科学」丸善出版
 田中繁, 高橋明 監訳:「モーターコントロール運動制御の理論から臨床実践へ」医歯薬出版
 福井國彦 著:「脳卒中最前線」医歯薬出版
 田崎義昭他著:「ベッドサイドの神経の診かた」南山堂

【学生の留意点など】 *患者を想定し、動作の誘導方法を身に付けて欲しい。
 *実技についてはジャージ・Tシャツ等で臨むこと。
 *より多くの学生と実技を行うこと。

【この授業の基礎となる科目】 脳血管障害理学療法学Ⅰ

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 実技(40%), 筆記テスト(60%), で総合的に評価する

【実務経験のある教員による科目】

専門分野	日常生活活動論演習	長屋 説・中山 雅和	前期 PT	2単位 30h
------	-----------	------------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

理学療法的視点から各疾患の特性を理解し、対象者の日常生活活動を的確に評価できるようになるために、それぞれの個性・多様性を踏まえたADL指導を習得する。

【目標行動(SBO)】

1. 疾患の特性に応じたADLの特徴、基本動作の方法、リスクを述べることができる。
2. 疾患の特性に応じたADLの評価を実施することができる。
3. 対象者の基本動作を力学的視点で分析することができる。
4. 対象者個人にあわせたADL(環境を含む)指導ができる。
5. 疾患の特性を理解した上で、適切な援助方法を(本人及び支援者に)提示できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	
	1. 疾患別各論 【脳血管障害の特性を理解する】①	1.2	講義・実技
	2. 疾患別各論 【脳血管障害のADL指導】②	3.4	講義・実技
	3. 疾患別各論 【脳血管障害のADL指導】③	5	講義・実技
	4. 疾患別各論 【脳血管障害のADL指導】④	5	講義・実技
	5. 疾患別各論 【神経筋疾患の特性とADL指導】	1-5	講義・実技
	6. 疾患別各論 【関節リウマチのADLの特性とADL指導】	1-5	講義・実技
	7. 疾患別各論 【変性疾患・骨関節疾患手術後の特性とADL指導】	1-5	講義・実技
	8. 疾患別各論 【高齢者の特性とADL指導】	1-5	講義

【授業の形式】 講義と実技があります。

【教科書】 奈良勲監修:標準理学療法学専門分野『日常生活活動学・生活環境学第4版』医学書院 2012(5832円) FIM:利用の手引き

【参考書】 伊藤利之著:ADLとその周辺 第3版 医学書院2015(6480円)

【学生の留意点など】 実技の際は動きやすい服装で参加すること。ジーパンやスカートは不可。

【この授業の基礎となる科目】 日常生活活動論

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習

【成績評価】 筆記試験70% 実技試験30%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

専門分野	内部障害理学療法学	武市尚也・小島肇	前期 PT	3単位 60h
------	-----------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

循環器・代謝・呼吸器系を中心とするがんを含めた内部障害を有する対象者の病態・障害特性を理解し、理学療法を修得すること。

【目標行動(SBO)】

循環器系疾患の理学療法

1. 心臓リハビリテーションに必要な心大血管の解剖と生理を説明できる。
2. 基本的な心電図を読むことができる。
3. 虚血性心疾患、心不全の病態とリハビリテーションの概要を解説できる。

代謝系疾患の理学療法

4. 糖尿病・慢性腎臓病の各病態と治療を理解し、栄養療法を含む理学療法士の基本的な関わり方を説明できる。

呼吸器系疾患の理学療法

5. 医療情報を理解したうえで、基本的なフィジカルアセスメントと肺機能検査、6分間歩行試験を実施できる。
6. 急性呼吸不全に対する理学療法を実施できる。
7. 慢性呼吸不全、慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法を実施できる。

がんのリハビリテーション

8. がんの病態とリハビリテーションの概要を解説できる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

【導入】

1. 内部障害系の解剖学的知識と生理

【循環器系】

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------|
| 2. 心大血管の解剖と生理 | 1 | |
| 3. 心電図の読み方 | 2 | 教科書p171-186 |
| 4. 虚血性心疾患:虚血性心疾患の病態と治療 | 3 | 教科書p118-131 |
| 5. 虚血性心疾患:心臓リハビリテーション(運動療法) | 3 | 教科書p118-131 |
| 6. 心不全:心不全の病態と治療 | 3 | 教科書p132-141 |
| 7. 心不全:心臓リハビリテーション(運動療法) | 3 | 教科書p132-141 |

【代謝系】

- | | | |
|--------------------|---|-------------|
| 8. 糖尿病:病態生理と理学療法 | 4 | 教科書p236-256 |
| 9. 慢性腎臓病:病態生理と理学療法 | 4 | 教科書p257-262 |

【呼吸器系】

- | | | |
|--|------|------------------|
| 10. 呼吸評価①:画像の読み方, フィジカルアセスメント | 5, 6 | 教科書p18-41 |
| 11. 呼吸評価②:肺機能検査, 6分間歩行試験 | 5, 6 | 教科書p18-41 |
| 12. 急性呼吸不全:排痰法, インセンティブスパイロメトリ, 人工呼吸管理 | 7 | 教科書p64-68, 72-91 |
| 13. 慢性呼吸不全:呼吸練習, ADL練習 | 7 | 教科書p42-63 |
| 14. 慢性閉塞性肺疾患:口すぼめ呼吸, 運動療法 | 7 | 教科書p42-63 |

【がんのリハビリテーション】

- | | | |
|---------------------|---|-------------|
| 15. がんの病態とリハビリテーション | 8 | 教科書p268-290 |
|---------------------|---|-------------|

【授業の形式】 講義・実技

【教科書】 高橋哲也編:『ビジュアルレクチャー 内部障害理学療法学 第2版』. 医歯薬出版 2017. ¥5,184

【参考書】 心臓リハビリテーション必携-指導士認定試験準拠-. 日本心臓リハビリテーション学会 2011. ¥6,480
 千住他監修:『呼吸理学療法標準手技』. 医学書院 2008. ¥3,456
 『呼吸リハビリテーションマニュアル-運動療法- 第2版』. 照林社 2012. ¥3,996
 清野他監修:『糖尿病の理学療法』. メディカルレビュー 2015. ¥5,616

【学生の留意点など】 臨床医学の中核をなす内部障害系疾患を理解することは、他のリハビリテーション適応疾患や障害に対する理学療法を発展させる基礎になります。重要な項目を授業の中で取り上げ、他の項目については教科書を用いて主体的に学習することが求められます。必ず予習して参加して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 解剖学・生理学・運動学・病理学概論・臨床医学・理学療法評価学・リハビリテーション医学

【この授業を基礎とした科目】 理学療法演習Ⅱ

【成績評価】 評価割合は、循環器系40%(筆記)、呼吸器系・代謝系・がん60%です。そのうち呼吸器系・代謝系・がんは、期末試験40%(筆記20%・実技20%)、課題レポート(症例検討)20%です。

【実務経験のある教員による科目】 当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

専門分野	生活環境論	和島・藤川・加瀬澤	前期 PT	2単位 30h
------	-------	-----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

高齢者や障害者の住環境整備に役立てるために、人が暮らしやすい生活環境・住環境・福祉用具等に関する基本的事項について理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 高齢者や障がい者の住環境の問題点やその対策について説明できる。
2. 住宅改修の方法や福祉用具の種類、選び方、使用方法などについて説明することができる。
3. 自宅、市街地や交通機関等の生活環境におけるバリア、バリアフリーについて説明することができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
	1. オリエンテーション、バリアフリー、他	1,2	講義(和島)
	2. 住宅環境と設備、高齢者等の住まい、他	1,2	講義(和島)
	3. 日本の住宅の特徴、他	1,2	講義(藤川)
	4. 1組: 市内バリアフリー・マップ調査 2組: 障害と住環境整備(移動、段差、手すり等)	1,3	講義、演習(和島)
	5. 1組: 市内バリアフリー・マップ調査 2組: 障害と住環境整備(移動、段差、手すり等)	1,3	講義、演習(和島)
	6. 1組: 障害と住環境整備(移動、段差、手すり等) 2組: 市内バリアフリー・マップ調査	1,3	講義、演習(和島)
	7. 1組: 障害と住環境整備(移動、段差、手すり等) 2組: 市内バリアフリー・マップ調査	1,3	講義、演習(和島)
	8. 家屋環境と家屋改修	1,2	講義(加瀬澤文芳)
	9. 家屋環境と家屋改修	1,2	講義(加瀬澤文芳)
	10. 福祉用具の種類、選び方、使い方、ひやりはっと	1,2	講義、演習(和島)
	11. 福祉用具の種類、選び方、使い方、ひやりはっと	1,2	講義、演習(和島)
	12. 自宅内のバリアとその対策に関する学生発表	1,2,3	発表(和島)
	13. 自宅内のバリアとその対策に関する学生発表	1,2,3	発表(和島)
	14. バリアフリー・マップ調査の学生発表、まとめ	3	発表(和島)
	15. バリアフリー・マップ調査の学生発表、まとめ	3	発表(和島)

【授業の形式】 講義、グループワーク、フィールドワーク(調査)、発表

【教科書】 なし。資料を配付。

【参考書】 木村哲彦 監修:生活環境論—生活支援の視点と方法—第6版、医歯薬出版、¥6800

【学生の留意点など】 身の回りの生活環境に関心を持ちながら広い視野でとらえること。また高齢者や障がい者の住環境や福祉用具に関する基本的事項に関する理解を深めてください。市内フィールドワークでは、車椅子使用の場合、道幅、段差、スロープ、トイレなどに関して障がい者の方が使いやすいかどうかの視点でまとめ、バリアフリーマップを作成してください。調査の際には、自動車等周辺の交通や写真撮影などに十分注意して下さい。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論、理学療法概論

【この授業を基礎とした科目】 地域理学療法論、臨床実習

【成績評価】 課題レポート(40%)、バリアフリー・マップ調査レポート(30%)、自宅内バリア調査発表(30%)

【実務経験のある教員による科目】 当科目は、和島(理学療法士)、藤川(理学療法士)、加瀬澤(1級建築士)が担当し、その実務経験を授業内容の講義やフィールドワーク等にかした授業としている。

専門分野	地域理学療法論	坂田、和島、山本	前期 PT	2単位 30h
------	---------	----------	-------	---------

【一般教育目標(GIO)】

高齢者や障害者の方が、地域の中で生活がより自立し、また生活の質がより向上するよう、理学療法士をはじめ多職種がどのようににかかわっているのかを理解する。

【目標行動(SBO)】

1. 地域リハビリテーションや様々な社会資源の概要を説明することができる
2. 生活支援が必要な高齢者や障害者の状況を具体的に説明することができる
3. 症例検討を通じて生活支援プログラムを考えることができる

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
1.	オリエンテーション、地域理学療法など		講義
2.	地域ケアシステム、地域における介護予防など		講義
3.	地域について、福祉について		講義実技(山本先生)
4.	地域リハビリテーションの考え方		講義実技(山本先生)
5.	事例を通したケアプランの考え方		講義実技(山本先生)
6.	ケアプランから見える個性		講義実技(山本先生)
7.	介護保険の通所サービス、入所サービス		講義
8.	在宅生活と訪問リハビリテーション		講義
9.	事例検討1-① 障害と生活について考える		グループワーク
10.	事例発表		グループ発表
11.	事例検討1-② 具体的な問題点と支援プランを考える		グループワーク
12.	事例発表		グループ発表
13.	事例検討2-① 在宅生活のあるべき姿と理学療法士の関わり		グループワーク
14.	事例発表		グループ発表
15.	まとめ 地域リハビリテーションの視点とは		講義

【授業の形式】 講義 グループワーク

【教科書】 なし 資料を配布する

【参考書】 ゴールドマスターテキスト 地域理学療法、メディカルビュー、標準理学療法 地域理学療法、医学書院

【学生の留意点など】 加齢に伴いまた障害を負うことで生活やQOLに影響することを理解するとともに、地域で活用できる社会資源や、地域で活躍する理学療法士の役割について理解してほしい。

【この授業の基礎となる科目】 リハビリテーション概論 理学療法概論 生活環境論

【この授業を基礎とした科目】 臨床実習Ⅲ

【成績評価】 提出課題50%、発表50%

【実務経験のある教員による科目】 当科目は、坂田、和島、山本が担当し、その実務経験を授業の講義やグループワークにいかした授業としている。

専門分野	臨床実習Ⅲ-A・B		後期 PT	
------	-----------	--	-------	--

A・B 各8単位、360時間 計16単位、720時間

【一般教育目標(GIO)】

各理学療法の理論と実践を最終的に統合し、指導者の助言のもと、主体的に治療プログラムを計画し、実施できるようになる。
理学療法士および専門職業人としての適切な態度や行動を身につける。

【目標行動(SBO)】

担当症例に即した

1. 理学療法評価ができる。
2. 統合と解釈, 問題点の抽出, 目標設定ができる。
3. 治療プログラムを基本的な範囲で立案できる
4. 治療プログラムを実施できる。
5. 必要に応じて当初の治療プログラムを変更できる。
6. 記録・報告が行える。
7. 専門職業人として適切な態度や行動をとることができる。

回	授業計画または学習の主題	SBO 番号	備考
---	--------------	-----------	----

1. 担当症例の〈初期評価(対象者・疾患の理解, 各種検査測定の実施, 記録, 統合と解釈), 目標設定, 治療プログラムの立案, 実施, 再評価, 最終評価など〉を実施
2. 指導理学療法士の責任と指導のもとに偏りなく各疾患, 各病期, 各年齢層の対象者について身体的, 心理的, 社会的状況を十分に把握
3. 疾患から生じるとされる一般的な種々の障害と実際に対象者が示す種々の障害との共通点, 相違点に気づかせ, あくまでも対象者の全体像を把握することに努める

【授業の形式】 実習

【教科書】 なし

【参考書】 なし

【学生の留意点など】

【この授業の基礎となる科目】 理学療法評価学演習・各理学療法治療学・臨床実習Ⅰ・Ⅱ

【この授業を基礎とした科目】

【成績評価】 指導報告書70%・実習後セミナー30%

【実務経験のある教員による科目】

付 録

関 連 科 目

基礎となる科目

基礎とした科目

夜 間 部 理学療法学科・作業療法学科

1 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
【共 通】		
臨床心理学	人間発達学	精神医学, 行動科学
人間発達学		臨床心理学, 行動科学 精神医学, 臨床医学 (小児科学)
解剖学 I a	生理学	生理学, 病理学概論, 整形外科 運動学, 運動学演習, 理学療法評価学 運動器障害理学療法学 運動学, 作業療法評価学
解剖学 I b	生理学	生理学, 病理学概論, 整形外科 運動学, 運動学演習, 理学療法評価学 運動器障害理学療法学 運動学, 作業療法評価学
解剖学 II	生理学	生理学, 病理学概論, 神経内科学 運動学, 運動学演習, 理学療法評価学 各障害理学療法学 運動学, 作業療法評価学
生理学 I	解剖学	解剖学, 病理学概論, 神経内科 運動学, 運動学演習, 理学療法評価学 各障害理学療法学, 物理療法学 運動学, 作業療法評価学
生理学 II		解剖学, 病理学概論, 臨床医学 運動学, 理学療法評価学, 物理療法学 運動学, 作業療法評価学
病理学概論	解剖学, 生理学	神経内科学, 整形外科, 臨床医学 運動器障害理学療法学
リハビリテーション概論		リハビリテーション医学 理学療法概論, 日常生活活動論 生活環境論 作業療法概論
【理 学 療 法 学 科】		
医療情報学	理学療法概論 I	理学療法研究法, 理学療法評価学
バイオメカニクス		運動学, 運動学演習, 臨床運動学 理学療法評価学, 日常生活活動論 日常生活活動論演習, 物理療法学
理学療法研究法	医療情報学	運動学演習, 統計学, 理学療法研究法演習
運動学 I	解剖学, 生理学, バイオメカニクス	神経内科学, 運動学 II, 運動学演習 臨床運動学, 理学療法評価学 日常生活活動論, 各障害理学療法学
理学療法概論 I	リハビリテーション概論	医療情報学, 運動療法学概論, 理学療法概論 II, 理学療法評価学 日常生活活動論, 生活環境論
【作 業 療 法 学 科】		
医療情報学		作業療法研究法 I
作業療法研究法 I	医療情報学	作業療法研究法 II, 統計学
運動学 I	解剖学, 生理学	神経内科学, 運動学 II, 作業療法評価学
作業療法概論	リハビリテーション概論	基礎作業学, 各作業治療学 地域作業療法学 I
基礎作業学 I	作業療法概論	各作業治療学

2 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
【共 通】		
神経内科学	解剖学, 生理学, 病理学概論, 運動学Ⅰ	理学療法評価学Ⅱ, 脳血管障害理学療法学 発達障害理学療法学, 神経障害理学療法学 義肢装具学, 日常生活活動論演習 作業療法評価学Ⅰ
整形外科	解剖学, 生理学, 病理学概論	リハビリテーション医学 理学療法評価学Ⅰ, 運動器障害理学療法学 義肢装具学, 日常生活活動論 日常生活活動論演習 作業療法評価学Ⅰ
精神医学	臨床心理学, 人間発達学	臨床精神医学, 理学療法評価学
臨床医学（内科学）	解剖学, 生理学, 病理学概論	リハビリテーション医学 内部障害理学療法学
臨床医学（小児科学）	人間発達学, 解剖学, 生理学, 病理学概論	リハビリテーション医学 発達障害理学療法学 作業療法評価学Ⅱ, 発達障害作業治療学
臨床医学（老年医学）	解剖学, 生理学, 病理学概論	リハビリテーション医学, 理学療法評価学 運動器障害理学療法学 内部障害理学療法学, 生活環境論 地域理学療法論, 社会福祉学
リハビリテーション医学	リハビリテーション概論, 臨床医学 整形外科	物理療法学, 義肢装具学, 理学療法評価学 各障害理学療法学, 理学療法概論Ⅱ 各作業治療学
【理 学 療 法 学 科】		
運動学Ⅱ	解剖学, 生理学 バイオメカニクス, 運動学Ⅰ	運動学演習, 臨床運動学 理学療法評価学, 各障害理学療法学
運動学演習	解剖学, 生理学, バイオメカニクス 運動学, 理学療法研究法, 運動療法学概論	臨床運動学, 各障害理学療法学 理学療法研究法演習
理学療法評価学Ⅰ	解剖学, 生理学, 医療情報学 バイオメカニクス, 運動学, 整形外科	運動学演習, 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学演習, 物理療法学 各障害理学療法学
理学療法評価学Ⅱ	解剖学, 生理学, 医療情報学 運動学, 理学療法評価学Ⅰ, 神経内科学	理学療法評価学演習, 物理療法学 運動療法学技術論, 各障害理学療法学
運動療法学概論	理学療法概論Ⅰ	運動学演習, 理学療法評価学演習 物理療法学, 各障害理学療法学
運動器障害理学療法学	解剖学, 病理学概論, 整形外科 リハビリテーション医学, 臨床医学 理学療法評価学, 運動療法学概論	日常生活活動論, 日常生活活動論演習 理学療法評価学演習 運動療法学技術論, 物理療法学
日常生活活動論	リハビリテーション概論, 理学療法概論Ⅰ バイオメカニクス, 運動学Ⅰ 整形外科, 運動器障害理学療法学	臨床運動学, 理学療法評価学演習 各障害理学療法学, 日常生活活動論演習 生活環境論, 地域理学療法論, 臨床実習
【作 業 療 法 学 科】		
運動学Ⅱ	解剖学, 生理学, 運動学Ⅰ	運動学演習
運動学演習	運動学	身体障害作業治療学, 日常生活評価学
基礎作業学総論	作業療法概論, 基礎作業学Ⅰ	基礎作業学
基礎作業学Ⅱ	基礎作業学総論, 基礎作業学Ⅰ	各作業治療学
基礎作業学Ⅲ	臨床精神医学 基礎作業学総論, 基礎作業学Ⅰ	職業関連活動評価学, 精神障害作業治療学
作業療法評価学Ⅰ	解剖学, 生理学, 神経内科学, 整形外科 運動学	作業療法評価学演習, 日常生活評価学 職業関連活動評価学
作業療法評価学Ⅱ	臨床医学（小児科学）, 運動学	日常生活評価学, 職業関連活動評価学 発達障害作業治療学
作業療法評価学演習	作業療法評価学Ⅰ	臨床実習Ⅰ, 身体障害作業治療学 老年期障害作業治療学
日常生活評価学	運動学演習, 作業療法評価学	日常生活評価学演習, 生活適応学
臨床精神医学	精神医学	基礎作業学Ⅲ, 精神障害作業治療学
地域作業療法学Ⅰ	リハビリテーション概論, 作業療法概論	地域作業療法学Ⅱ, 臨床実習Ⅲ
臨床実習Ⅰ	各評価学	身体障害・生活期リハビリテーション領域 の治療学・演習, 臨床実習Ⅲ

3 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
【理 学 療 法 学 科】		
臨床運動学	運動学, 運動学演習, 理学療法評価学	理学療法評価学演習, 運動療法学技術論 日常生活活動論演習, 各障害理学療法学 臨床実習
理学療法評価学演習	臨床医学, リハビリテーション医学 理学療法評価学, 運動療法学概論 運動療法学技術論, 各障害理学療法学 日常生活活動論, 物理療法学, 臨床運動学	臨床実習, 運動療法学特論
運動療法学技術論	臨床運動学, 理学療法評価学 理学療法評価学演習 運動器障害理学療法学	理学療法評価学演習, 運動療法学特論 臨床実習Ⅲ
脳血管障害理学療法学	解剖学Ⅱ, 生理学Ⅰ リハビリテーション医学, 神経内科学 運動学, 理学療法評価学, 日常生活活動論	臨床運動学, 理学療法評価学演習 運動療法学技術論, 日常生活活動論演習 臨床実習
発達障害理学療法学	人間発達学, 解剖学Ⅱ, 生理学Ⅰ 神経内科学, リハビリテーション医学 運動学, 運動学演習, 理学療法評価学Ⅱ 日常生活活動論, 臨床運動学	理学療法評価学演習, 日常生活活動論演習 臨床実習
神経障害理学療法学	解剖学Ⅱ, 生理学Ⅰ, 運動学, 運動学演習 リハビリテーション医学, 神経内科学 理学療法評価学, 日常生活活動論 臨床実習Ⅰ	理学療法評価学演習, 日常生活活動論演習 臨床実習
内部障害理学療法学	臨床医学（内科, 老年医学）, 運動学 運動学演習, リハビリテーション医学 理学療法評価学, 運動療法学概論	理学療法評価学演習, 日常生活活動論演習 臨床実習
物理療法学	生理学, バイオメカニクス リハビリテーション医学, 理学療法評価学 運動療法学概論, 運動器障害理学療法学	理学療法評価学演習, 臨床実習
日常生活活動論演習	バイオメカニクス 神経内科学, 整形外科, 日常生活活動論 臨床運動学, 各障害理学療法学	理学療法評価学演習, 臨床実習
義肢装具学	理学療法概論, リハビリテーション医学 神経内科学, 整形外科	理学療法評価学演習, 義肢装具学演習 臨床実習
義肢装具学演習	義肢装具学	臨床実習
生活環境論	リハビリテーション概論, 理学療法概論 日常生活活動論	社会福祉学, 地域理学療法論, 臨床実習
臨床実習Ⅰ	理学療法評価学Ⅰ, Ⅱ, 理学療法評価学演習	臨床実習Ⅱ
臨床実習Ⅱ	各理学療法評価学, 評価学演習, 臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅲ

3 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
【作 業 療 法 学 科】		
統計学	作業療法研究法Ⅰ	
基礎作業学Ⅳ	基礎作業学総論, 基礎作業学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ	各作業治療学
基礎作業学Ⅴ	基礎作業学総論, 基礎作業学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ	各作業治療学
日常生活評価学演習	日常生活評価学	各作業治療学
職業関連活動評価学	作業療法評価学, 基礎作業学	身体障害作業治療学, 精神障害作業治療学 発達障害作業治療学
身体障害作業治療学	リハビリテーション医学, 作業療法概論 基礎作業学, 運動学演習 作業療法評価学演習, 臨床実習Ⅰ 日常生活評価学演習, 職業関連活動評価学	身体障害作業治療学演習, 臨床作業療法 臨床実習Ⅲ
身体障害作業治療学演習	身体障害作業治療学	臨床実習Ⅲ
精神障害作業治療学	リハビリテーション医学, 作業療法概論 基礎作業学, 臨床精神医学 日常生活評価学演習, 職業関連活動評価学	精神障害作業治療学演習, 臨床作業療法 臨床実習Ⅲ
精神障害作業治療学演習	精神障害作業治療学	臨床実習Ⅱ, 臨床実習Ⅲ
発達障害作業治療学	リハビリテーション医学, 作業療法概論 基礎作業学, 作業療法評価学Ⅱ 日常生活評価学演習, 職業関連活動評価学	発達障害作業治療学演習, 臨床作業療法 臨床実習Ⅲ
発達障害作業治療学演習	発達障害作業治療学	臨床実習Ⅲ
老年期障害作業治療学	リハビリテーション医学, 作業療法概論 基礎作業学, 作業療法評価学Ⅰ 作業療法評価学演習, 日常生活評価学 日常生活評価学演習, 地域作業療法学Ⅰ	臨床作業療法, 臨床実習Ⅲ
生活適応学	日常生活評価学	生活適応学演習
生活適応学演習	生活適応学	臨床実習Ⅲ
臨床作業療法	各作業治療学	
地域作業療法学Ⅱ	地域作業療法学Ⅰ, 各作業治療学	
臨床実習Ⅱ	精神医学, 臨床精神医学	精神障害作業治療学・演習

4 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
【共 通】		
行動科学	臨床心理学, 人間発達学	
社会福祉学	リハビリテーション概論, 理学療法概論 地域理学療法論 作業療法概論	地域理学療法論
【理 学 療 法 学 科】		
統計学	理学療法研究法	理学療法研究法演習
理学療法概論Ⅱ	理学療法概論Ⅰ, リハビリテーション概論 リハビリテーション医学	
理学療法研究法演習	理学療法研究法, 運動学演習, 統計学	
運動療法学特論	理学療法学技術論, 各障害理学療法学	
地域福祉論	社会福祉学, リハビリテーション概論	
地域理学療法論	リハビリテーション概論, 理学療法概論 生活環境論	社会福祉学
臨床実習Ⅲ-A・B	理学療法評価学演習, 各理学療法治療学, 臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
【作 業 療 法 学 科】		
作業療法研究法Ⅱ	作業療法研究法Ⅰ, 臨床実習Ⅲ	作業療法研究法演習
作業療法研究法演習	作業療法研究法Ⅱ	
臨床実習Ⅲ-A・B・C	各評価学, 各治療学・治療学演習	

昼 間 部 理学療法学科

1 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
臨床心理学	人間発達学	精神医学, 行動科学
行動科学	臨床心理学, 人間発達学	運動療法学概論, 各障害理学療法学
人間発達学		臨床心理学, 発達障害理学療法学Ⅰ 臨床医学（小児科学）
医療情報学	理学療法概論Ⅰ	理学療法研究法, 理学療法評価学
バイオメカニクス		運動学, 理学療法評価学
理学療法研究法	医療情報学	運動学演習, 統計学
解剖学Ⅰa	生理学Ⅰ	運動学, 理学療法評価学
解剖学Ⅰb		運動学, 理学療法評価学
解剖学Ⅱ		生理学, 病理学概論, 神経内科学 運動学, 理学療法評価学
生理学Ⅰ	解剖学	神経内科学, 病理学概論 運動学, 理学療法評価学
生理学Ⅱ	解剖学	病理学概論, 臨床医学 運動学, 理学療法評価学
運動学Ⅰ	解剖学, 生理学, バイオメカニクス	運動学Ⅱ, 理学療法評価学 各障害理学療法学
運動学Ⅱ	解剖学, 生理学, バイオメカニクス 運動学Ⅰ	理学療法評価学, 運動学演習, 臨床運動学 日常生活活動論, 各障害理学療法学
病理学概論	解剖学, 生理学	神経内科学, 整形外科, 臨床医学
精神医学	臨床心理学, 人間発達学	理学療法評価学
リハビリテーション概論		理学療法概論, 社会福祉学 リハビリテーション医学
理学療法概論Ⅰ	リハビリテーション概論	運動療法学概論 日常生活活動論, 理学療法概論Ⅱ
理学療法評価学Ⅰ	解剖学, 生理学, バイオメカニクス 運動学	運動学演習, 理学療法評価学Ⅱ, 演習 各障害理学療法学
運動療法学概論	理学療法概論Ⅰ	運動学演習, 各障害理学療法学
発達障害理学療法学Ⅰ	人間発達学, 生理学, 運動学	理学療法評価学演習 発達障害理学療法学Ⅱ
物理療法学Ⅰ	生理学, リハビリテーション概論 運動療法学概論	理学療法評価学演習, 物理療法学Ⅱ
社会福祉学	リハビリテーション概論, 理学療法概論	臨床医学（老年医学）生活環境論 地域理学療法論, 臨床実習Ⅲ

2 学 年

科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
神経内科学	解剖学, 生理学, 病理学概論	理学療法評価学, 各障害理学療法学
整形外科	解剖学, 生理学, 病理学概論	理学療法評価学, 運動器障害理学療法学 義肢装具学
臨床医学（内科学）	解剖学, 生理学, 病理学概論	内部障害理学療法学 リハビリテーション医学
臨床医学（小児科学）	人間発達学, 解剖学, 生理学, 病理学概論	発達障害理学療法学Ⅱ リハビリテーション医学
臨床医学（老年医学）	生理学, 病理学概論, 社会福祉学	運動器障害理学療法Ⅰ, 生活環境論 リハビリテーション医学, 地域理学療法論
運動学演習	運動学, バイオメカニクス	臨床運動学, 各障害理学療法学 理学療法研究法
臨床運動学	バイオメカニクス, 運動学, 運動学演習 理学療法評価学, 日常生活活動論	理学療法評価学演習, 各障害理学療法学 臨床実習
理学療法評価学Ⅱ	解剖学, 生理学, 運動学 理学療法評価学Ⅰ	理学療法評価学演習, 各障害理学療法学
理学療法評価学演習	理学療法評価学, 臨床運動学 各障害理学療法学	理学療法演習, 臨床実習
運動器障害理学療法学Ⅰ	解剖学, 運動学, 病理学概論, 整形外科 理学療法評価学	理学療法評価学演習 運動器障害理学療法Ⅱ, 物理療法学Ⅱ 運動療法学技術論
運動器障害理学療法学Ⅱ	病理学概論, 整形外科, 神経内科学 運動器障害理学療法Ⅰ	理学療法演習Ⅰ, 理学療法概論Ⅱ
脳血管障害理学療法学Ⅰ	神経内科学, 理学療法評価学 リハビリテーション医学	理学療法評価学演習, 運動療法学技術論 日常生活活動論演習,
発達障害理学療法学Ⅱ	人間発達学, 発達障害理学療法学Ⅰ リハビリテーション医学 臨床医学（小児科学）, 日常生活活動論	理学療法評価学演習, 日常生活活動論演習
理学療法演習Ⅰ	理学療法評価学演習 運動器障害理学療法Ⅱ	理学療法演習Ⅱ
物理療法学Ⅱ	生理学, 運動療法学概論, 物理療法学Ⅰ 理学療法演習, 運動器障害理学療法 リハビリテーション医学	理学療法評価学演習, 理学療法演習 臨床実習
日常生活活動論	リハビリテーション概論, 理学療法概論Ⅰ バイオメカニクス	理学療法評価学演習, 日常生活活動論演習 各障害理学療法学, 生活環境論, 臨床実習
義肢装具学	神経内科学, 整形外科 リハビリテーション医学, 理学療法概論	義肢装具学演習, 理学療法演習, 臨床実習
義肢装具学演習	義肢装具学	理学療法演習, 臨床実習
臨床実習Ⅰ	理学療法評価学Ⅰ, Ⅱ, 理学療法評価学演習	臨床実習Ⅱ
臨床実習Ⅱ	各理学療法評価学, 評価学演習, 臨床実習Ⅰ	臨床実習Ⅲ

3 学 年		
科目名	基礎となる科目	基礎とした科目
統計学	理学療法研究法	
リハビリテーション医学	リハビリテーション概論, 臨床医学	各障害理学療法学, 義肢装具学 理学療法概論Ⅱ
理学療法演習Ⅱ	理学療法評価学演習 運動器障害理学療法学Ⅱ, 理学療法演習Ⅰ	臨床実習Ⅲ
理学療法概論Ⅱ	リハビリテーション概論, 理学療法概論Ⅰ リハビリテーション医学	
運動療法学技術論	臨床運動学, 理学療法評価学演習 脳血管障害理学療法学Ⅰ	理学療法演習Ⅱ
脳血管障害理学療法学Ⅱ	脳血管障害理学療法学Ⅰ	臨床実習Ⅲ
日常生活活動論演習	臨床運動学, 各障害理学療法学 日常生活活動論	臨床実習Ⅲ
内部障害理学療法学	臨床医学（老年医学）, 運動学演習 リハビリテーション医学	理学療法演習Ⅱ, 日常生活活動論演習
生活環境論	リハビリテーション概論, 社会福祉学, 理学療法概論, 日常生活活動論	地域理学療法論, 臨床実習Ⅲ
地域理学療法論	リハビリテーション概論, 理学療法概論 生活環境論	臨床実習Ⅲ
臨床実習Ⅲ-A・B	理学療法評価学演習, 各理学療法治療学, 臨床実習Ⅰ・Ⅱ	